嘘とセフレ

1



作画
kyun ja

原作
タルチョー

CONTENTS

#001 はじまりの嘘 4

#002 もう一人のお姉さん 28

#003 無意識のうちに… 45

#004 秘密のカギ 61

#005 誘惑 78

#006 二人だけで… 97

#007 濃密な甘い夜 113

#008 不安に駆られて 127

#009 いつもと違う…？ 141

嘘とセフレ

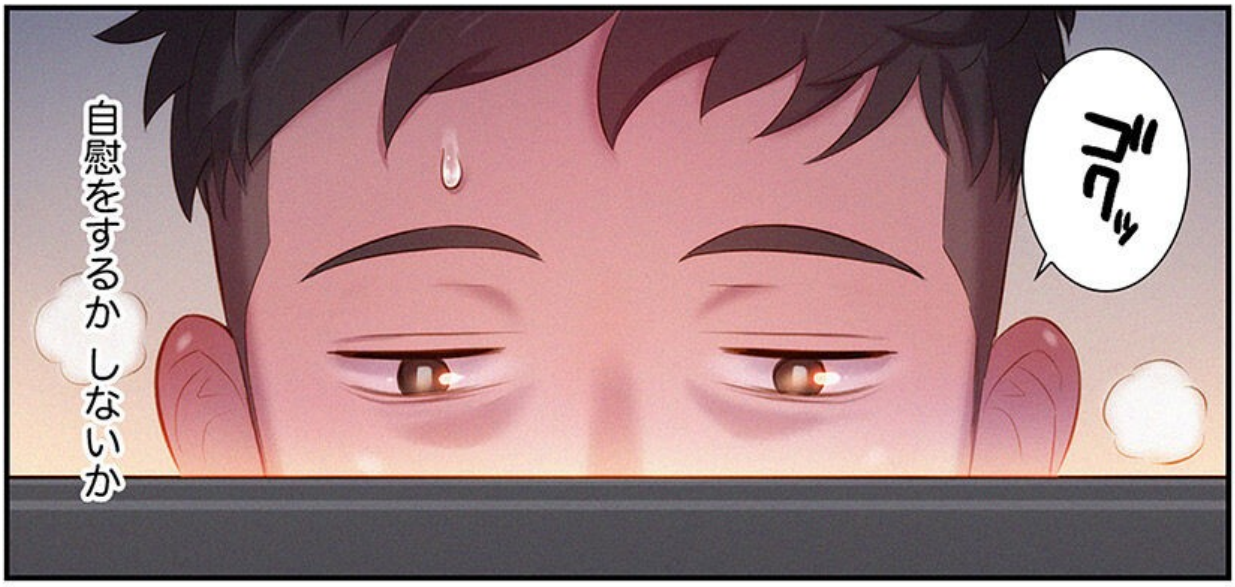

はぁ…暑い…
#001


暑いし
足も痛い…
カツ
カツ


同じ日に
面接二回は
しんど～

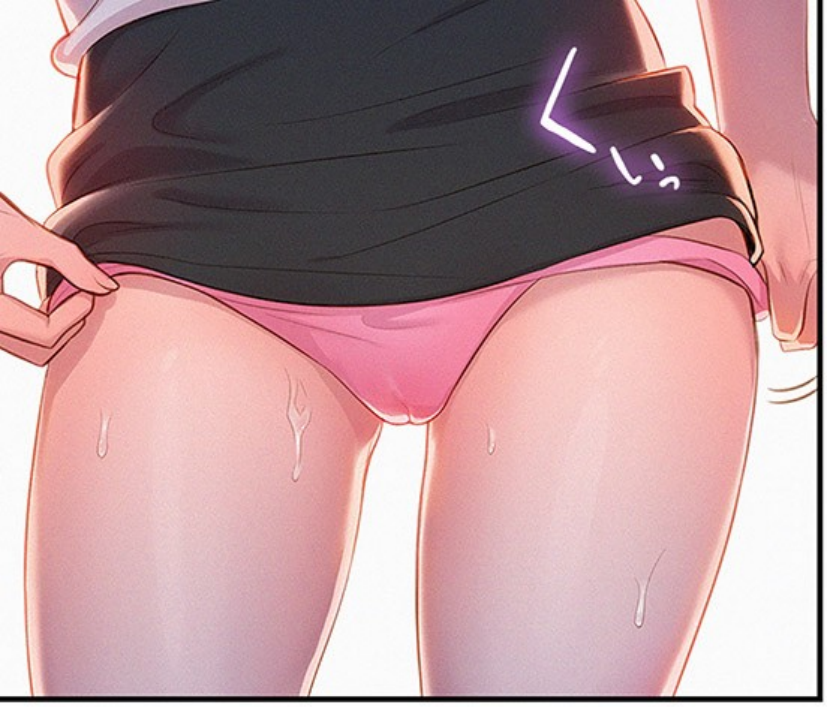

緊張で
汗ベトベト…
ふう…早く
着替えたい…


男は一日に一回
決断を迫られる

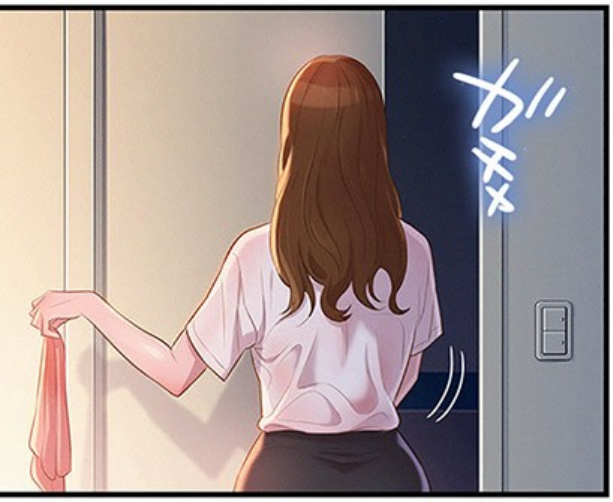

ゴクッ
自慰をするか しないか

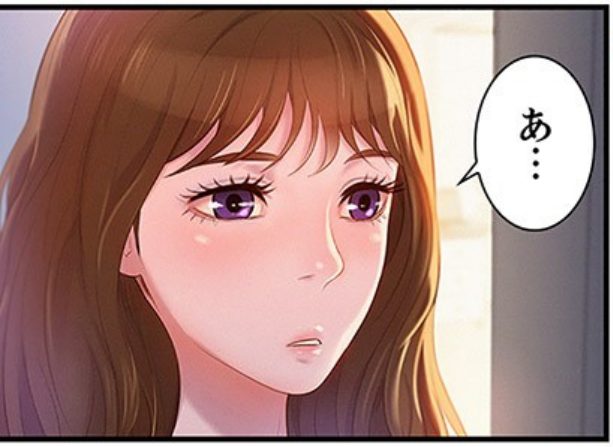

ムニュ
あえて眠ってるコイツを
起こす必要はあるのか？


イッ
快楽と引き換えに
賢者タイムを迎えるのか？


くいっ


あー
疲れたー


ガチャ


あ…


……




せっかく
勃たせたし…
京太郎！
あんた
またさぼったでしょ
うあっ!!


のっ…の…
ノックしてよ！


何よ…これ
またしてたの？

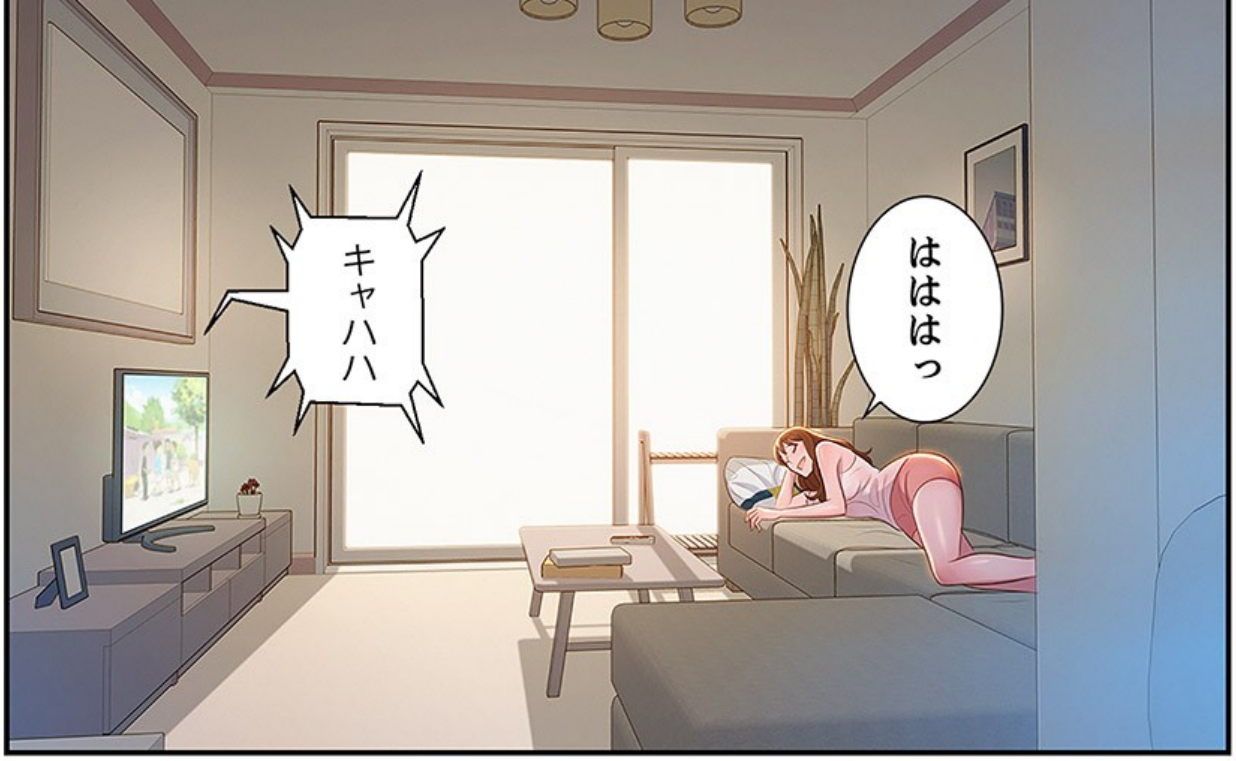

今日は必ず
洗濯してって
言ってたでしょ？


明日は必ず
洗濯しといてよ


バタン


わ…わかったから
さっさと出て行ってよ！

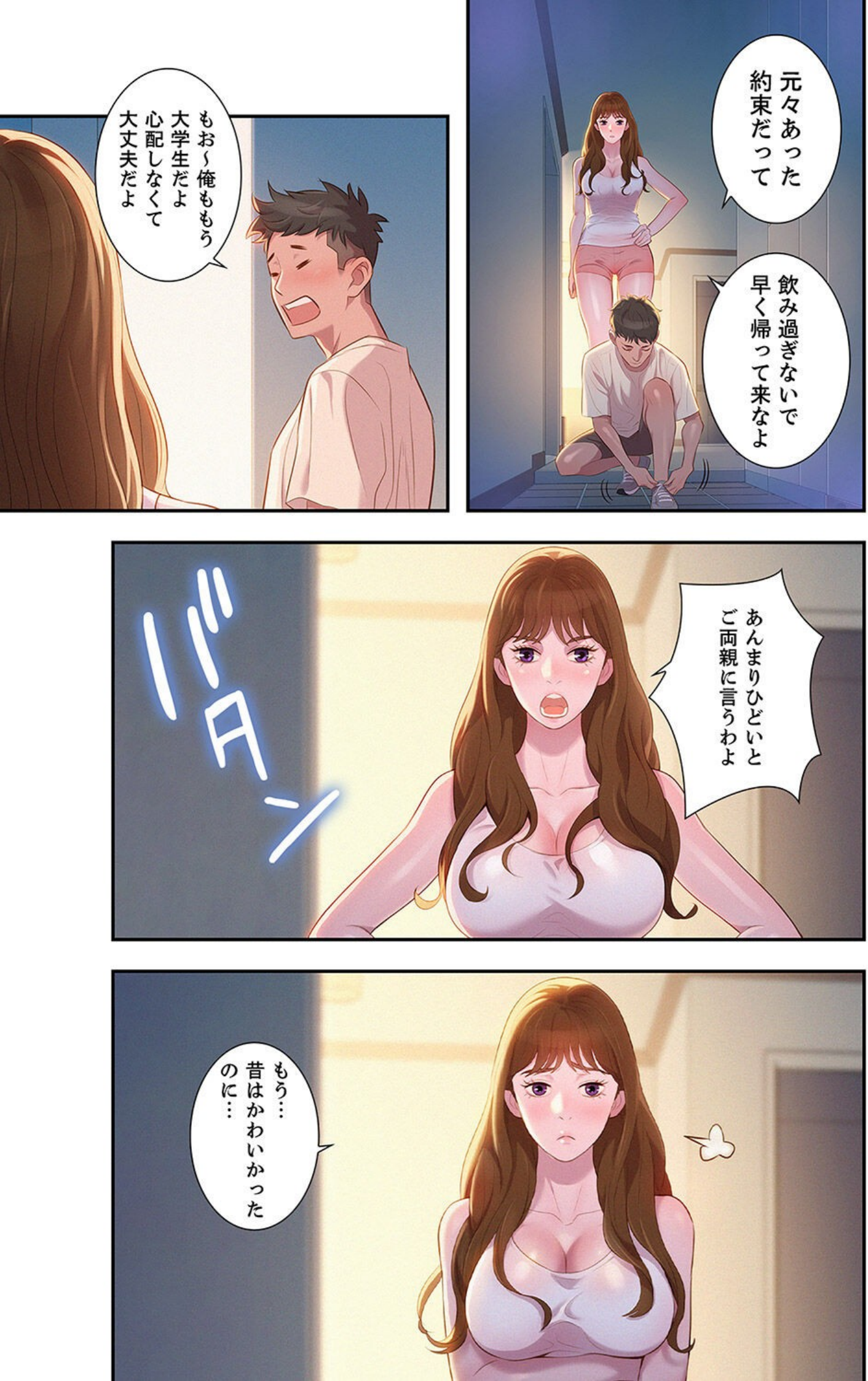

はぁ…
今日はもう
やめておこう…
ガクン

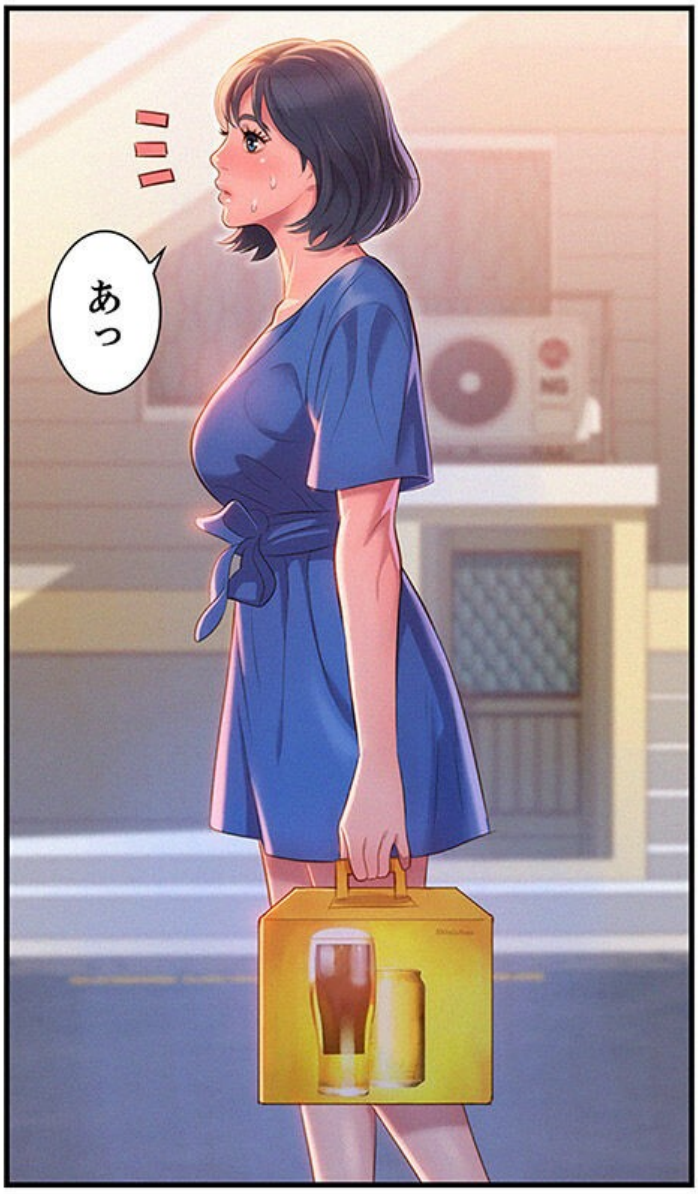

はははっ
キャハハ


俺夕飯いらない
友達と食べるから

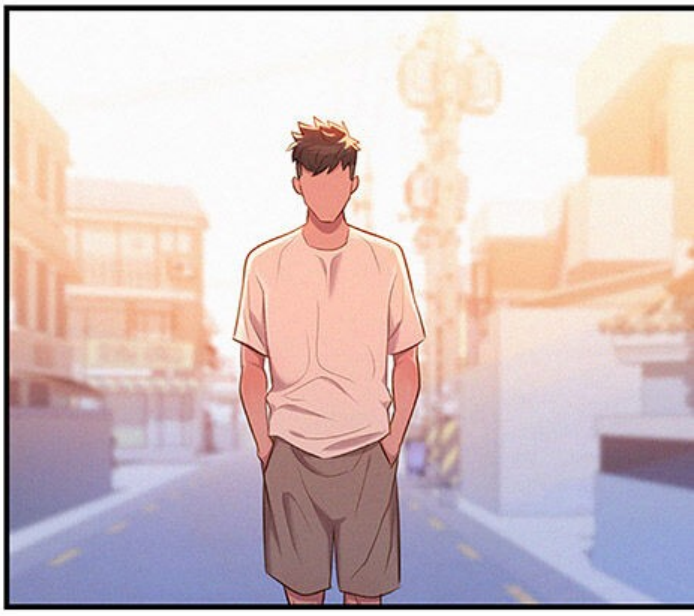

どうしたのよ
拗ねちゃったの？


ふふっ


元々あった約束だって
飲み過ぎないで早く帰って来なよ
もお～俺ももう大学生だよ心配しなくて大丈夫だよ
ビーン
あんまりひどいとご両親に言うわよ
もう…昔はかわいかったのに…


あっ





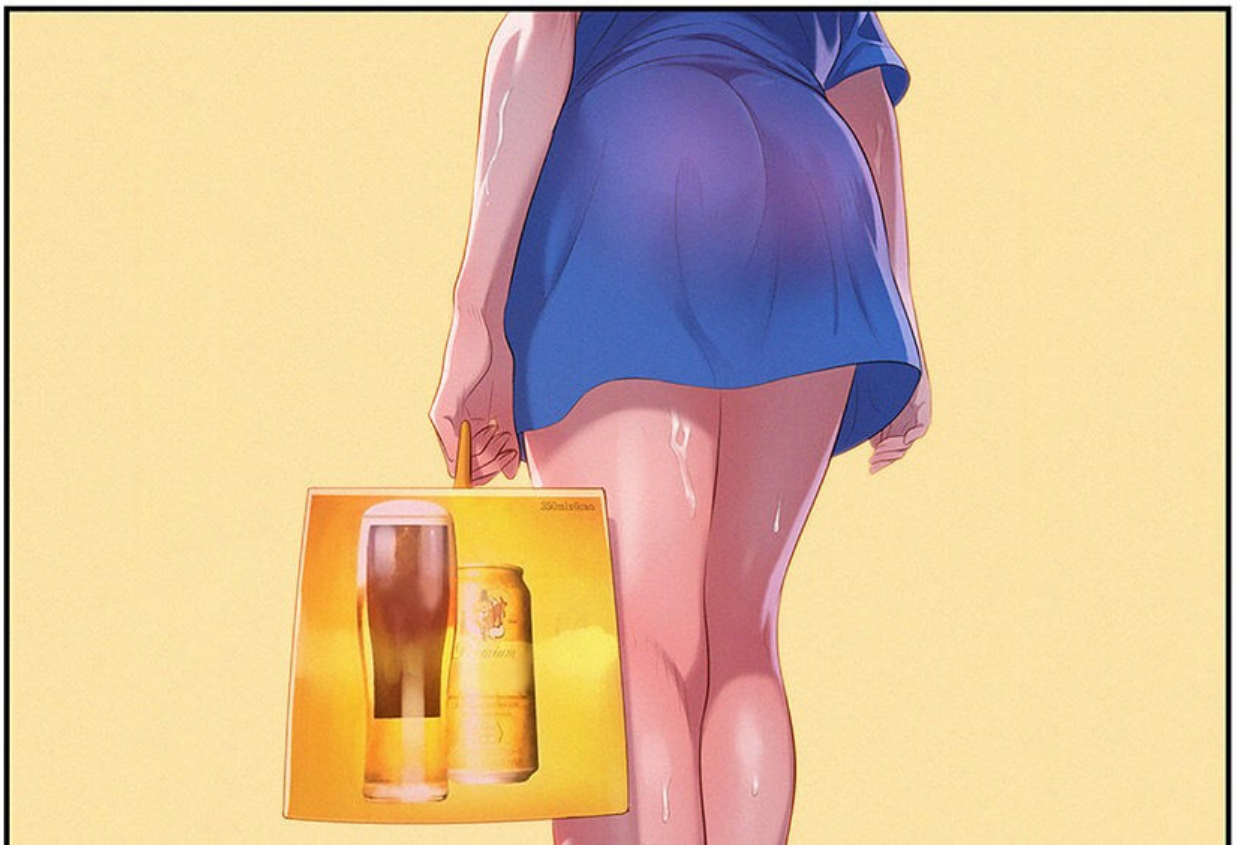

あ
由紀さん


京太郎！

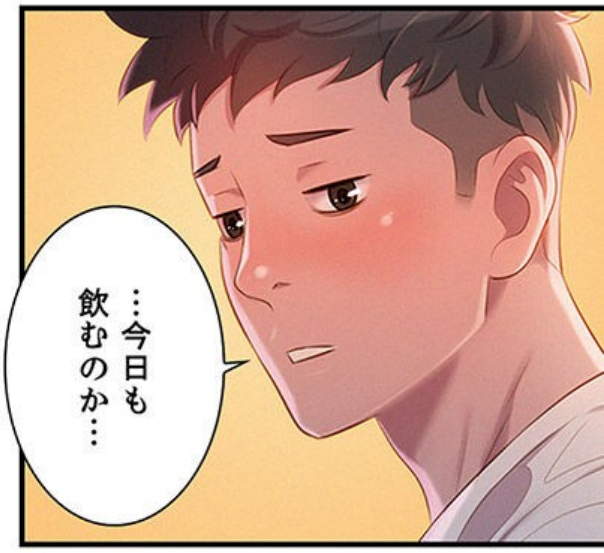

そうなんだ
沙織は家？


ちょうど良いや
これ重くてさ
ちょっと持ってよ
俺今友達に会いに
行く途中なんだ…

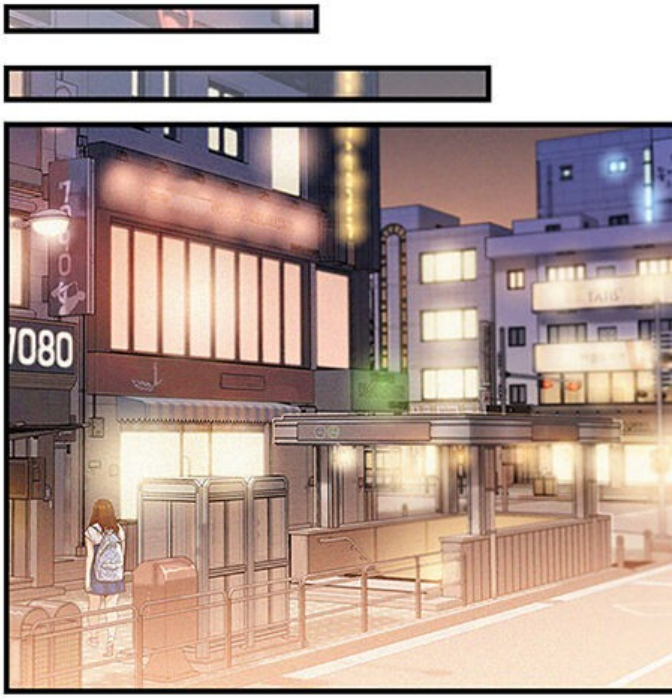

さっき
帰って来たよ
わかった
また後でね




あー早く独立して
自由になりたい


…今日も
飲むのか…


あ…


1080


WARIWARI


ふふふ

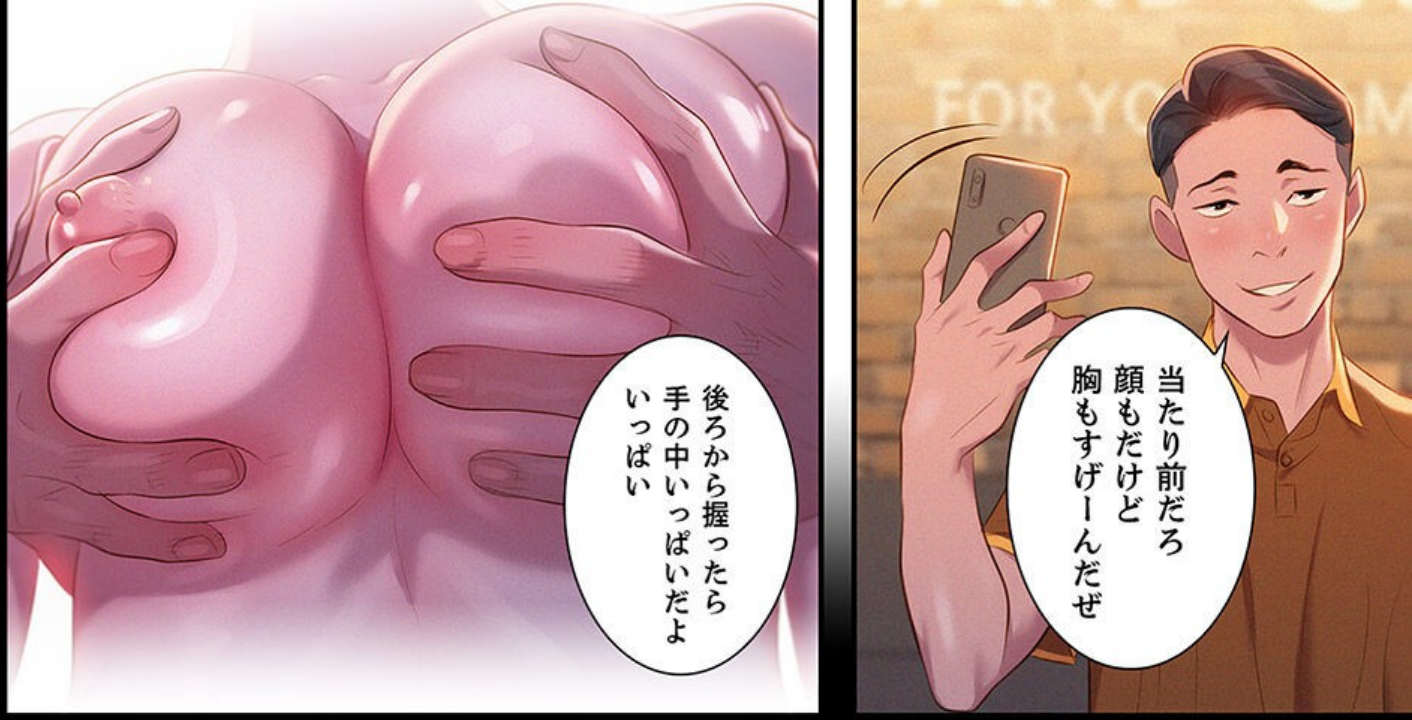

かわいい…


知ってるか？
どんな美人でも
三ケ月で飽きるって


何だいきなり…
相変わらずだな


ありゃ嘘だわ
飽きなんて
こねーよ


…何？
お前のセフレ
なの？

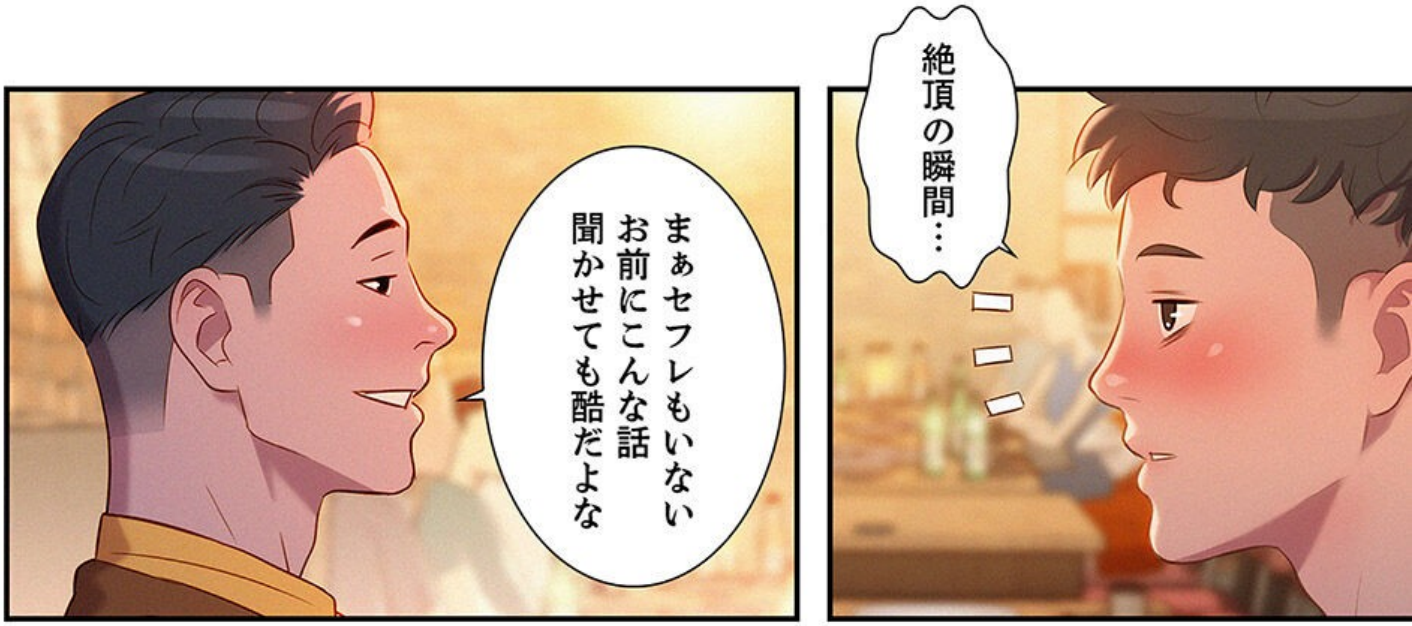

当たり前だろ
顔もだけど
胸もすげーんだぜ
後ろから握ったら
手の中いっぱいだよ
いっぱい

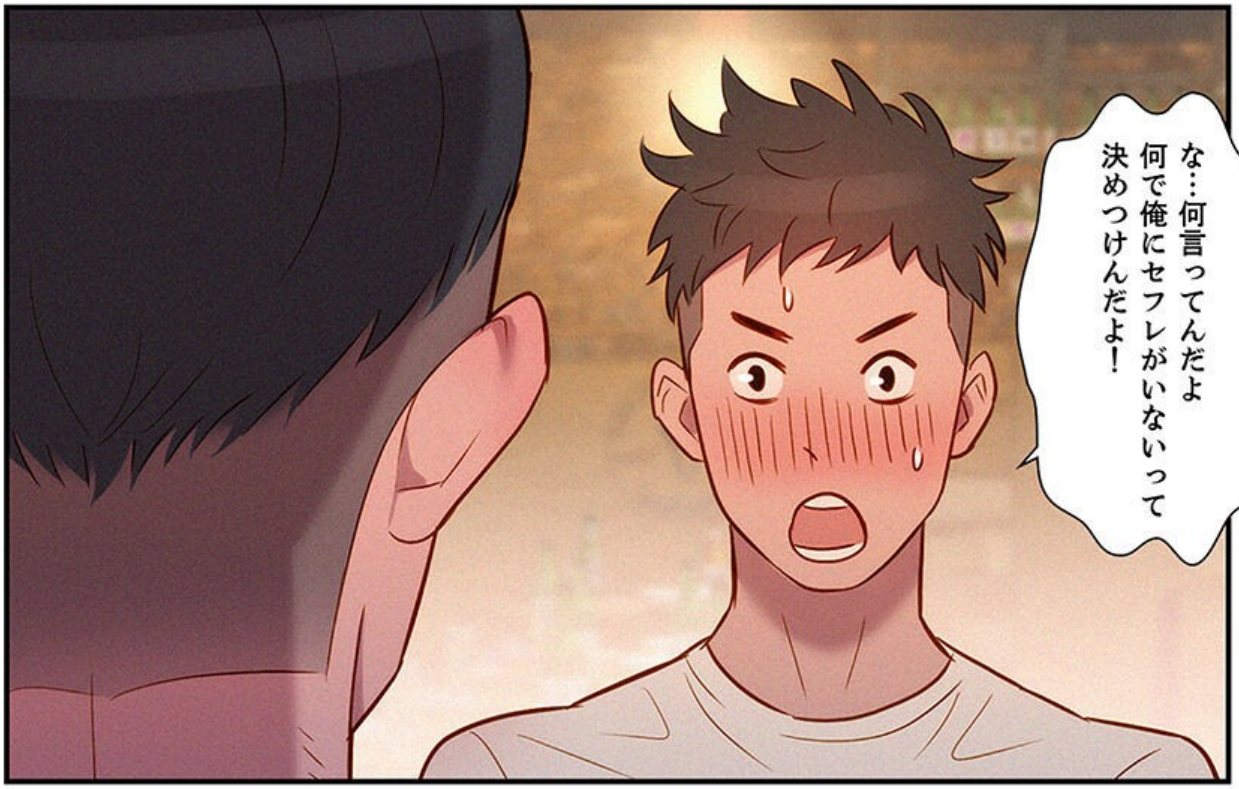

それに乳首だけで
すげー感じるんだぜ？
はぁん
ﾌﾆ
ﾌﾆ

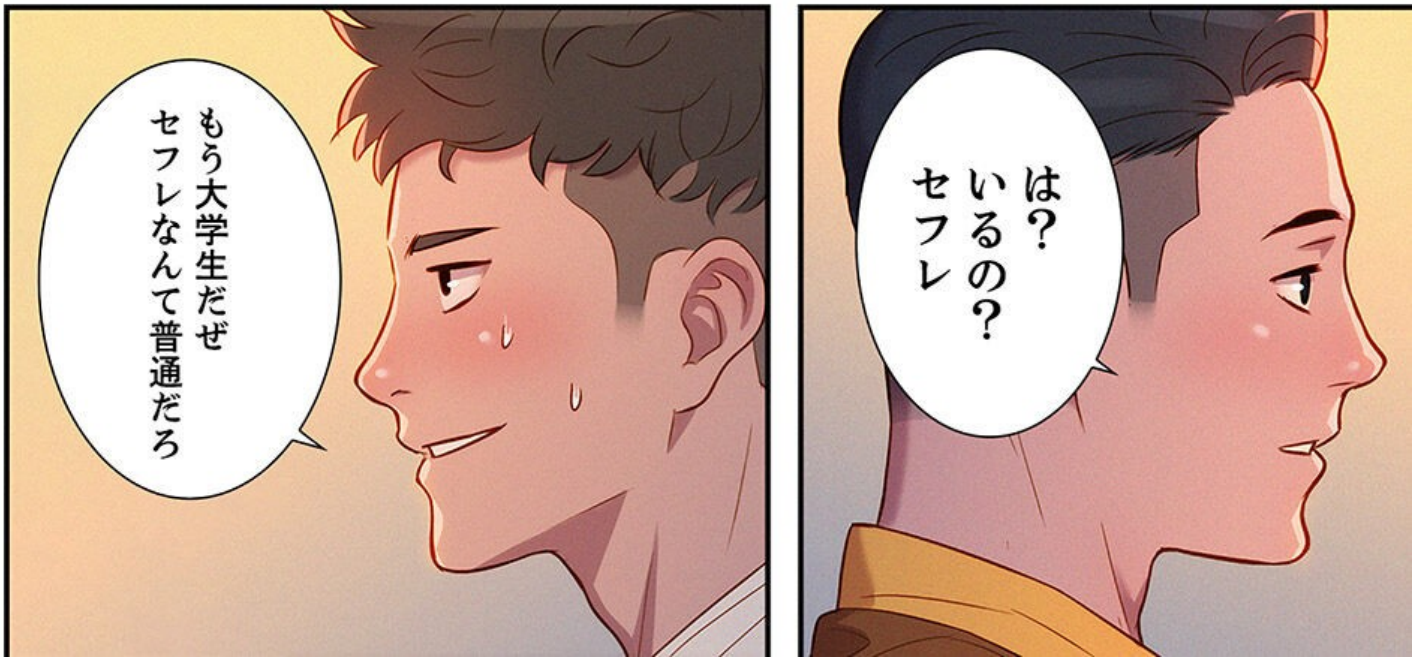

ゆっくり焦らして
挿入したら最高だよ
あぁん
あのセックスは
忘れらんねーよ
はあっ
後ろから突くと
身体のラインが
すごくてさ


でも何が一番
良いかわかるか？
ズズッ
ズズッ
あぁん
んっ
最初からセックスが
目的だから
いつも全力ってとこ
ぐっ
グチュ
自分から上に
乗って腰を
振りまくるんだよ
はぁん
グチュ
あぁん


そして絶頂の瞬間は大乱れさ
はううっ！


絶頂の瞬間…
まぁセフレもいない
お前にこんな話
聞かせても酷だよな


な…何言ってんだよ
何で俺にセフレがいないって
決めつけんだよ！


は？
いるの？
セフレ
もう大学生だぜ
セフレなんて普通だろ


そう？じゃあ
その子の
写真見せてみろよ
クイッ
クイッ

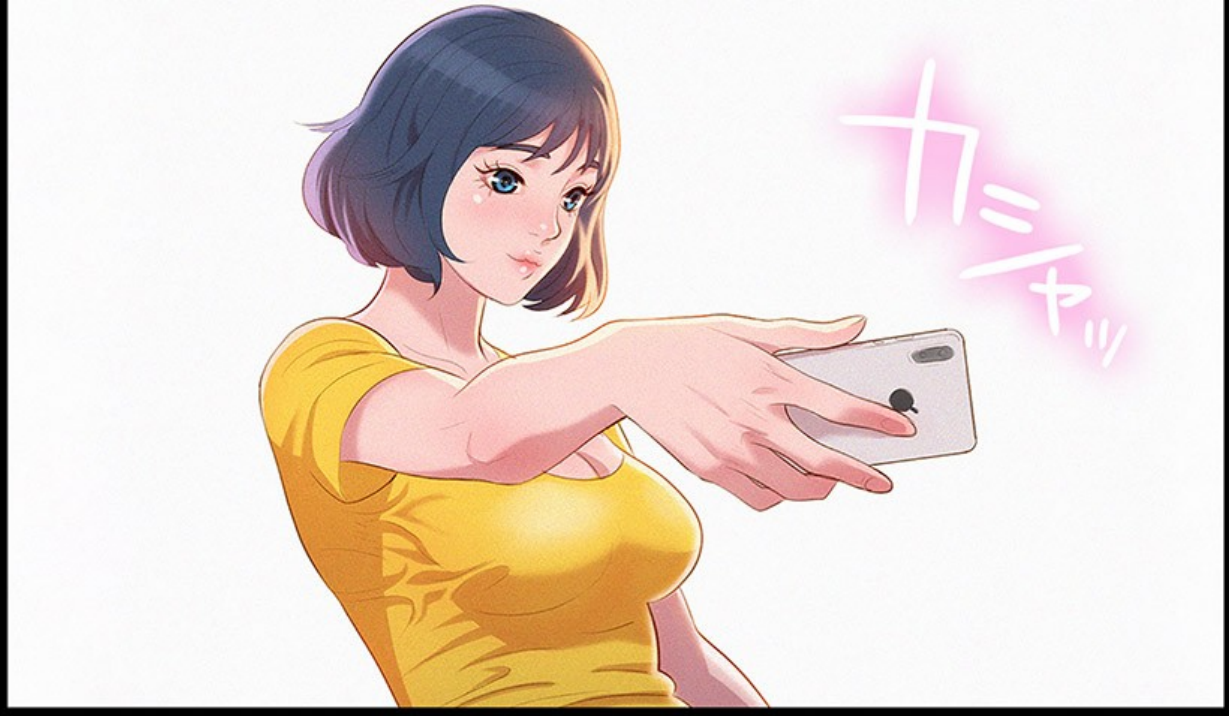

え…あ…
写真あったっけ…？


どうせ
見栄張ってんだろ？


クソ…何て言い逃れれば…
考えろ…早く何か…
イッ
イッ


何だよ
本当にいるってば…
ちょっと待て
イッ
イッ


この写真は…
パシャッ
ケータイ貸して
うん？何するつもり？
お姉さまが頂戴って言ってるのよ黙って渡しなさい
ヒョイ
あっ


カシャッ


カシャッ


カシャッ


このケータイ
全然 盛れない
じゃん
自分のケータイで
撮れよ！


パッ
消すよ

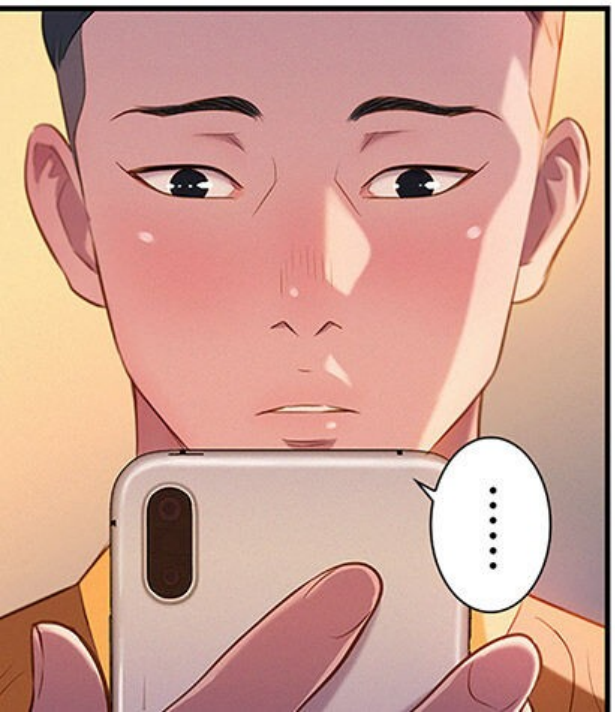

ダメよ
一枚ぐらいは
持ってなさい
うっ


彼女の写真だって
皆に自慢しても
いいわよ？


ほら…見ろよ！
俺のセフレ！


パッ
ええっ！マジ!?
こんな美人が
お前のセフレ!?


そんなに？
俺はいつも見てるから
わかんないけど…


……

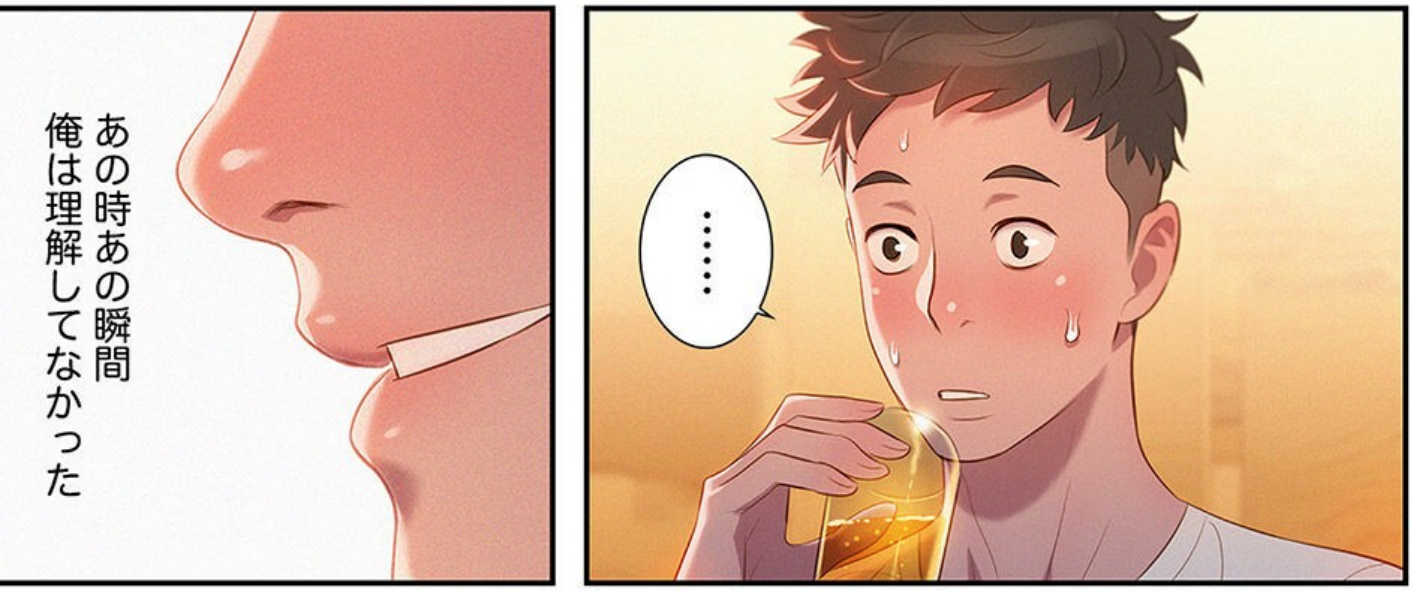

なぁ俺ら今度
ダブルデートしようぜ
うぅん？
な…なに？

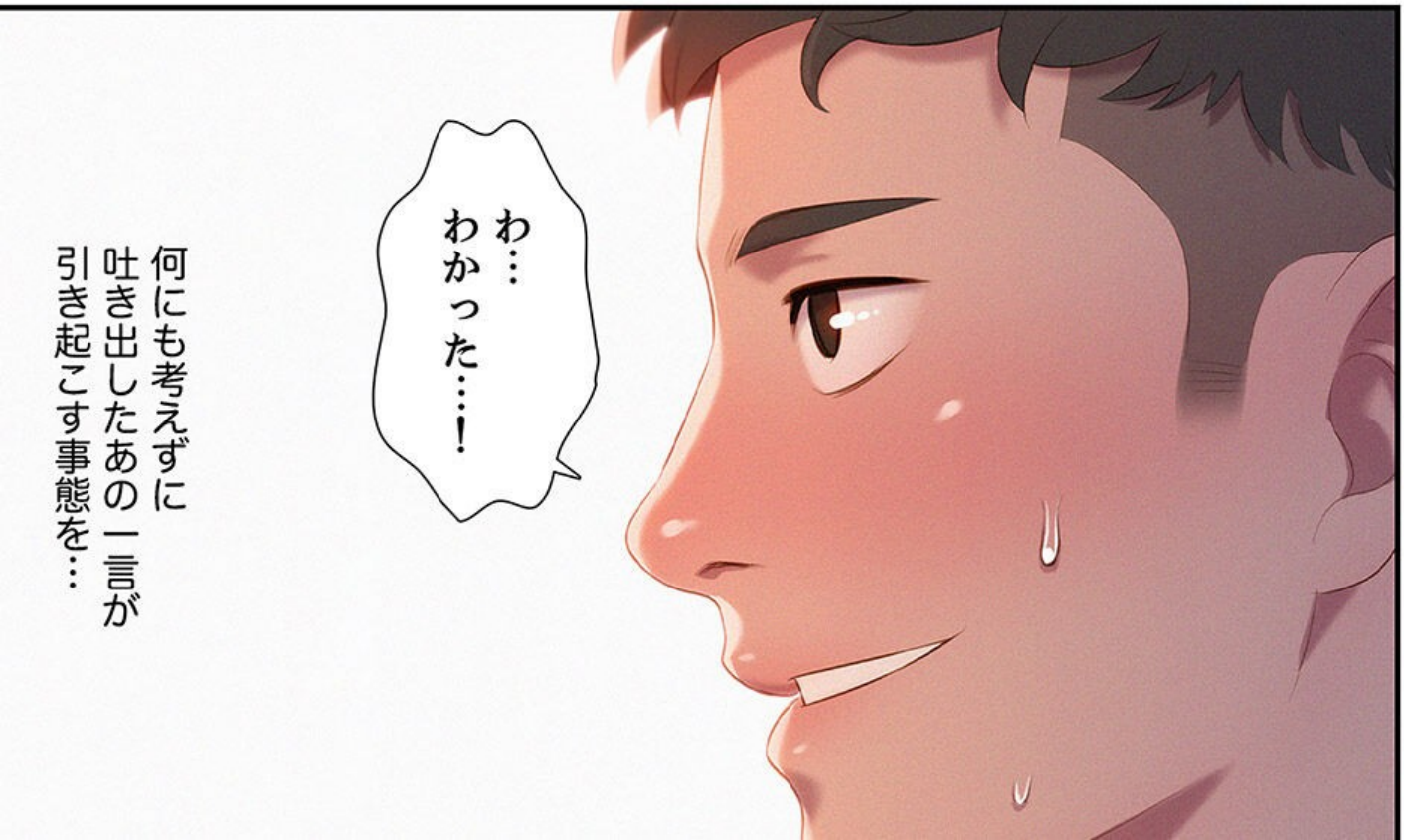

その子 セフレ
なんだろ？
連れて来てよ


この野郎…俺を試してるのか…


ここで断ったら
嘘がバレて笑いものだ…


あ…う…うん…
そうだな
オッケー
じゃあその日の夜は
セフレ交換って事で


……
あの時あの瞬間
俺は理解してなかった


わ…
わかった…！
何にも考えずに
吐き出したあの一言が
引き起こす事態を…


はぁ…
本田のやつ…
#002


大学に入って
変わったな…
何だかチンピラっぽいし


ふう…てか
どうしよう…


由紀さんに
何て言えば…


ただいま
ガチャッ




おかえり

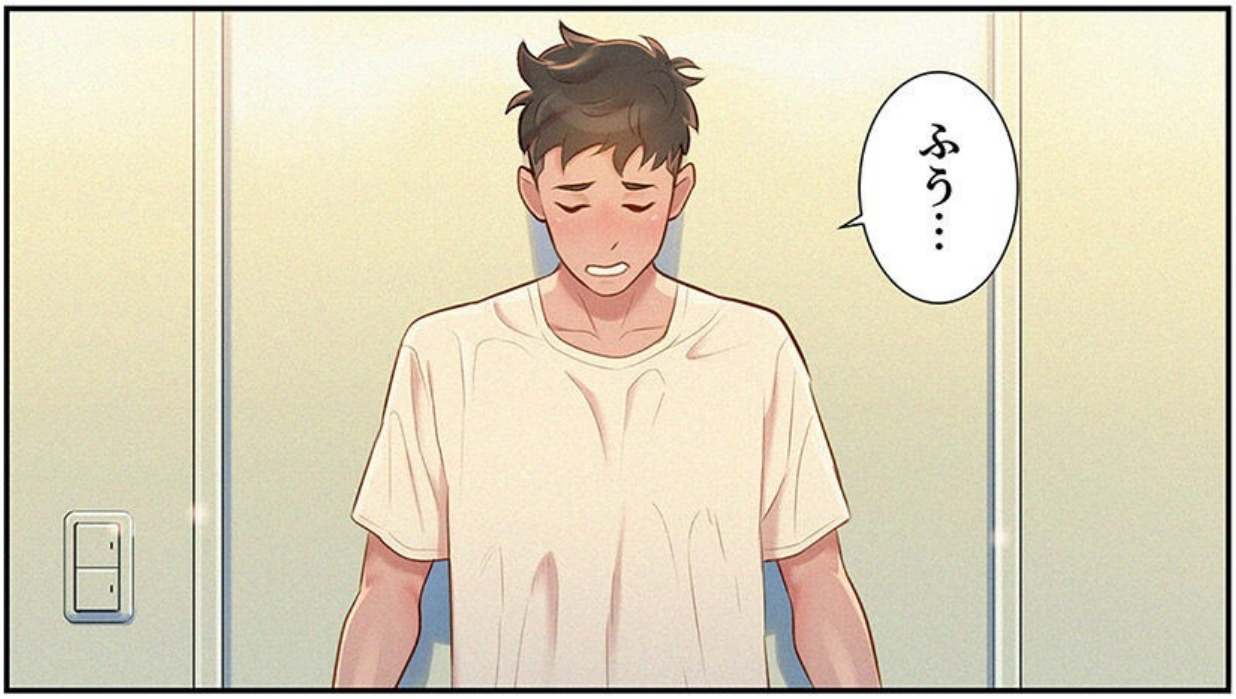

はぁ？
俺もう大学二年
なんだけど？


あんた
何でこんなに
帰りが遅いのよ
お子様が


…この酔っ払い達
自分達だって酒しか
飲んでないだろ!?


でも本当に
かわいくなくなっちゃって
いつもお酒飲んで
ばかりなのよ
じゃあ実家に
チクッて仕送り
止めちゃえ

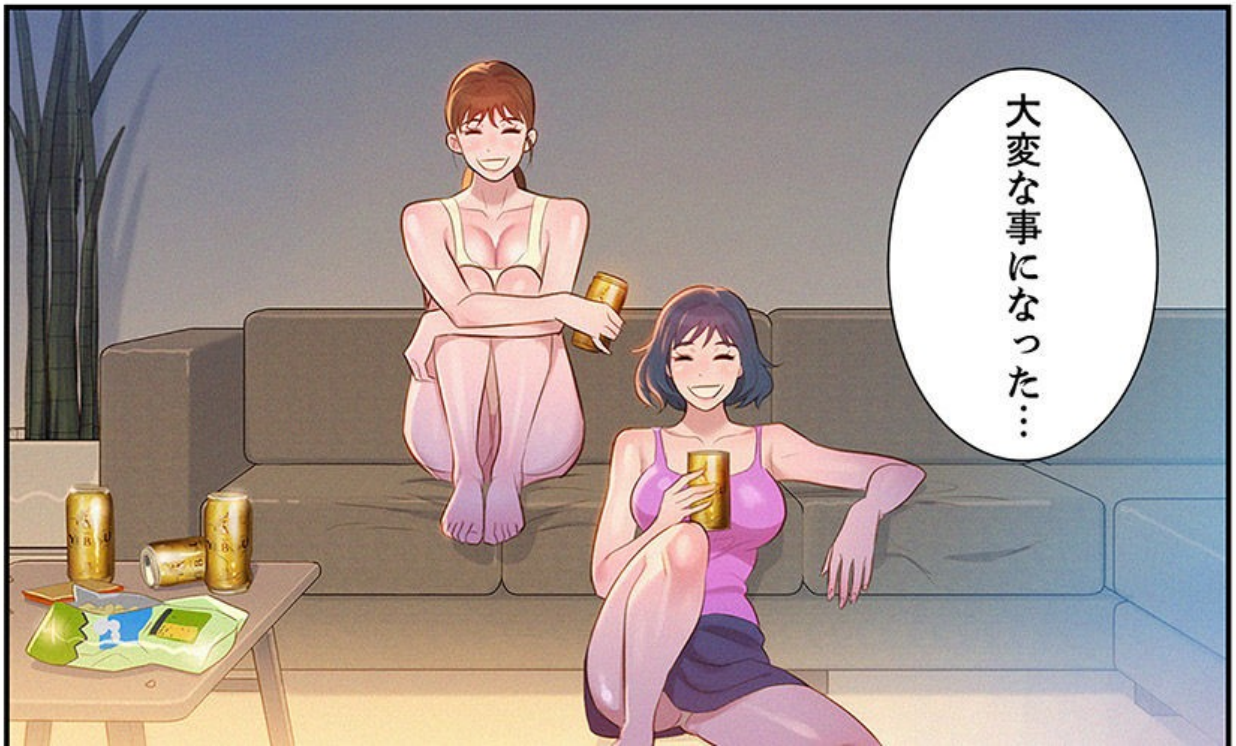

なんて事
言うのよ!!
昔はあんなに
かわいかったのに!


ふう…


これ…本当にどうすんだよ


由紀さんをどうやって本田にセフレだって紹介すれば…


下手すりゃ姉さん達に殺されちまう…

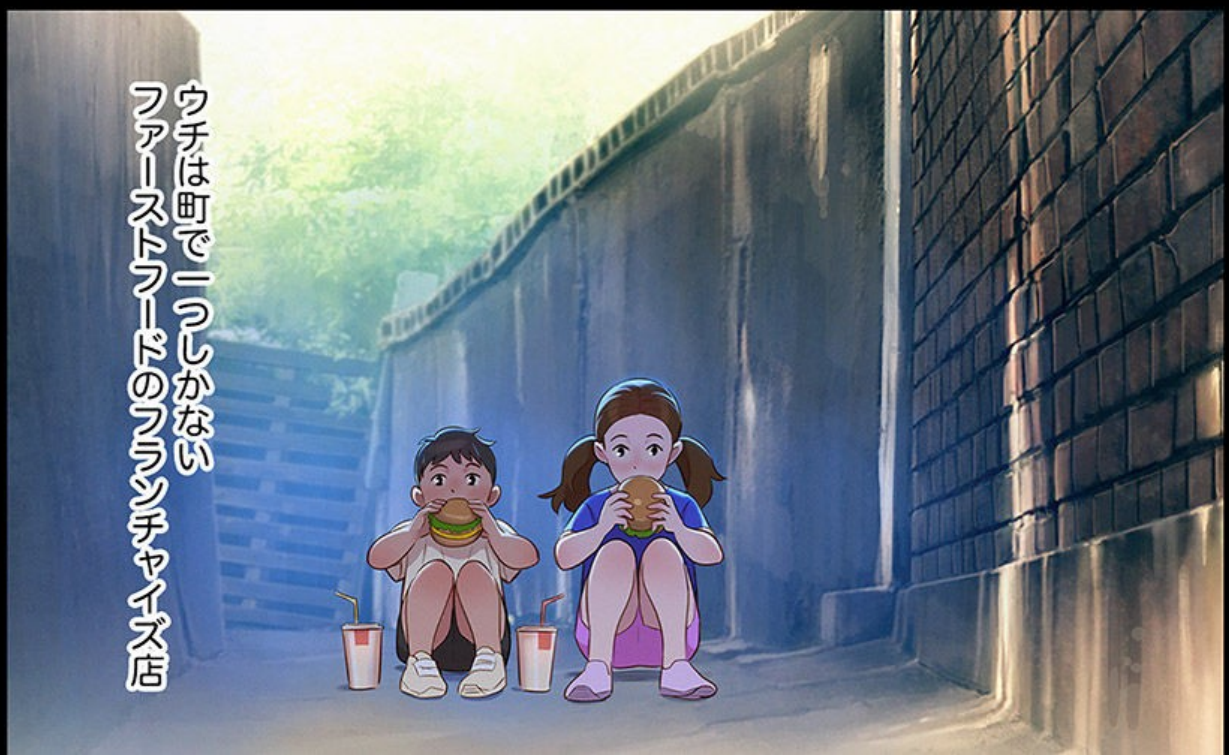

大変な事になった…


沙織姉さんと俺は
小さい時から
一緒に育った




ささき薬局
姉さんの両親は薬局を経営していて


山里みたいな
内陸の小さな都市


ウチは町で一つしかない
ファーストフードのフランチャイズ店


市の支援事業ではあったけど
塀を崩して過ごすぐらい
仲のいいお隣さんだった


父親達は
お酒と釣りで結ばれた
親友として過ごし


母親達は
お茶をして
時間を忘れるほど
話して過ごした


俺より二歳年上の沙織姉さんは
俺を連れて
山に野原に
駆け回った


大きくなるにつれて
ちょっと口げんかしたりはしたけど
決して気まずくなる事はなかったし


相変わらず仲がいい
姉弟みたいに過ごした


高三になって姉さんは
東京で一人暮らしを始めて


姉さんが大学に入学すると同時に
俺も東京で一緒に暮らした


お互いを家族として考える
両親達は二つ返事で
オーケーしてくれた


由紀さんは姉さんが
大学で出会った友達だった

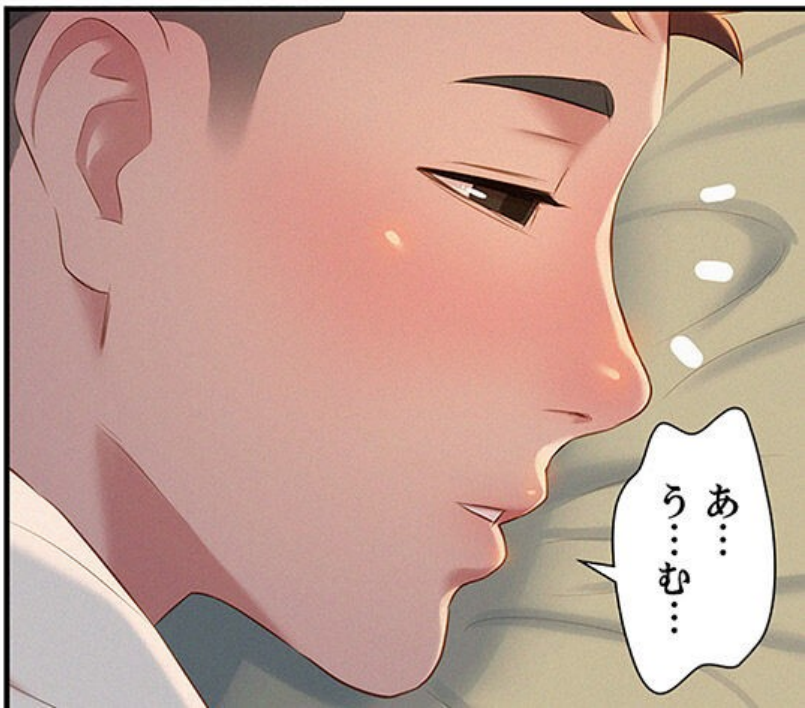

共通の趣味を持つ二人は
同じ町で暮らしながら
大学生活の間ずっと
仲良く過ごした


由紀さんは上京してきたばかりの
高校生の俺にも
気さくに接してくれた


そして俺も飽きるぐらい
顔を会わせるうちに
親しくならざるを得なかった


俺にとって由紀さんは
親しい近所のお姉さん的存在だった
PINK


あ何だ…
うっかり
寝ちゃったな


あ…
う…む…




喉…乾いた



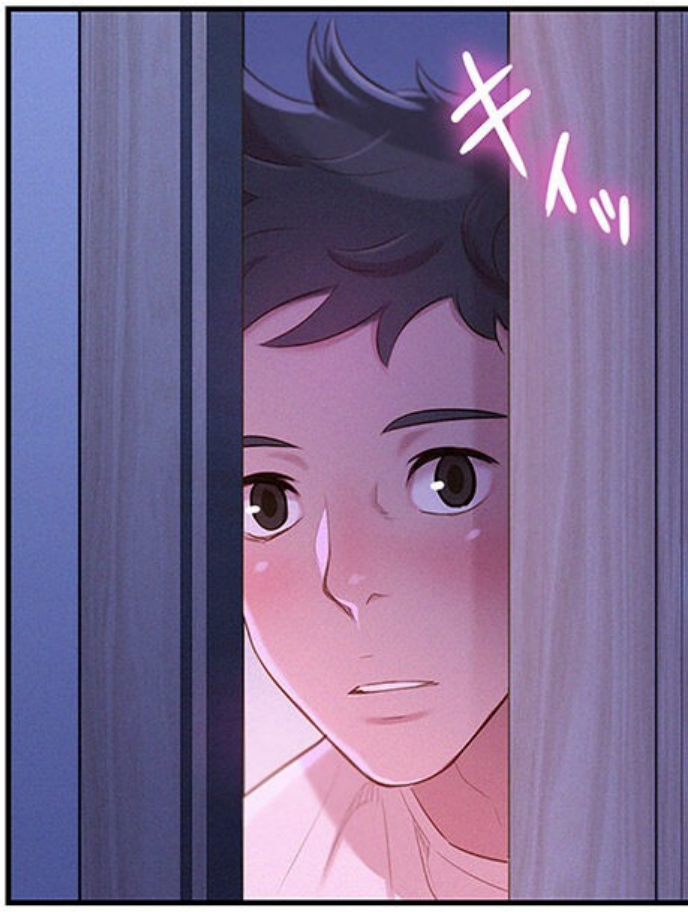

全く…どんだけ
飲んだら…


チラッ


姉さんは
一体何して…
ペタ
ペタ


ゴクッ

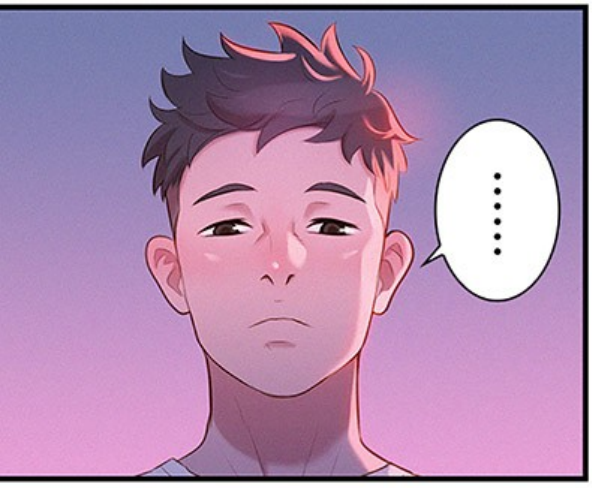


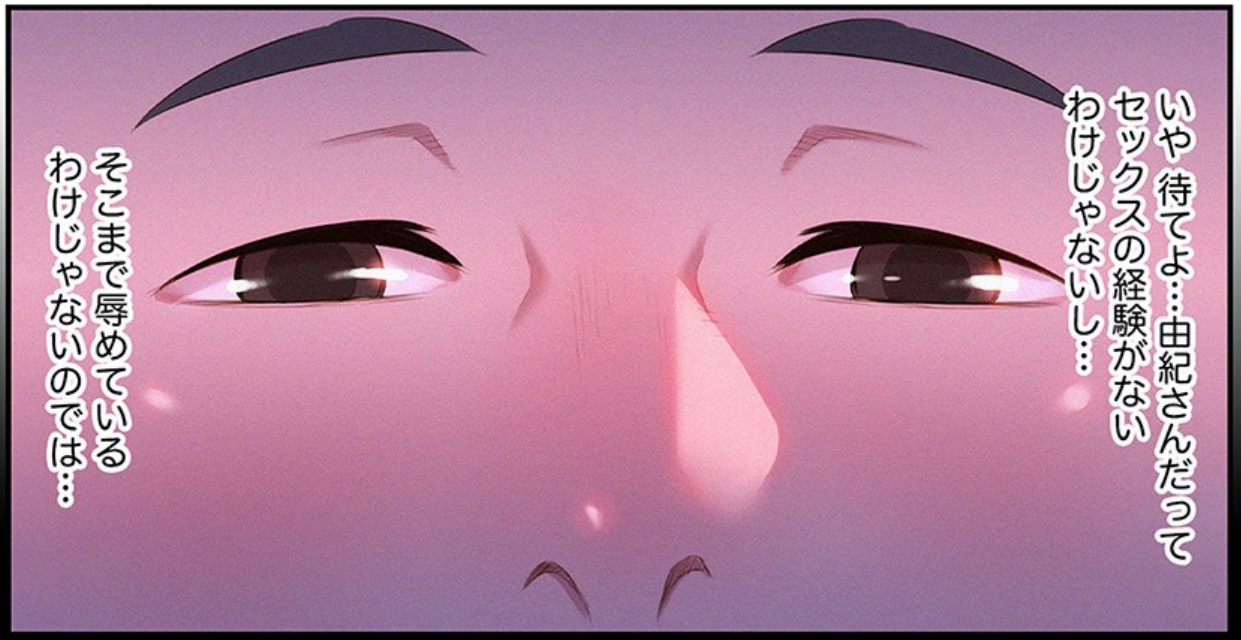

キィッ


全く…
友達は一人ソファに
放っておいて


はぁ…どうしよう…
由紀さんをセフレだと
言うなんて…
辱めているような
ものじゃん…


……


……


いや 待てよ…由紀さんだって
セックスの経験がない
わけじゃないし…
そこまで辱めている
わけじゃないのでは…

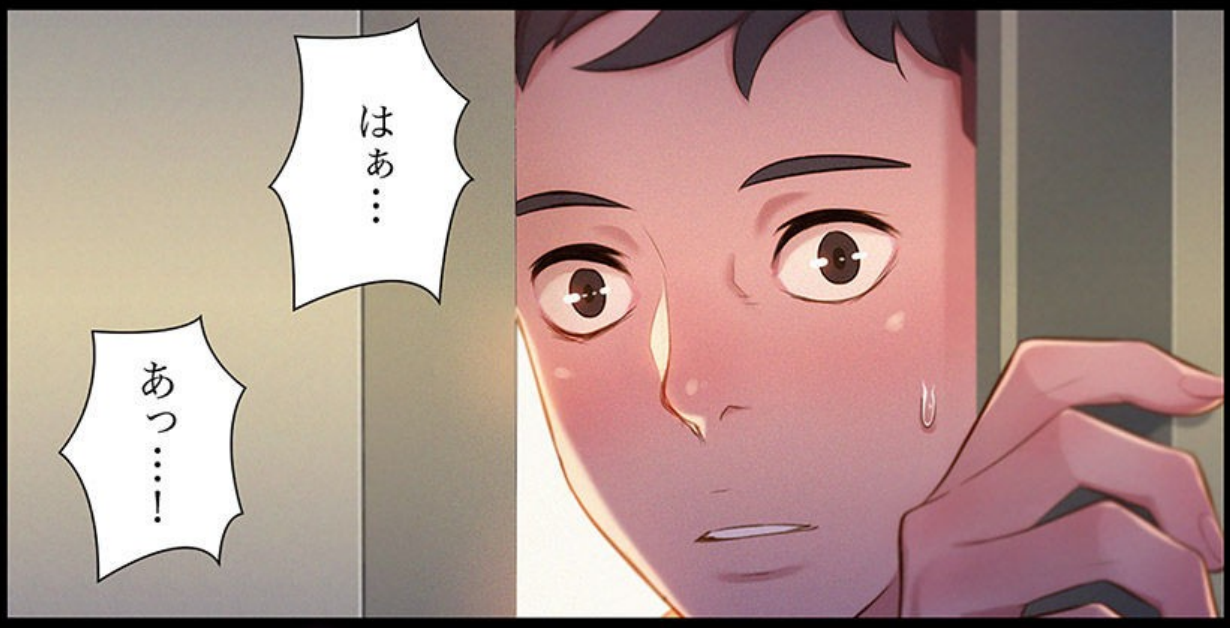

いるー？
実家から
送られてきた野菜を
渡しに行った…


あっ…ん
俺の記憶の中に
深く封印したあの日…


ハッ…
心の奥底に
葬ったはずの記憶

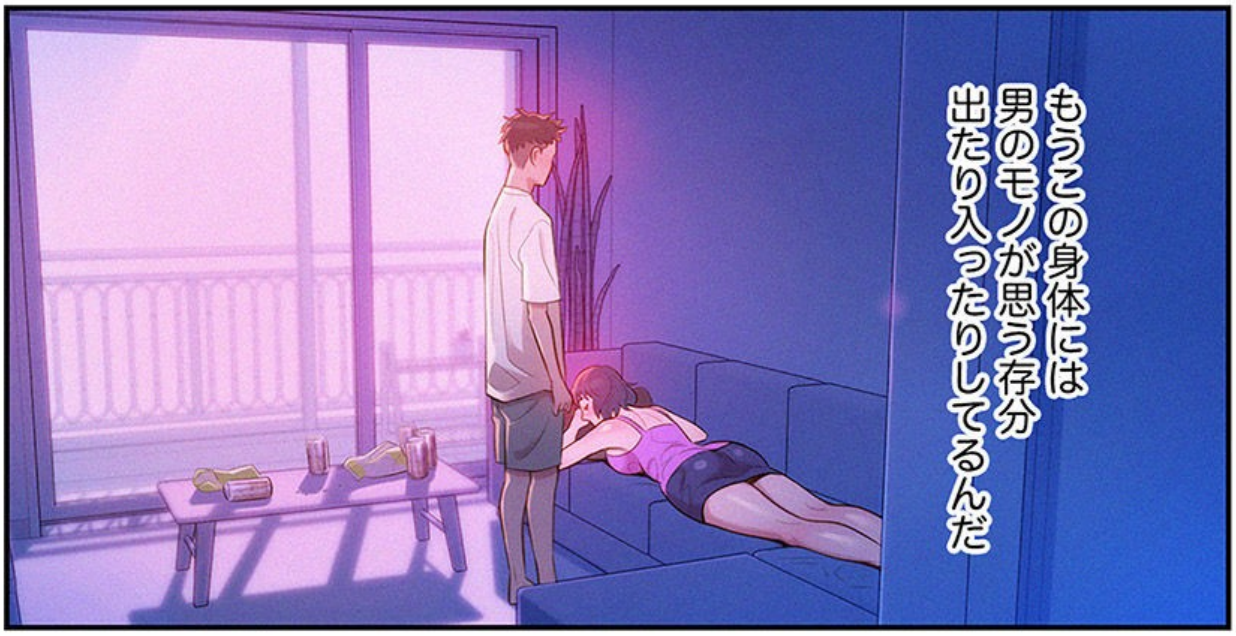

はううっ！
ズブッ
ズブッ


あんっ！
決して忘れられないあの表情


はぁ…
あっ…！


んんっ…
パチッ
パチッ
ん…
俺の知らない由紀さんがそこにいた

そう…由紀さんは男とセックスをした事があるんだ！




はぁ…本当にぐっすりだな…これはまだまだ起きないな…


何で今日に限ってこんなにエロく見えるんだ…


…由紀さんには本当のセフレがいるかもしれないけど
ムニュ…


由紀さんのこのナカに…

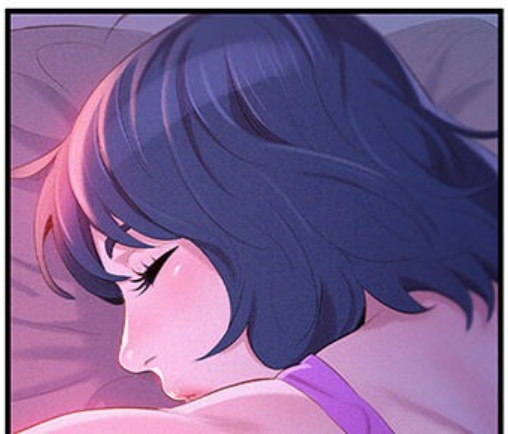

そんなの誰も知らないし


ひょっとしたら
今も思う存分男達と
エロい事をしてるんじゃ
ないのかな…


由紀さん…
どうなの？


ドクン
ドクン
ドクン








松田不動産
ミナミ食堂
#003

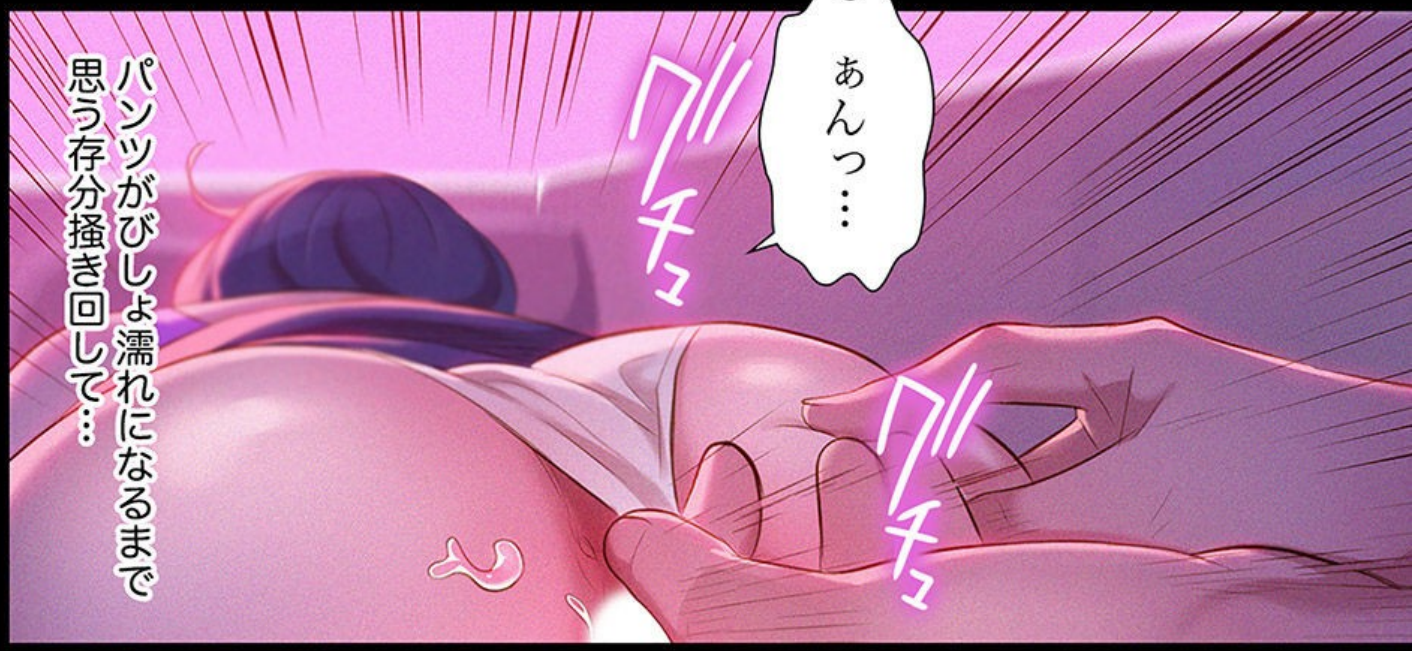

由紀さんだぞ…


てか何してるんだ俺…
ドクン
ドクン
スクッ


触って大丈夫なのか？


ドクン
ドクン
ドクン
はぁ…本当に柔らかい…
由紀さんのお尻…

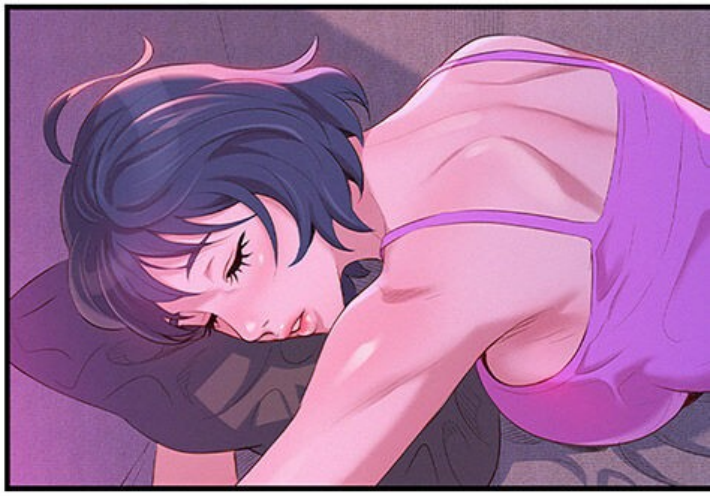

パンツの中に手を入れて
一度だけ触ってみたい
クチュ
クチュ

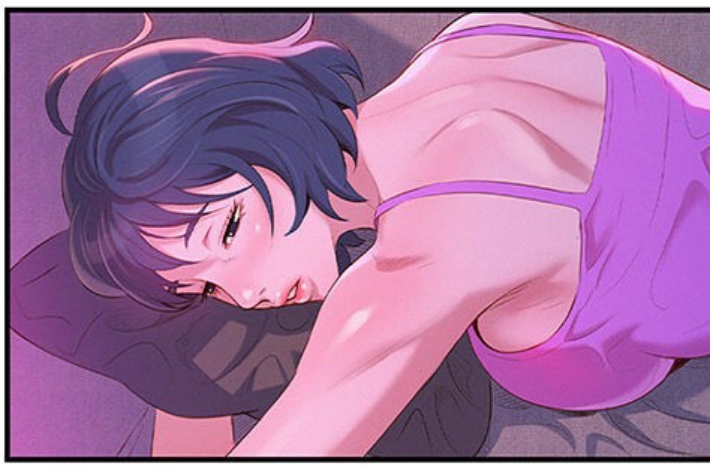

あんっ…
クチュ
クチュ
クチュ
パンツがびしょ濡れになるまで
思う存分掻き回して…


な…何を…!!
ああん!!
あの柔らかいお尻の中に
一度だけでいいから…
俺は何を考えて…
スクッ
由紀さんで
こんな…
スタ
スタ


ビターン


グイッ






チュン
チュン
松田不動産
ミナミ食堂


ほんと…
大きくなったわね…


ズズッ

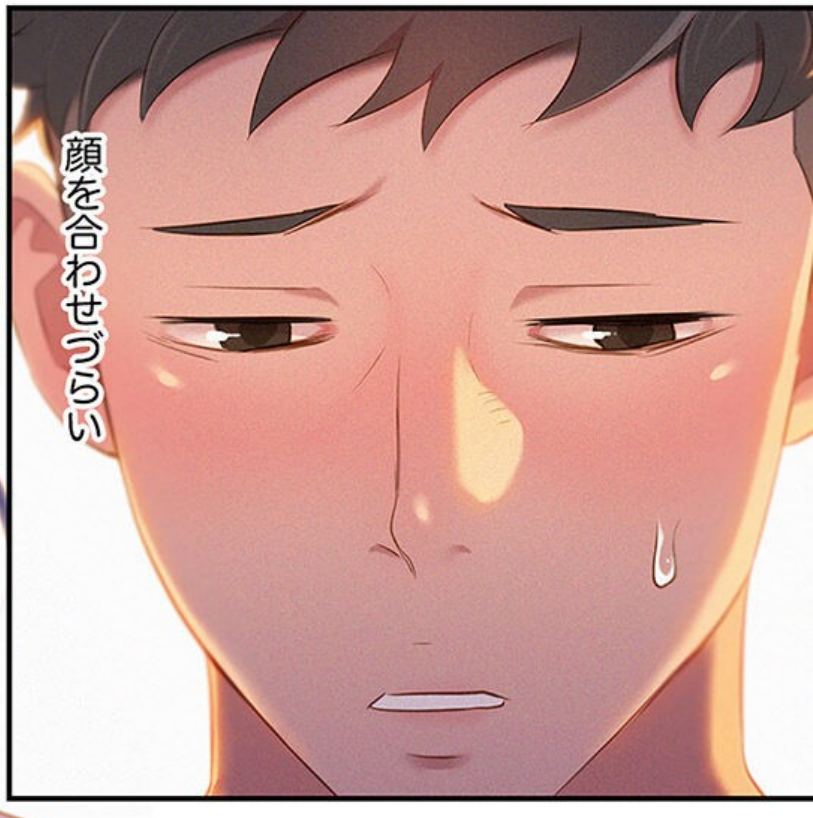

トッ


わあこれ
インスタントにしては
おいしいじゃない
でしょ？
お湯だけ
あればいいから
便利なの


何個か持ってく？
この間たくさん
買っといたんだ
本当？じゃあ…
二ついい？


京太郎 あんた
冴えない顔してるわね
もっと食べなよ

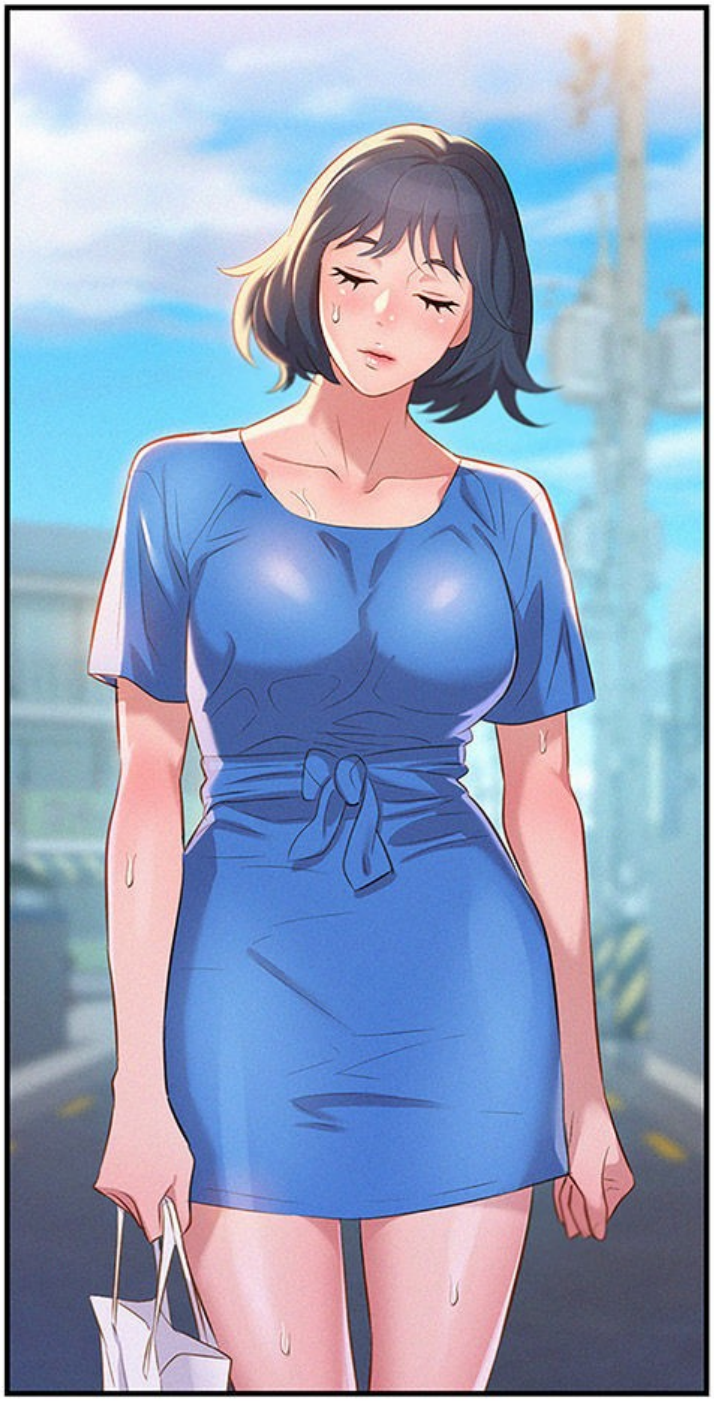

た…食べてるよ


顔を合わせづらい


由紀さんは寝てたから
気付いてないみたいだけど…

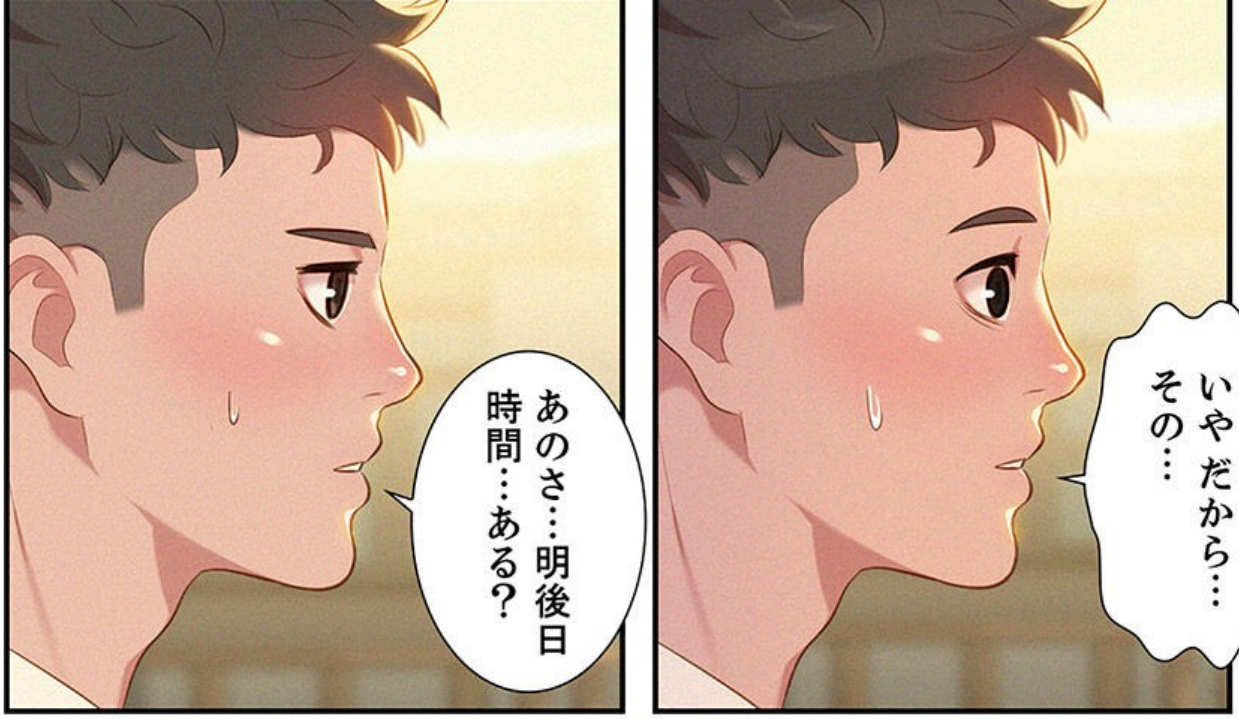


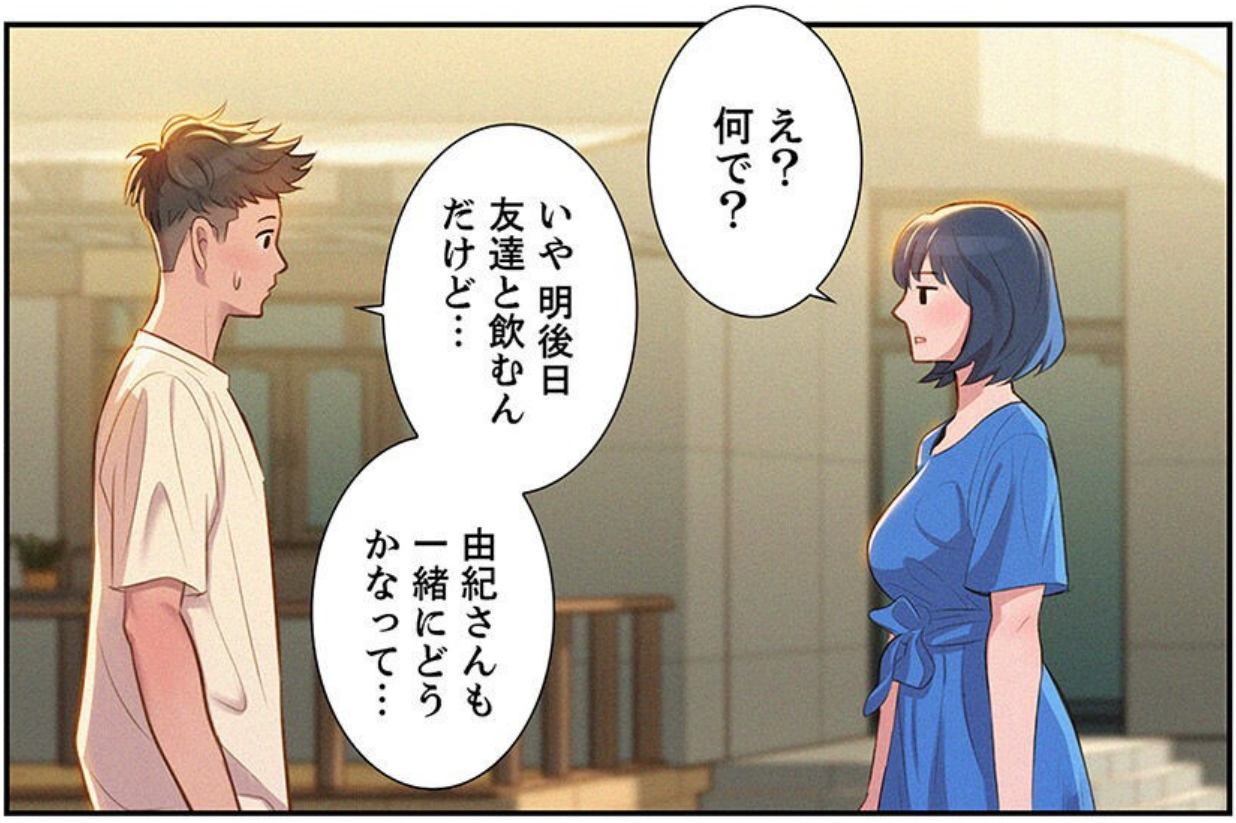

由紀さん！

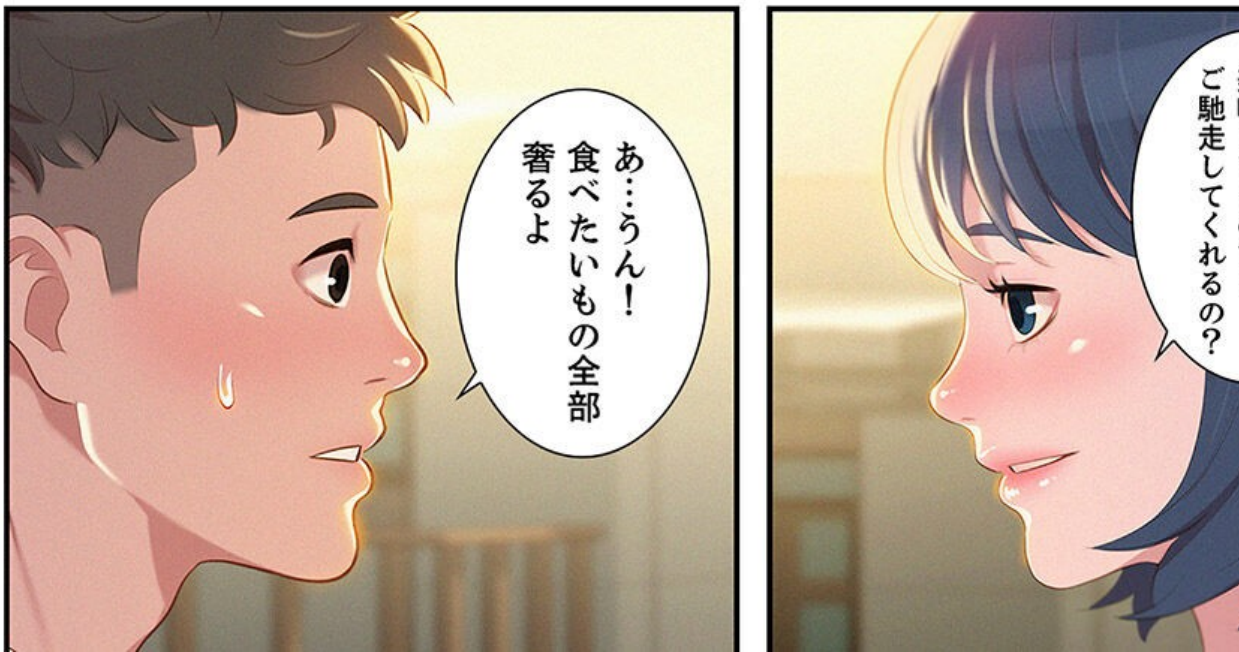


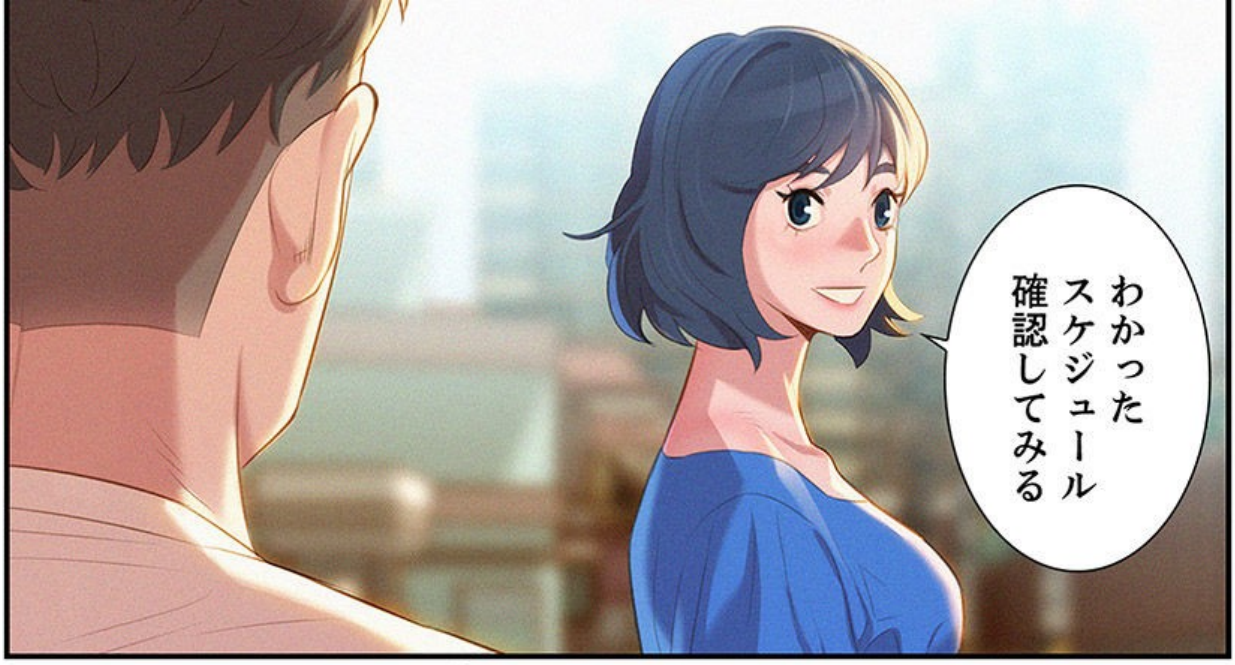

ちょっと
待って！


どうしたの？


いやだから…
その…
あのさ…明後日
時間…ある？


え？
何で？
いや 明後日
友達と飲むん
だけど…
由紀さんも
一緒にどう
かなって…


何か
美味しいものでも
ご馳走してくれるの？
あ…うん！
食べたいもの全部
奢るよ

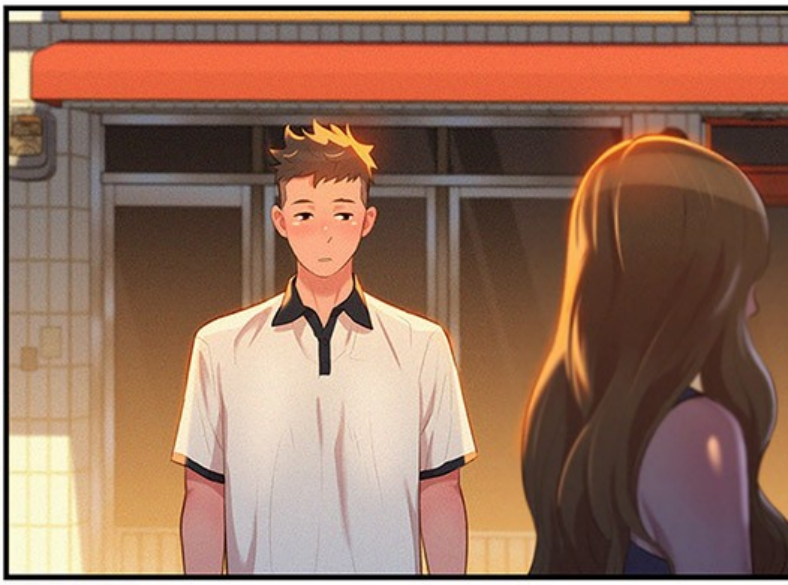

わかった
スケジュール
確認してみる


わ…わかったら
連絡してね！










ふう…早く
来すぎたかな…
まだ誰もいない…


トン
ニヨニヨ


あっ…
本田のセフレじゃん！
写真より
キレイ…

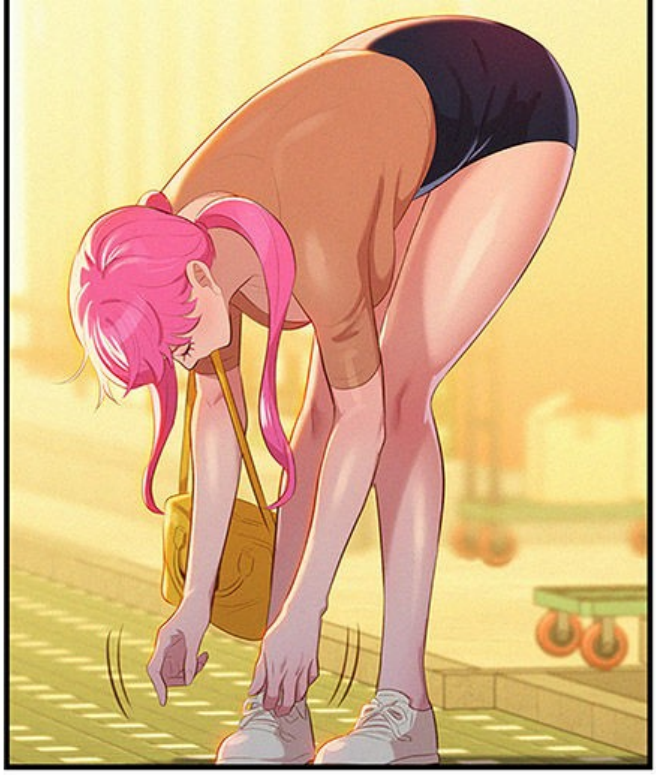

そっか…まだ俺の事
知らないんだ…
どうしよう…


うっ…生で見ると
すごいセクシーだ…
胸も大きい…


尻のライン
やばいな…
すげー…

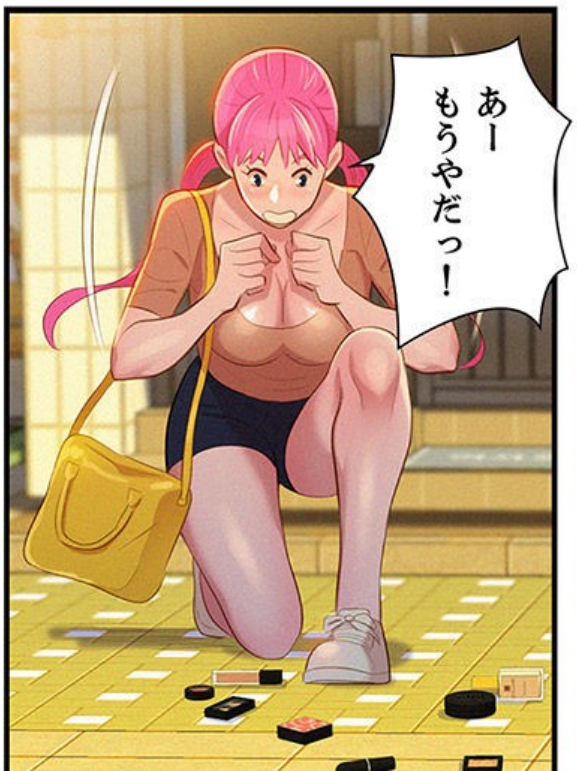

本田のやつ…
一体どうやって
こんな子とセフレに
なったんだ…


本当にこんな子と
セックスしてる
のかよ…



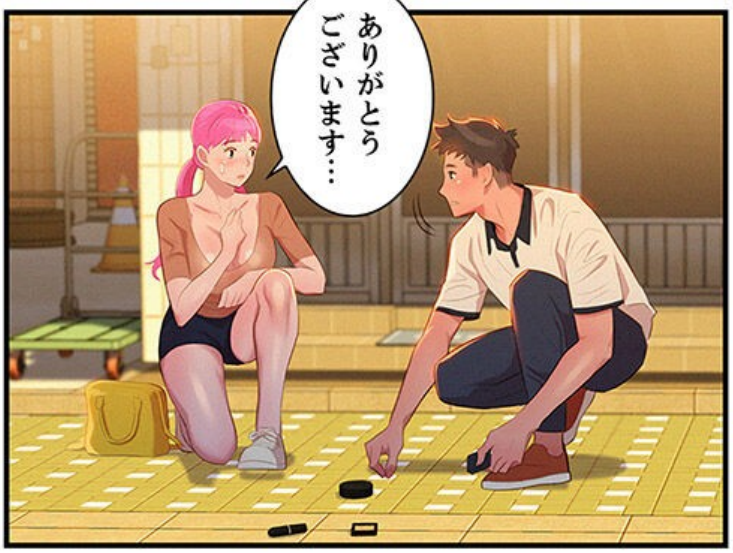



おおっ…

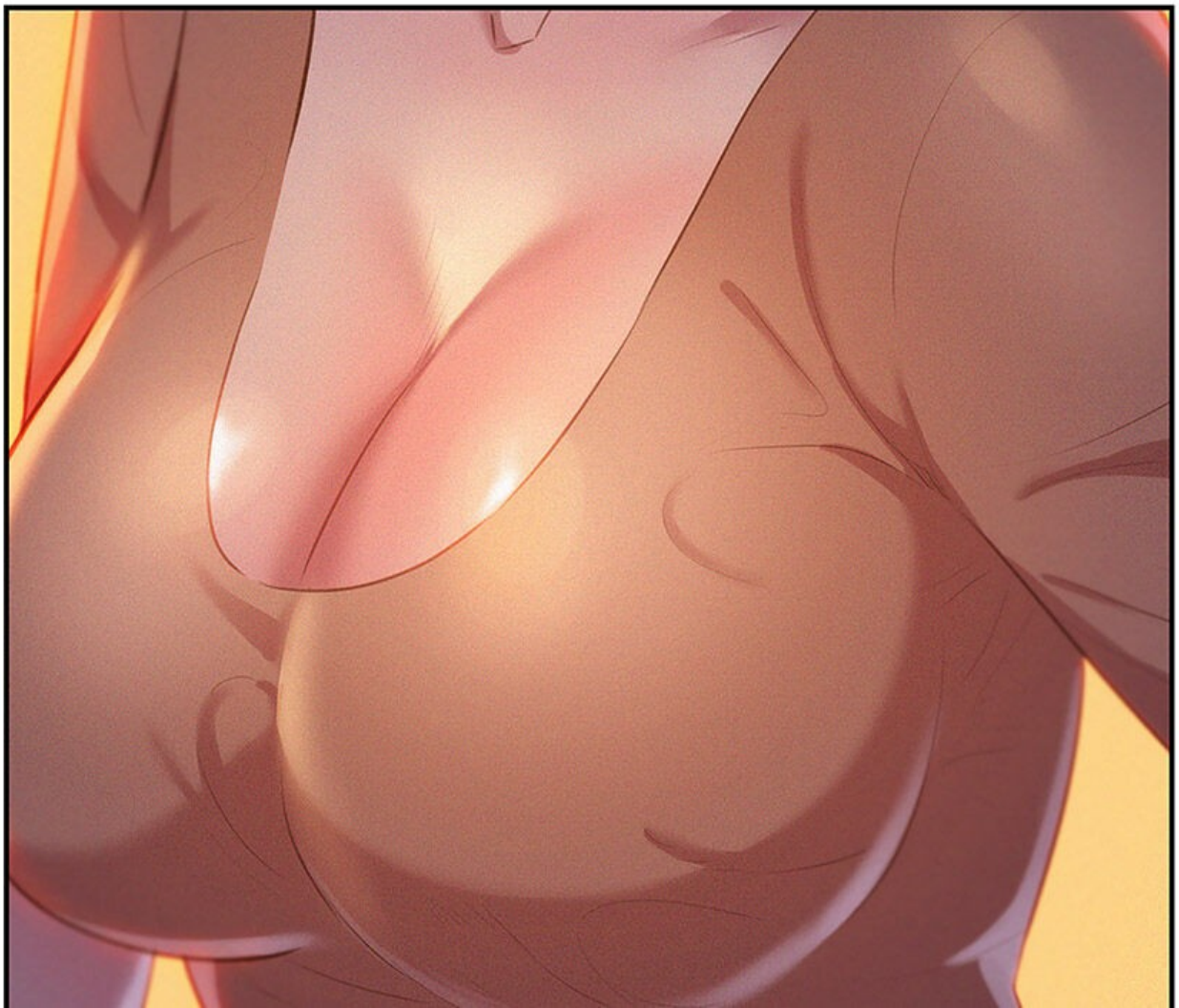

あー
もうやだっ！


ガシャ
MAKE UP FOR EVER
MEC


大丈夫ですか


ありがとうございます…


い…いえこれぐらいは…




む…胸が…
セクシーの塊
みたいだ…


あっ…靴ひも結ぶ間
バッグ持ちますよ


あの…
ありがとう
ございます


ゴクッ


あっ…はい！
じゃあちょっとだけ
お願いできますか？
もちろん


!!!
ああ…頭が
ぼんやりする…
やばいな…
何にも考えられない…
このお尻におもいっきり
挿入れてみたい……！

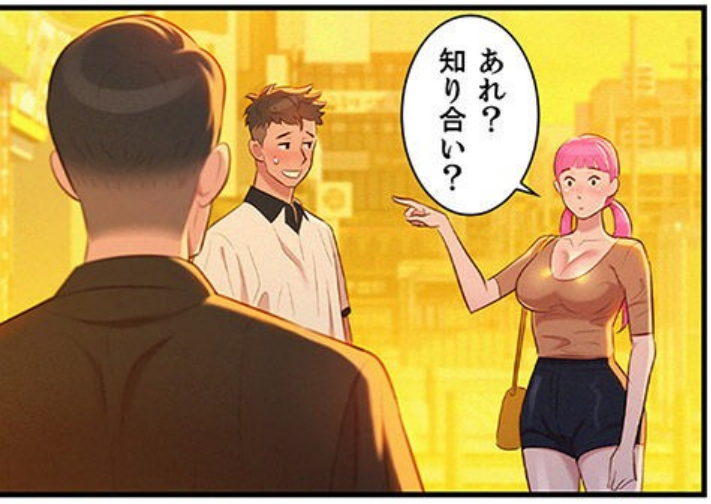

思い切り
この子とセックスを…


ピコーン
ピコーン
ピコーン

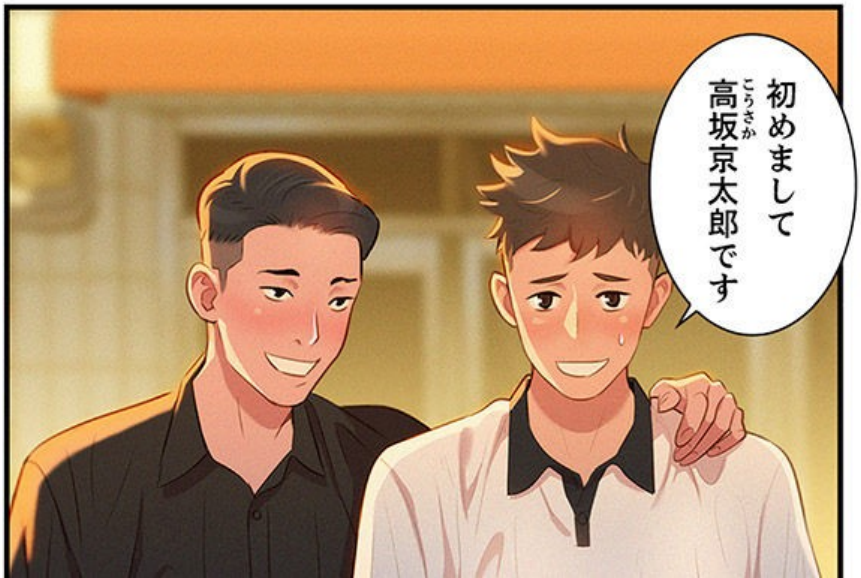

タッポクムタン
タッポクムタン
3F
#004


よー
もう仲良くなったのか？


おー
達也くん！

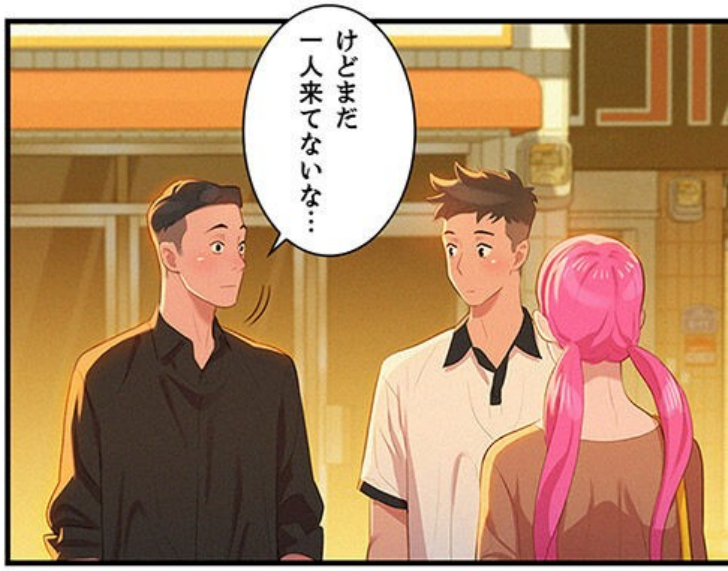

あれ？
知り合い？


そうそう
俺の友達


初めまして
高坂京太郎です


あー！
そうだったん
ですね！
あはは…
そうっすね…




けどまだ
一人来てないな…


あ来た
こっち！


へぇ…
大当たりじゃん…


最初はこいつ
地下鉄もまともに
乗れなかったんですよ


WARIWARI

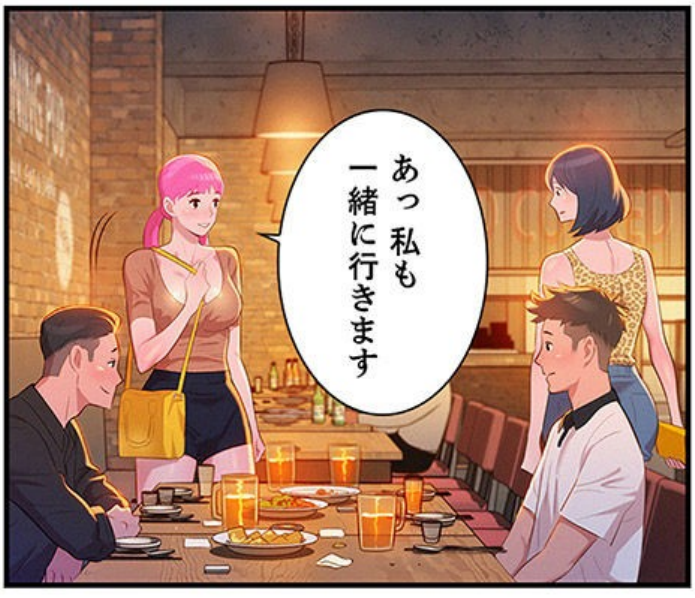

ふふ…私と会った時も
本当に田舎くさくて
そこもかわいかったのよ?


俺が連れ回して
東京での生き方を
教えてあげたんです
クッ
クッ


む…昔の話は
やめてくれよ…！


俺をわかってくれるのは
花菜ちゃんだけだよ
えへへ…
カンパーイ！
カンッ


でも
三年も住んでれば
もう東京人ですよ！


あっ 私も
一緒に行きます


京太郎イジリは
このぐらいにして…
私はお手洗い


花菜ちゃんって
性格も良いよなぁ


あんなに美人で
性格の良い子と…


まぁ今まで
何人も告白して
玉砕してるしな


けどお前
本当に花菜ちゃんと
セフレなのか？


セフレがいる女は
遊んでそうな女で…
あんな普通の子は
セフレを作るわけ
ないってか…？


いいや
そうじゃなくて…
どうやって
花菜ちゃんと
セフレになれたの!?
グビグビ


おいおい
そんな簡単には
教えられねーよ


い…いいだろ
教えてくれよ
じゃあ後で
ちゃんと頼むぞ
え…
う…うん…


約束しろよ
今日は俺が由紀さんに
イケるよう協力するって


わかったってば…
さっさとその秘訣を
教えてくれよ


俺だって最初は
遠くから眺める
だけの存在だった


美人だし 性格も良いし
スタイルも抜群に
良かったしな…


サークルの男達は
皆アタック
してたけど…


ガードが固くて
全員ダメだった


絶対に隙なんてないし
男達も諦めムードに
なってたんだ


だけど
ある日のサークルの
飲み会で…
酒をたくさん
飲んだ日が
あったんだけど


俺はとっくに諦めて
ただ近くで身体を観賞して
満足してたんだけどな

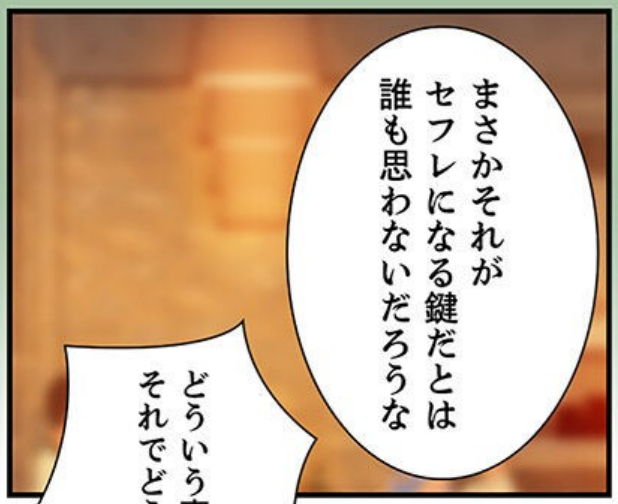

花菜は酒が弱くて壁に寄りかかってたんだ
あのお尻を見てたら何かが湧き上がってきたんだ
俺もちょっと酒に酔ってたしおかしかった…
今思い出しても何であんな事したかわからないけど…
俺はただ背中でもさすってあげようと…


花菜が
こっちを向いた時は
まじで人生終わったと
思ったよ


だけど
気付いたら
花菜のお尻を
叩いてたんだよ




ん…
達也くん…？


まさかそれが
セフレになる鍵だとは
誰も思わないだろうな


どういう事？
それでどうなったの!?


どうなったって…？
奇跡が起こったよ


その後俺は
花菜と熱い時間を
送る事ができた


やばいぐらい
うっとりする
セックスだった
はぁん！


あぁ…
ズブ
ズブ
あぁん！


秘密の鍵さえあれば
花菜の身体はずっと
ノーガード


あの日以降は
簡単さ


そうするうちに
俺達はセフレの関係に
なったのさ
ズブ
あぅん！
ズブ

……

…花菜ちゃんのお尻を叩いたらセックスができたって？

そうだ
お前にだけだぞ
これを教えるのは

由紀さんと交換じゃなきゃ絶体に門外不出の情報だ

はぁ…嘘だろ
じゃあ俺も花菜ちゃんのお尻を叩いたらセックスできんのか？

もちろん花菜がお前をある程度気に入ってる前提だけどな


嘘つくなよ
いきなり尻を叩けって？
俺をバカにしてるのか？


俺が
手伝えるのは
ここまでだ
あとはお前
次第だよ


ビビってんのか？


お前に
もう一つだけ
教えといてやる


パブロフの犬って
知ってるか？
ああ あの
条件反射のあれ？


実は花菜は
過去に色々
あったらしくな


な…何が？


あれ～
二人で仲良く
内緒話ですか？

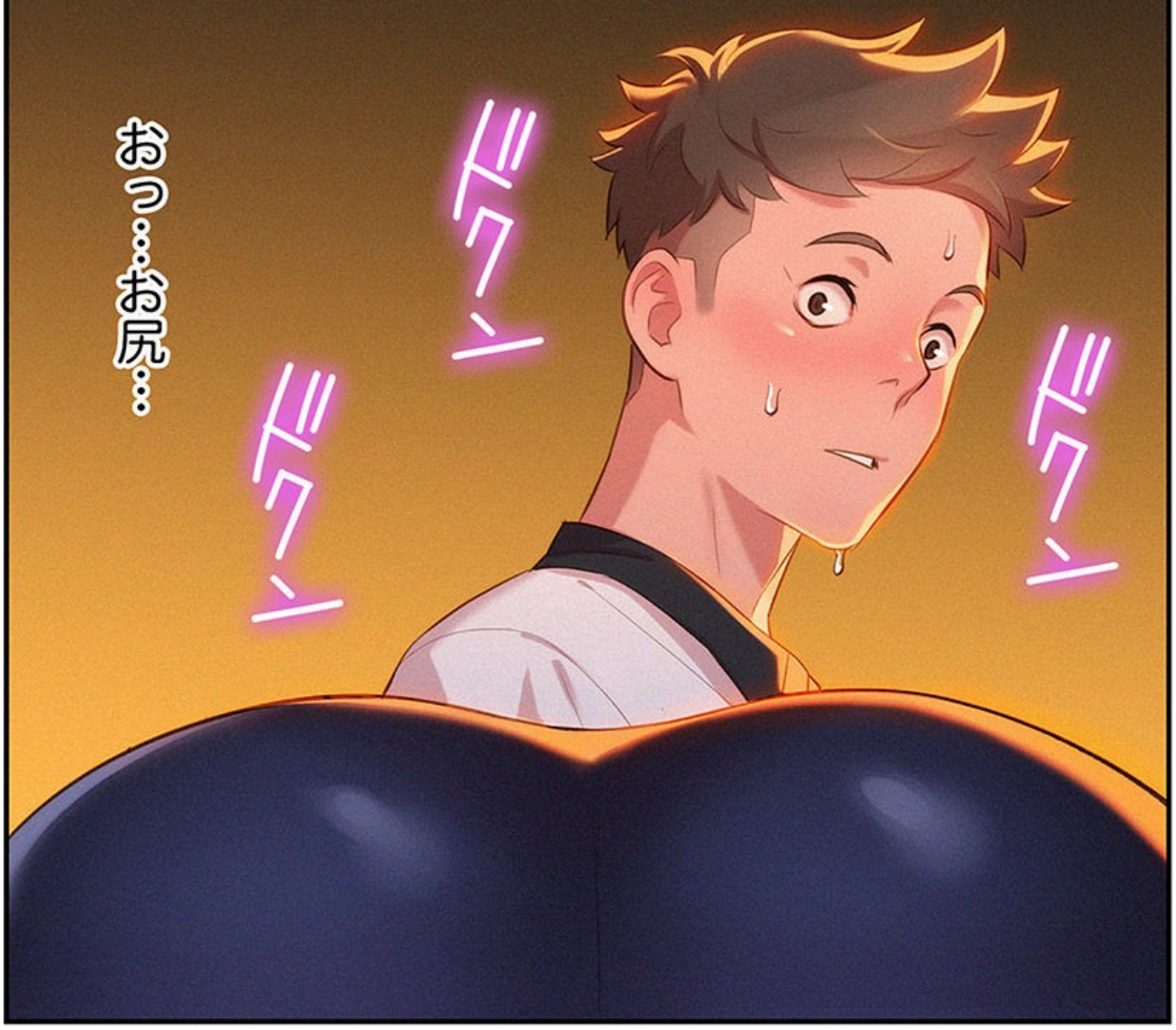

イッ


どうせろくでもない事
話してたんでしょ？
男なんてそんなものよ


あっ…また
靴ひもが…


別に…
何でもいいだろ
あはは…
手厳しい…


ストッ


ドクン
ドクン
ドクン
おっ…お尻…


ドクン
ドクン
ドクン
このお尻を叩いたら…
セックスできるのか…？

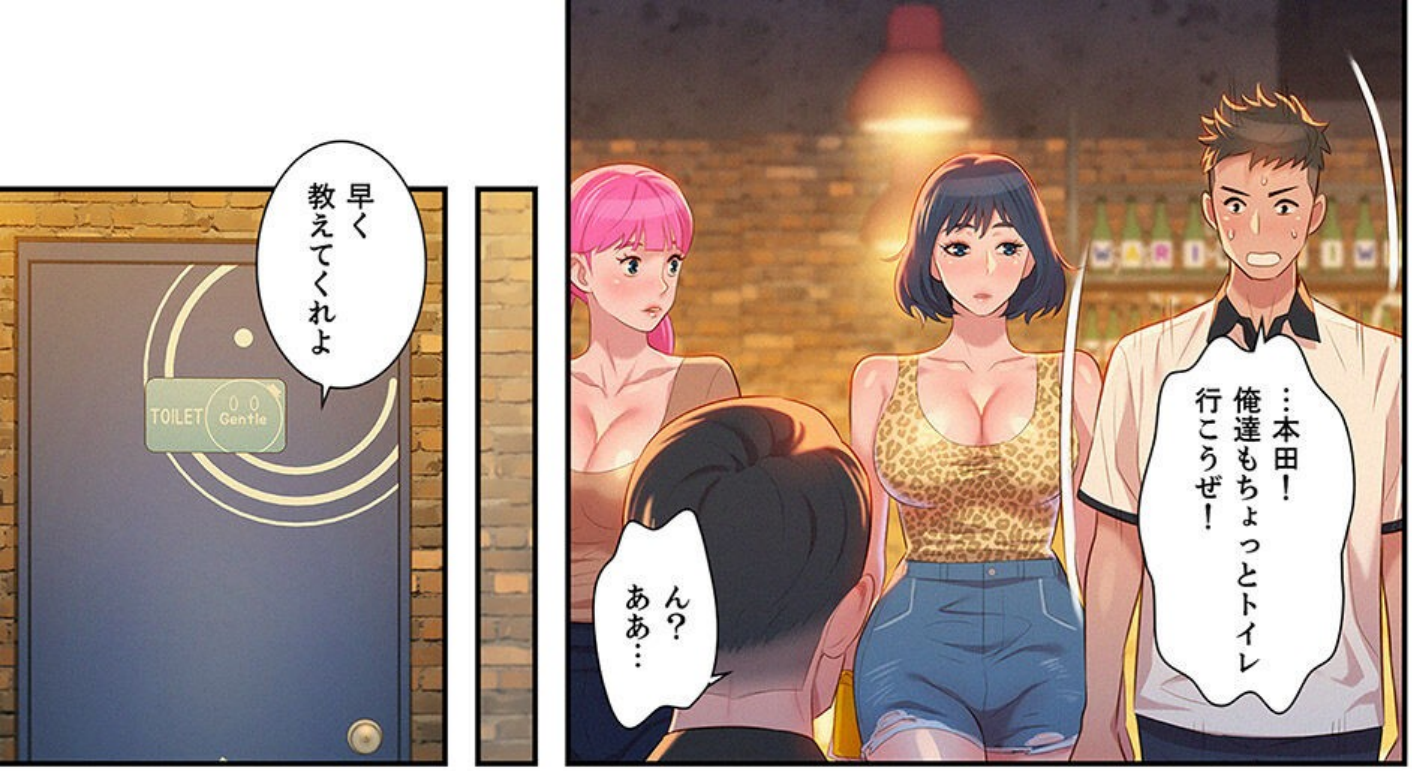

しっかりしろ
あんな話を
信じるのか
#005


本田が
俺をからかってる
だけだ…


うっ！


な何を
言ってるんだよ
全く…


あんた
見すぎ


…本田！
俺達もちょっとトイレ
行こうぜ！
ん？
ああ…
早く
教えてくれよ
TOILET
Gentle


パブロフの犬
ってどういう
意味だよ
さっきの続きを
教えてくれ


まぁそんなに
焦るなって…


まだ花菜が
高校時代の話だ


合唱をやってたらしいんだけど
そこの青年部の大学生の男に片思いしたんだって


優しくて誠実で頭も良くて…
それでいてカッコよくて好きだったって


とにかく二人は仲は良かったらしいけど
いつも花菜は子供扱いされてばかりみたいでさ


GANA
chocolate


面と向かって告白もできなくてずっと片思いだったわけだ




ある日 花菜が
レギンスを履いて合唱に
行った時だった
普段はあまり
そんな服装はしない
らしいんだけど


ケータイを見ながら
友達を待って
いたら…


パーン


その男がお尻を
ピシャッと叩いたらしい


何て事ない
挨拶みたいなもの
だったはずなのに…
よー


こ…
こんにちは
花菜はあの瞬間
一種の魔法にかかって
しまったんだ


その日の夜花菜は
興奮で
眠れなかったんだとさ
クチュ
クチュ


その男にお尻を
叩かれた瞬間がずっと
頭から離れなかった
らしい


手の感触が
自分のアソコまで
伝わってきたとかなんとか


その感覚が
どうしても
忘れられなかった


花菜が教会に行く
理由はたった一つ
その男にまたお尻を
叩かれるためだ


お尻を強調するような
服を着てみたり…
色々アピールしたけど
無駄だったんだって


けどあの日以後
その男は二度と
花菜のお尻に手を
出さなかったらしい





そして大学生に
なった花菜は




あぁん
何人かの男達と
関係を持ってみたけど
特定の誰かとは
付き合ってはなかった


花菜はセックスを
する時に男達に
お願いしてるんだよ…


パァン
自分のお尻を
叩いてほしいってさ







正確に言うとあの男にお尻を叩かれた時の興奮を思い出すため…か


はぁ…
はぁ…
はぁ…
だから花菜は少しでも
好感の持てる男に
お尻を叩かれると
エンジンが掛かるんだ
あの感覚を思い出したくて
お尻を叩いた男と
セックスをしたがる


どうだ?
美しい初恋の話だろ?


あ…あり得ない…

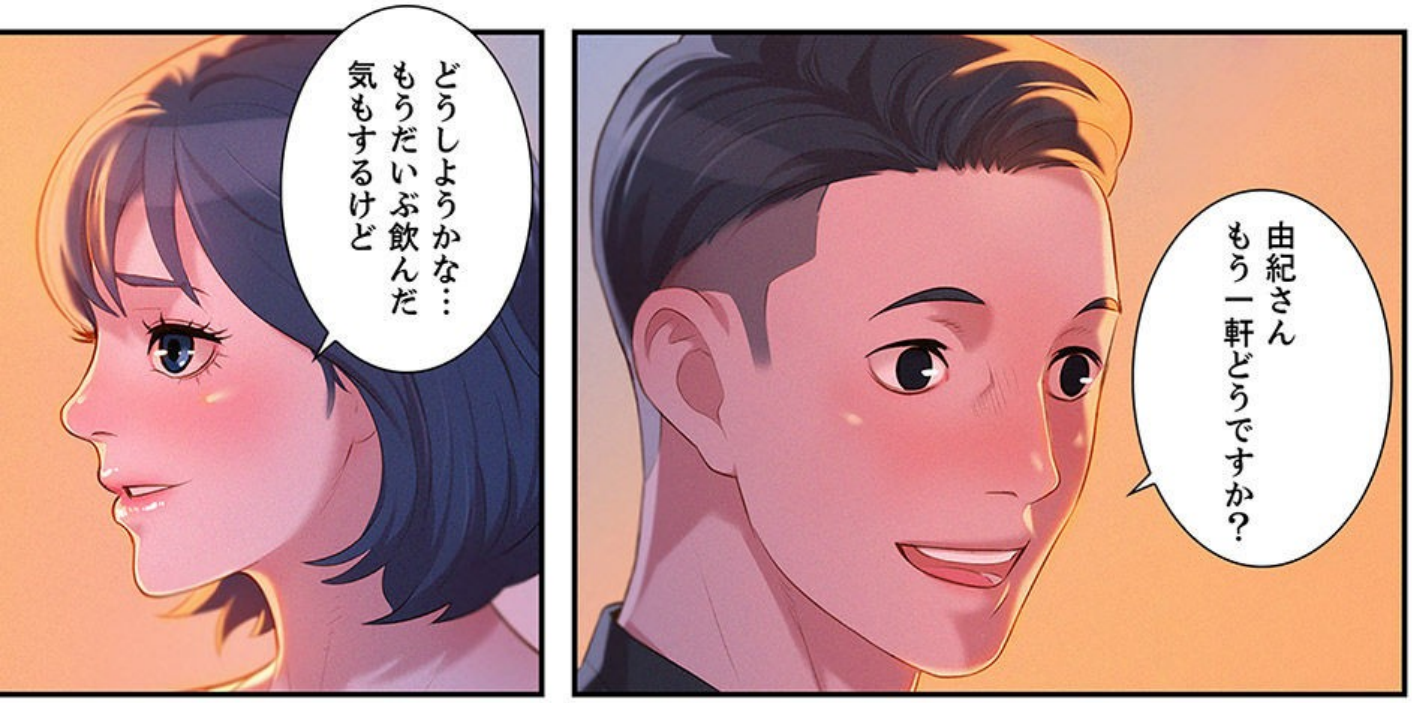

じゃあ俺も
花菜ちゃんの
お尻を叩いたら…
花菜がお前に好感を
持ってるならな

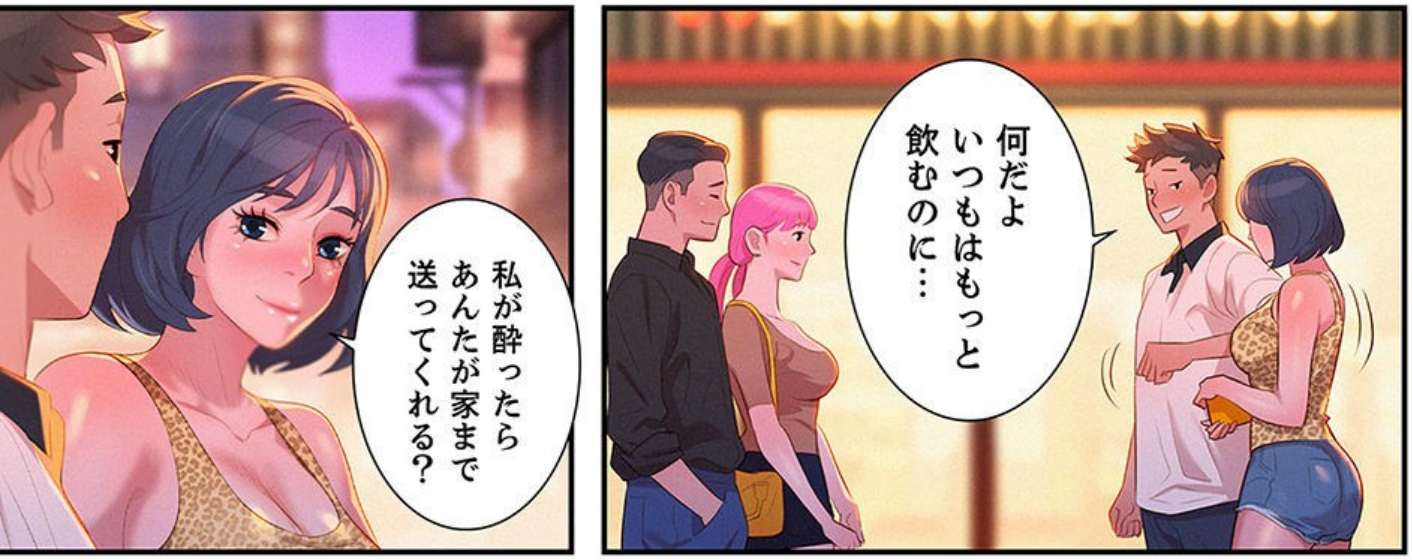
とにかく花菜のお尻を叩いてみなきゃわからないって事だ

……



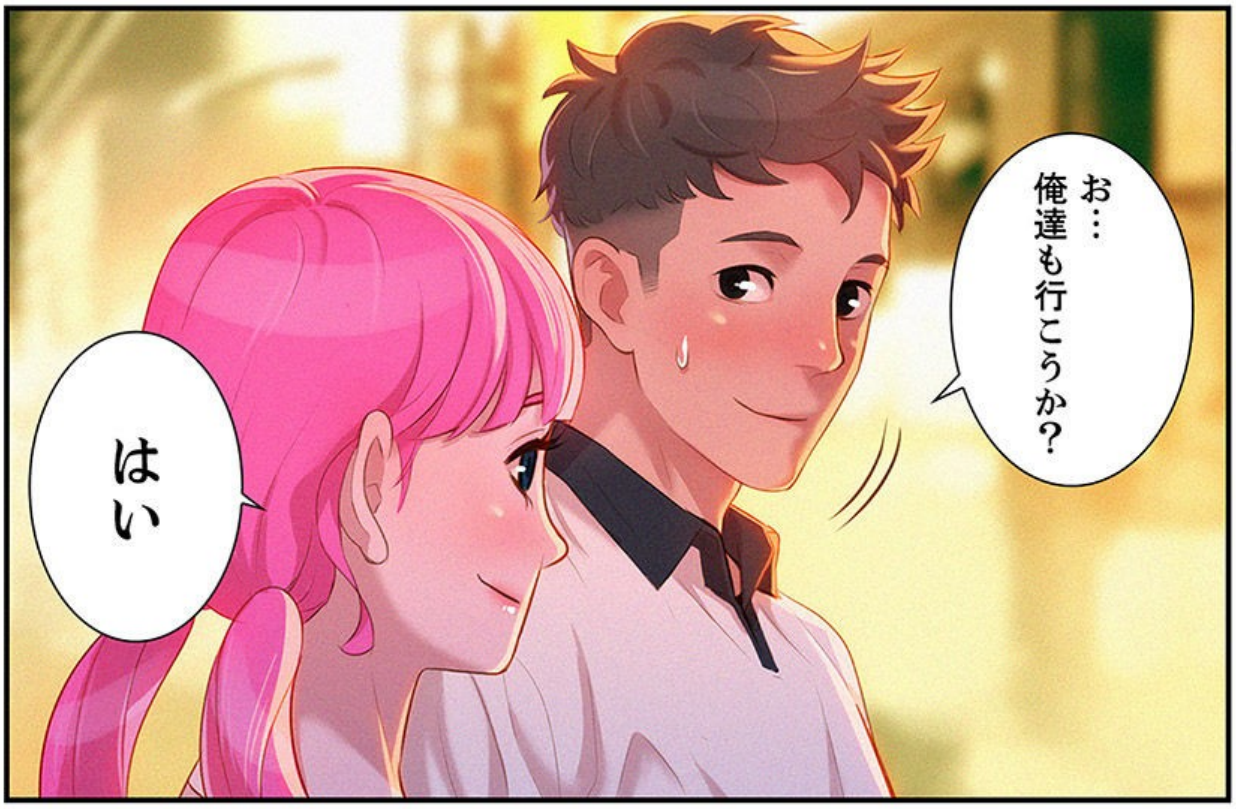



由紀さん
もう一軒どうですか?
どうしようかな…
もうだいぶ飲んだ
気もするけど


何だよ
いつもはもっと
飲むのに…
私が酔ったら
あんたが家まで
送ってくれる?


心配しないで
俺がタクシーで
家の前まで
送ってあげるよ
グイッ


あっちの
路地に行くと
結構良い店が
あるんですよ?
あー
私も知ってる
店かも

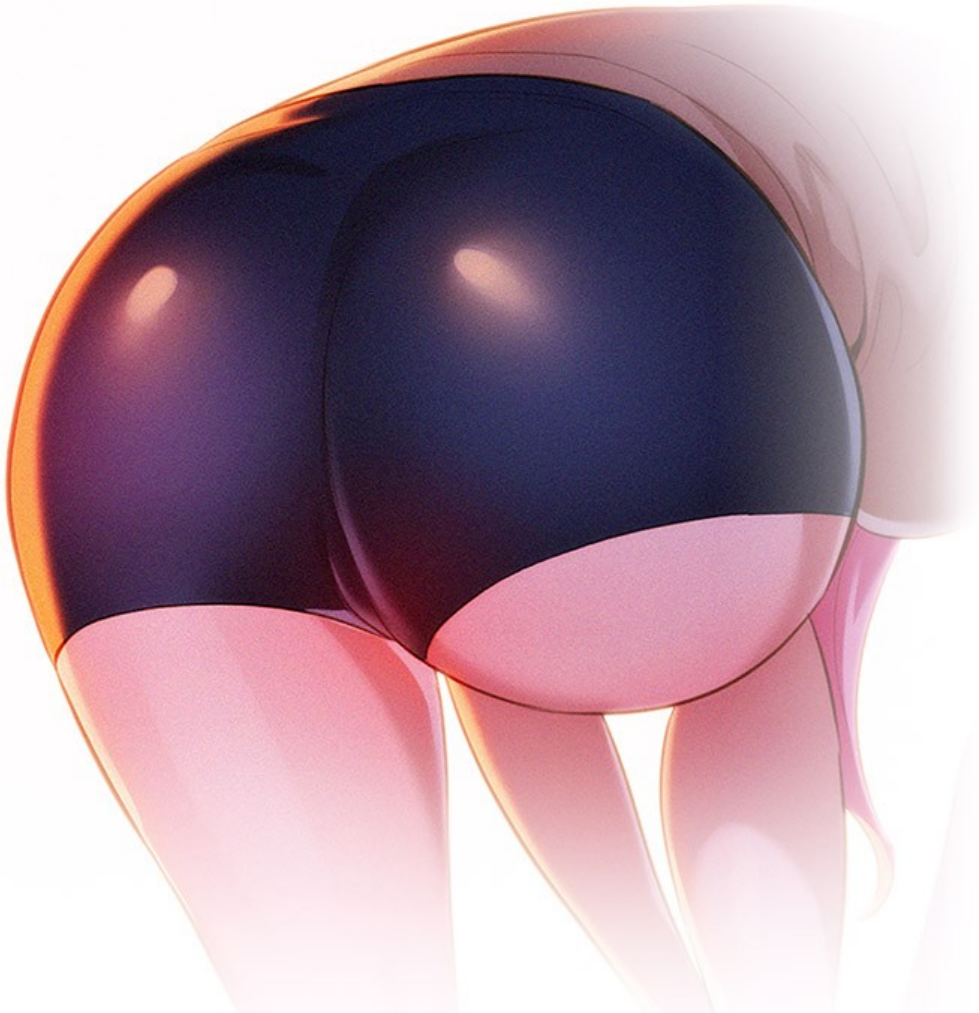

お…
俺達も行こうか?
はい

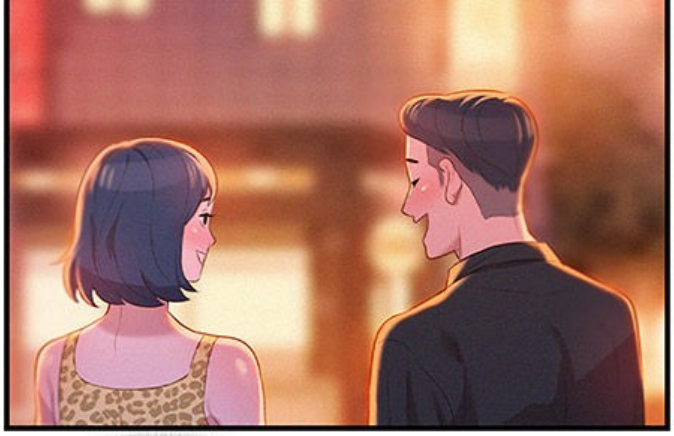

あ…


も~…
何でこんなに
ほどけるんだろ…



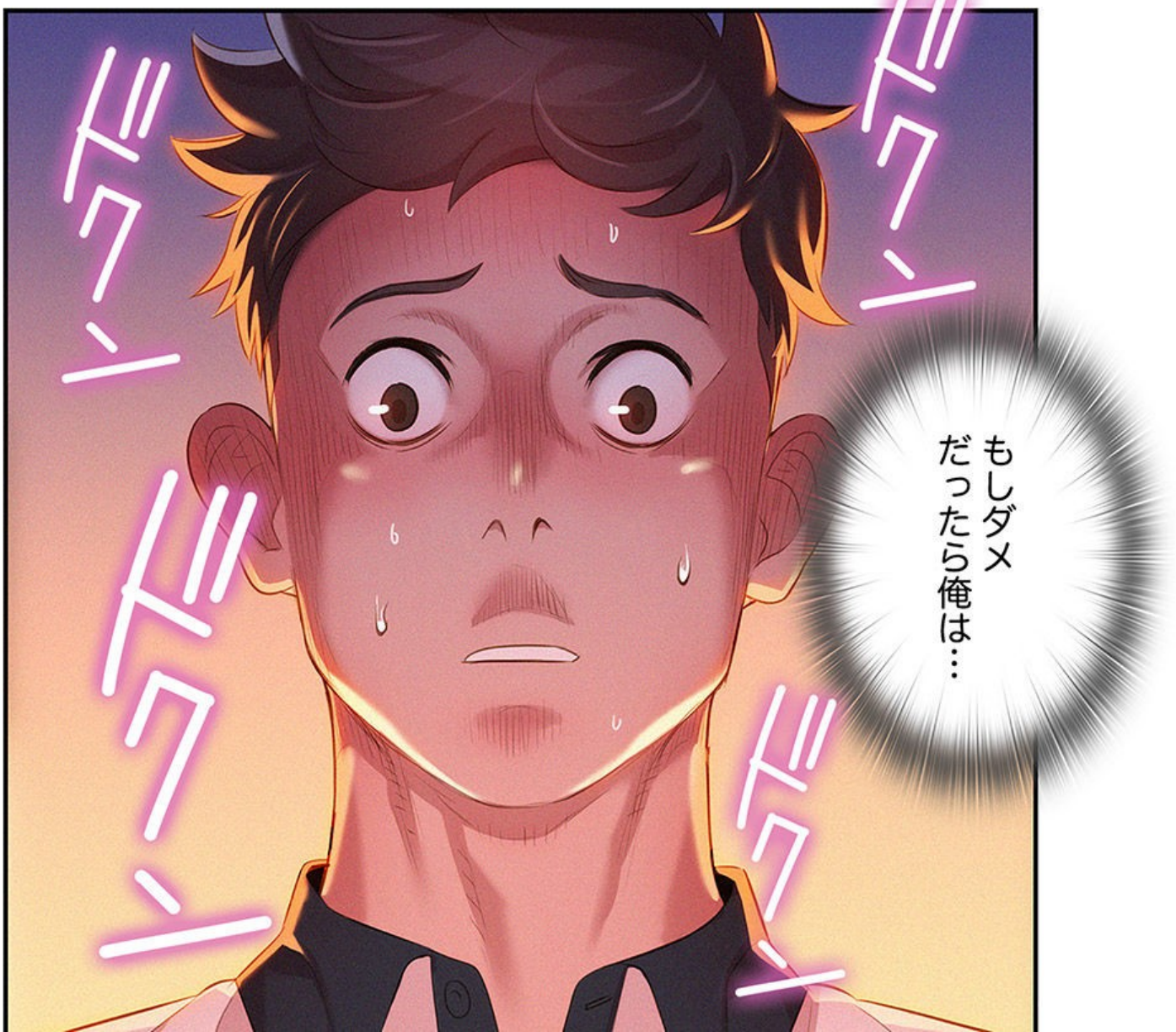






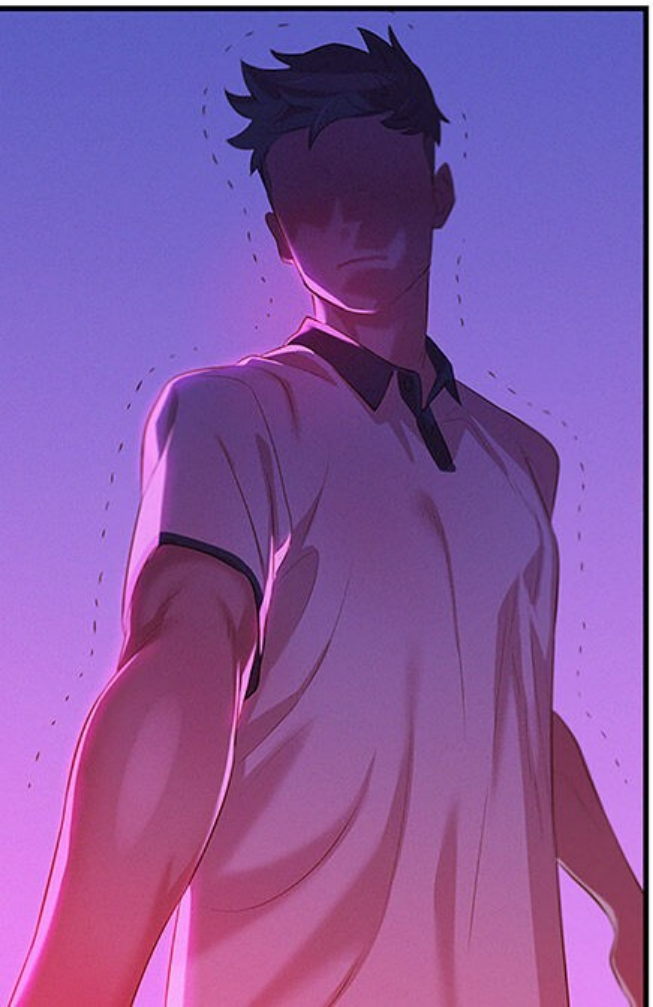

ドクン
ドクン
これは…
最後のチャンス…
由紀さんも
あっちにいるし…
でも…
ドクン

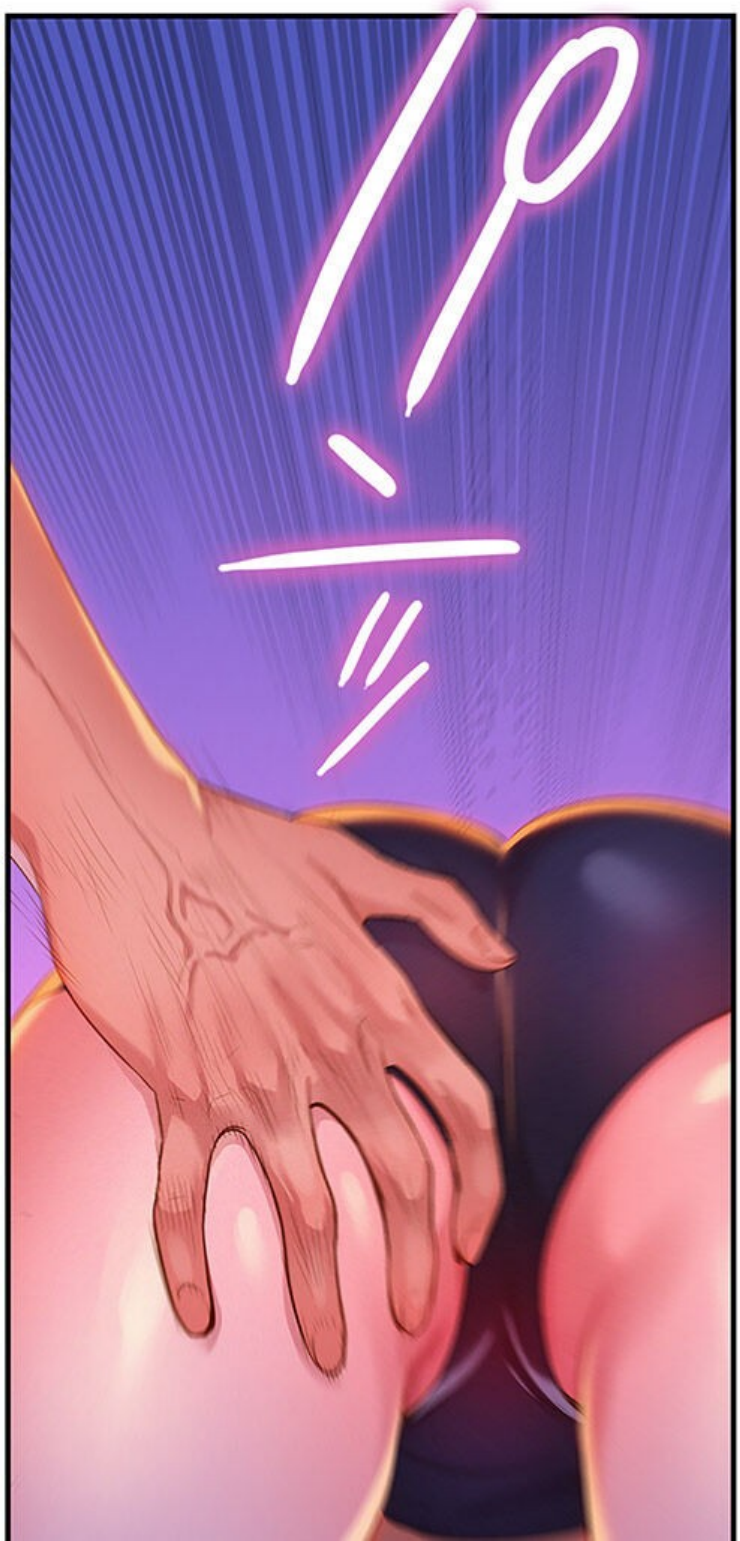

本当に叩いても
いいのか？


ドクン
ドクン
ドクン
ドクン
もしダメ
だったら俺は…

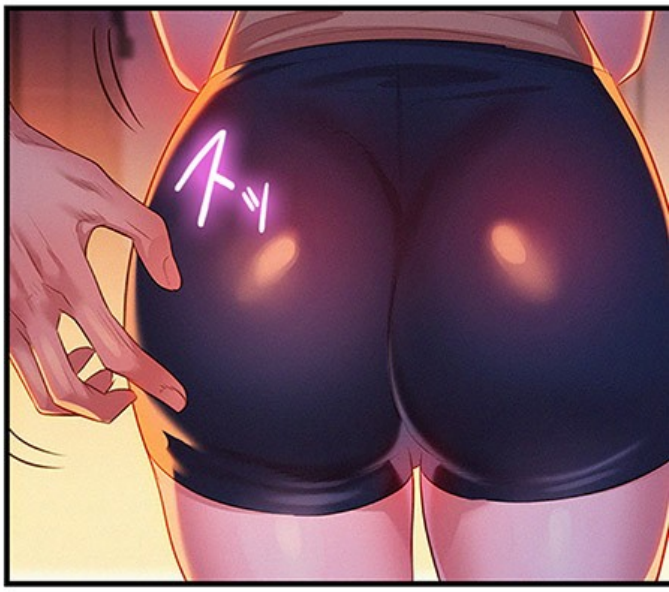
でも…
でも…！







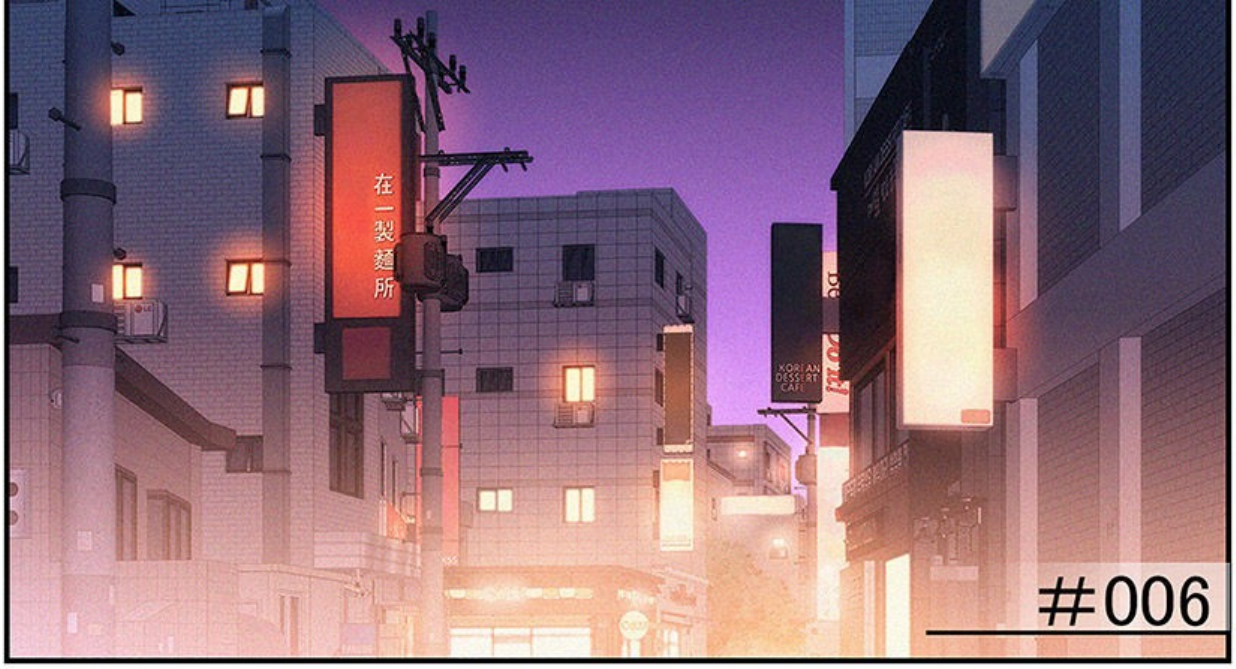

な…
何するんですか
京太郎さん？


スッ


!!!
キャーッ

嘘とセフレ

嘘とセフレ


在一製麺所
#006


…今私のお尻を叩きましたよね？


え…あ…これは…あの…その…




京太郎さん…やらしいんですね？
ニコッ

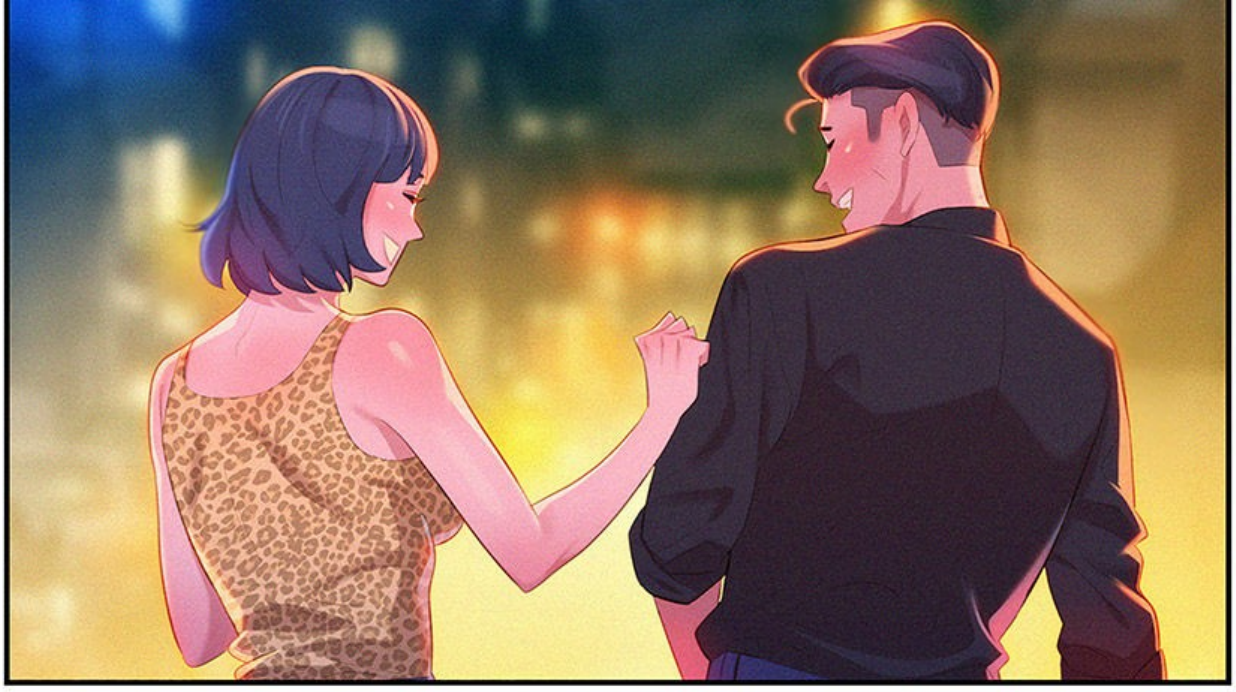

え…？
やらしい…？


京太郎さんは
真面目そうだから…
早く行きましょう
え…行くって
どこに？


これって…本田の話は
本当だったのか…？

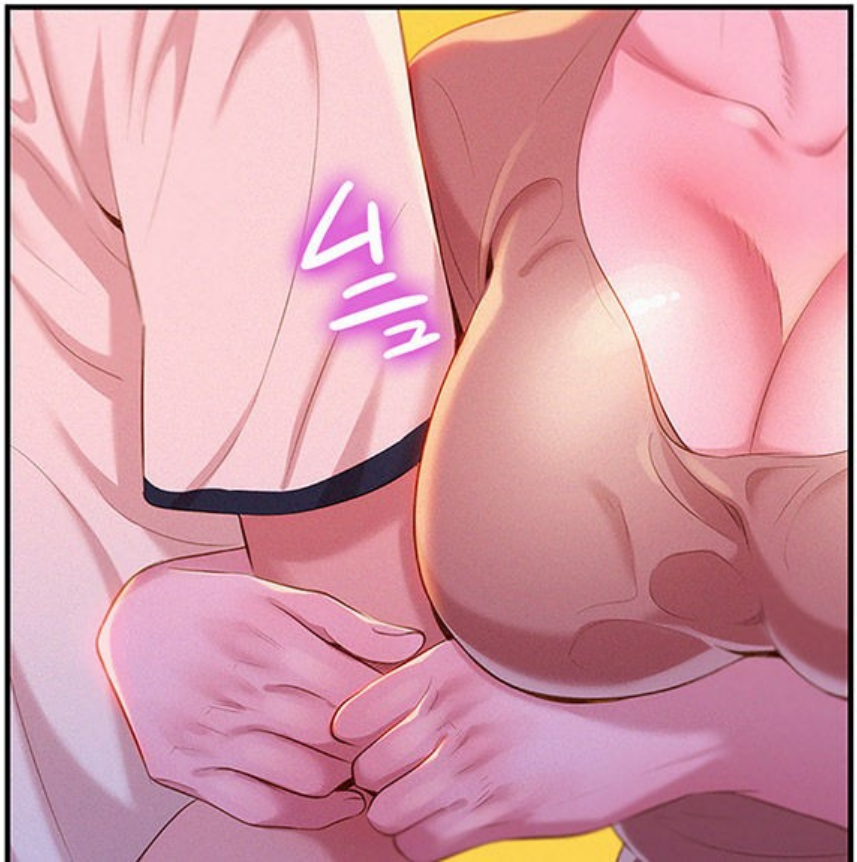



ふふ…あの二人
仲良さそう
ですよね？




私達も二人だけで遊びましょうか？


あ…二人だけで…？大丈夫かな…
平気ですよ！


ムニュ


あ…これ上手くいけば花菜ちゃんと…


二つに別れる？
そうじゃなくて…
花菜ちゃんが
行きたい所が
あるらしいくて…
先に本田と二人で
飲んでてよ…
後から行くから


俺と飲みましょうよ
楽しませますから
由紀さん
ごめんなさい
へへ

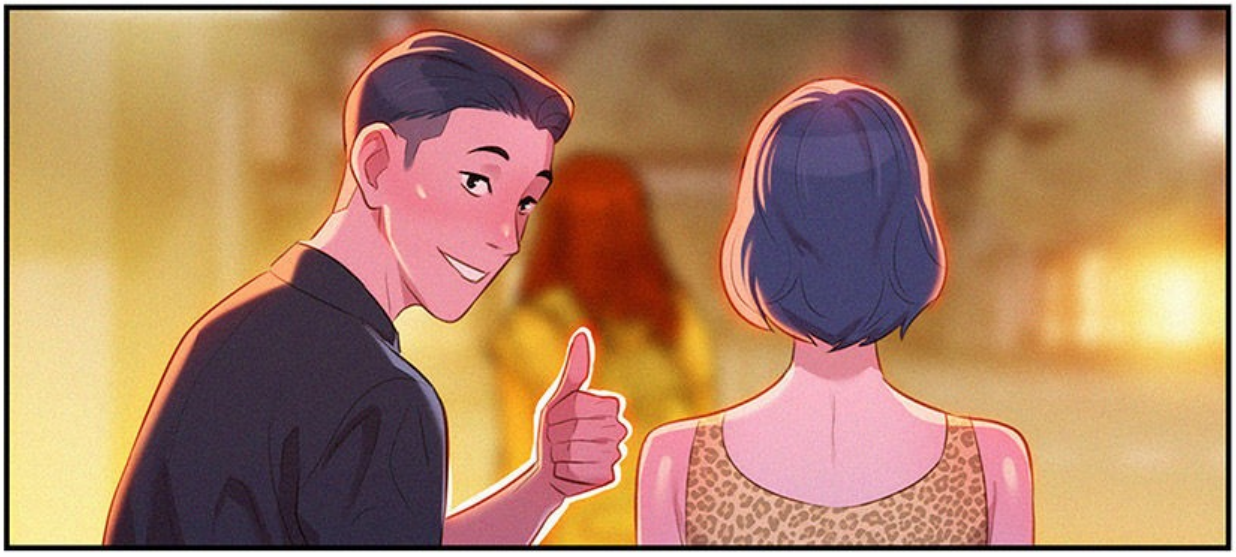

ごめんって…
すぐ行くから


家まで
送るって言ったのに…
嘘つき！

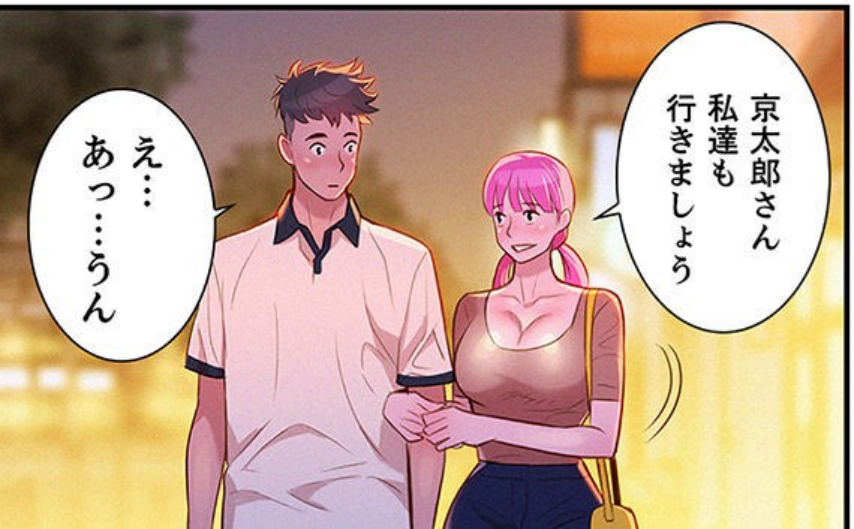

俺が付いてますよ！
心配しないで下さい


クルッ
わかったわ
勝手にすれば


ふう…
これでオッケー

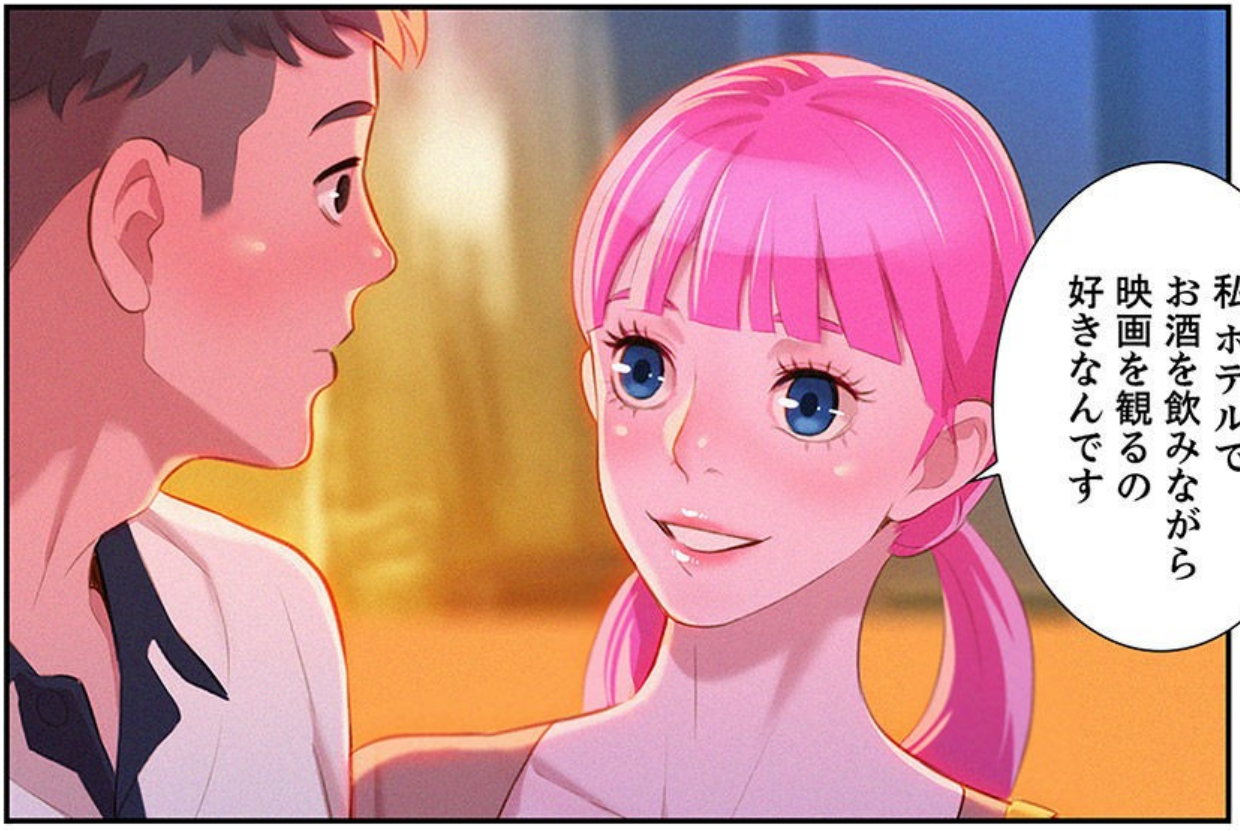



本田の奴…
本当に
由紀さんと…？

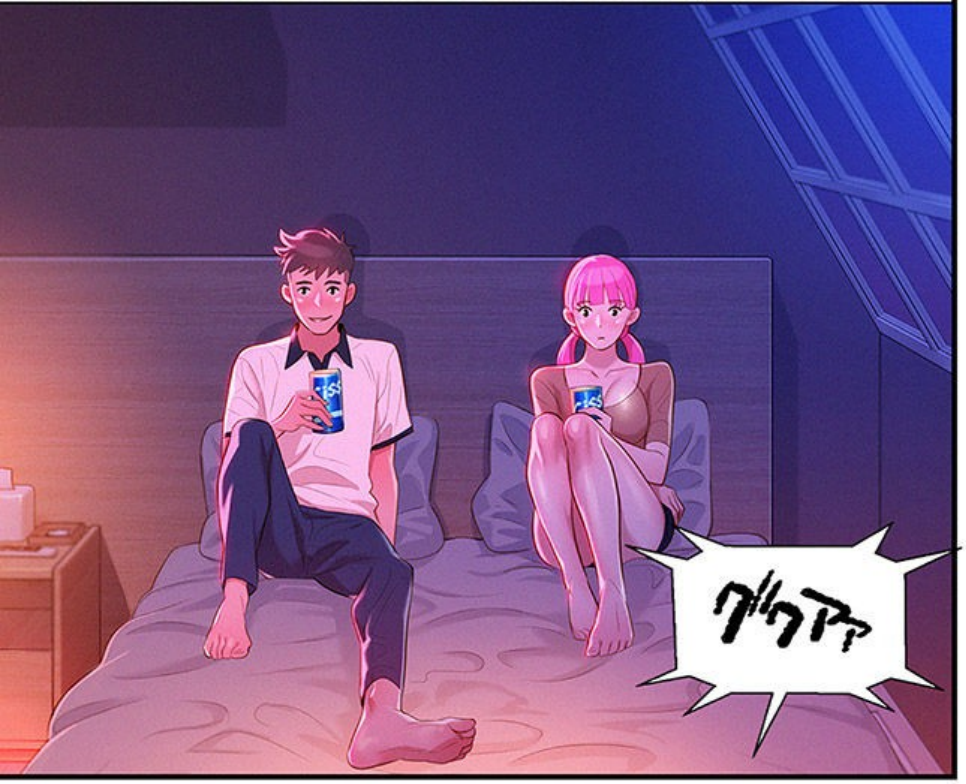

京太郎さん
私達も
行きましょう
え…
あっ…うん

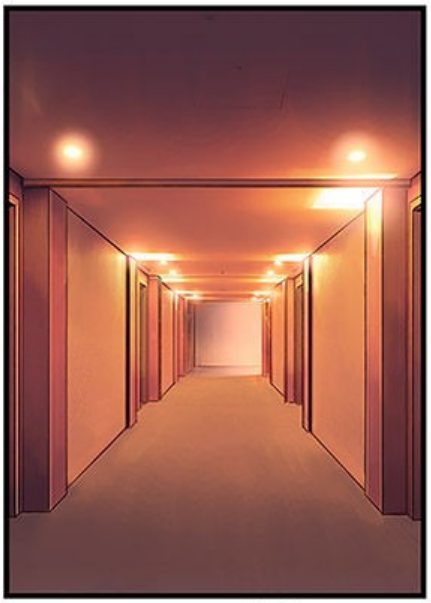

花菜ちゃん…
本当にいいの？




私 ホテルで
お酒を飲みながら
映画を観るの
好きなんです

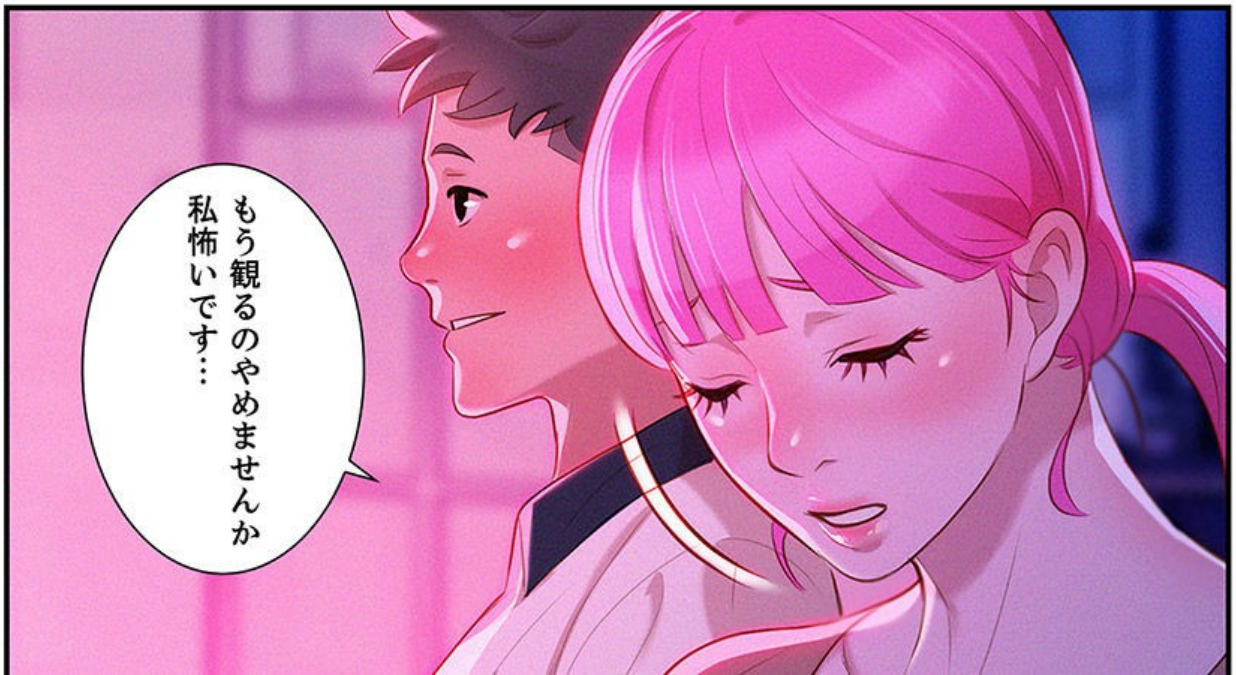

あはは…俺も
好きだけど…
ふふ…
良かったです！
楽しみましょうね
THEME HOTEL


グクアア




この映画…
少し怖いですね…


ははっ…
意外と怖がりだね


もう観るのやめませんか
私怖いです…


どうして？
今が一番良い
場面じゃん


ガクアア


スゥ…


ふふっ
モミ
モミ

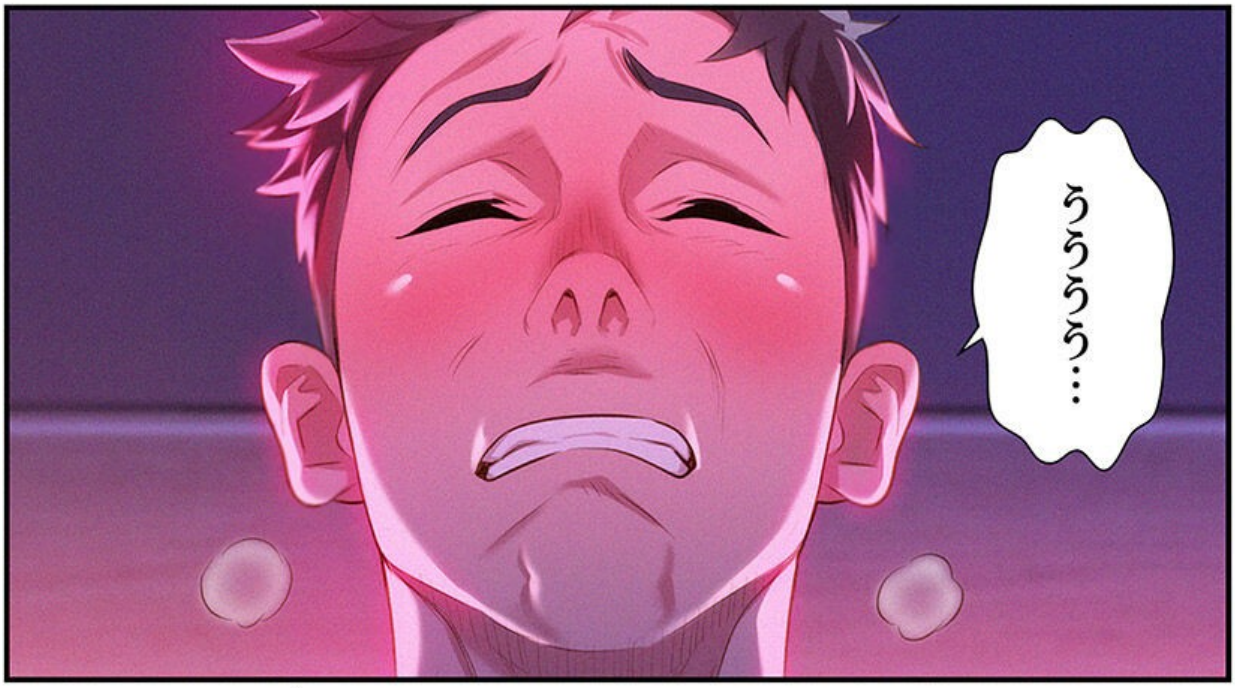

!?
スリ
スリ


か…
花菜ちゃん…


シコシコ
シコシコ
あ…
それは…
はぁ
はぁ
ふふっ…
気持ちいいですか
京太郎さん？

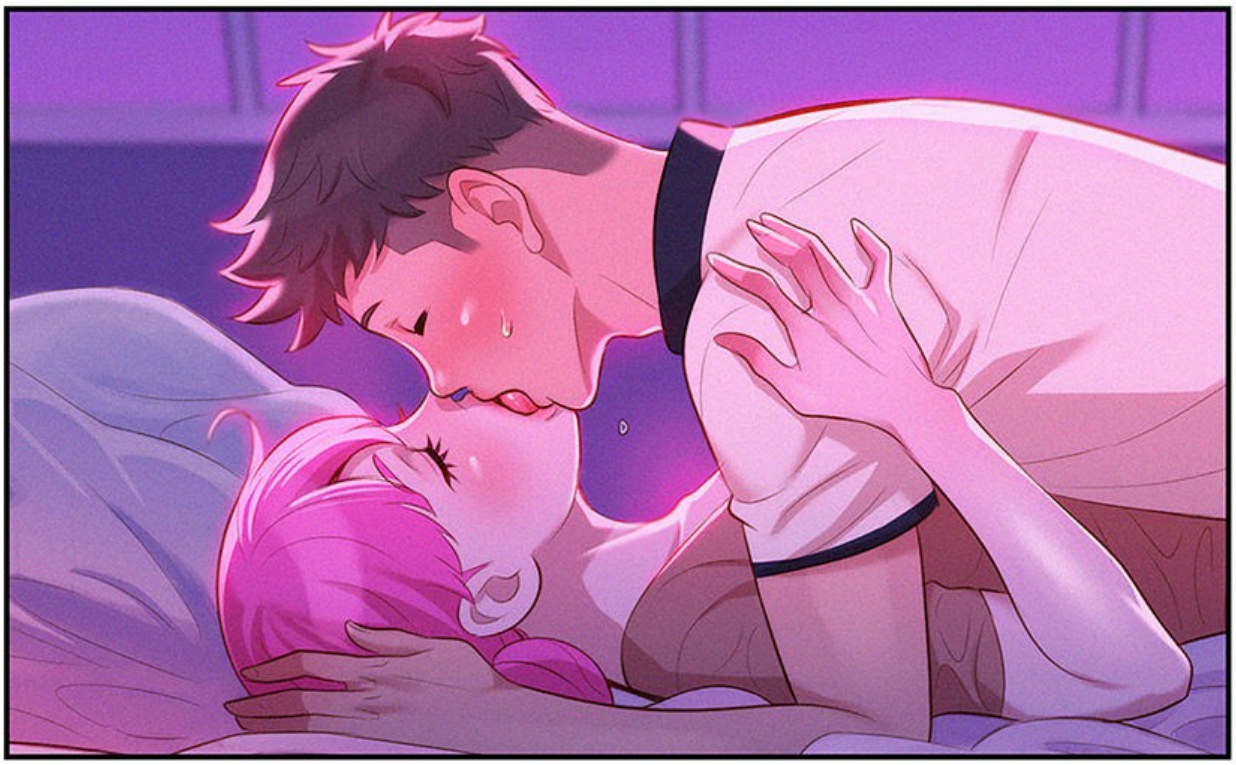

ふふ…
かわいい♡

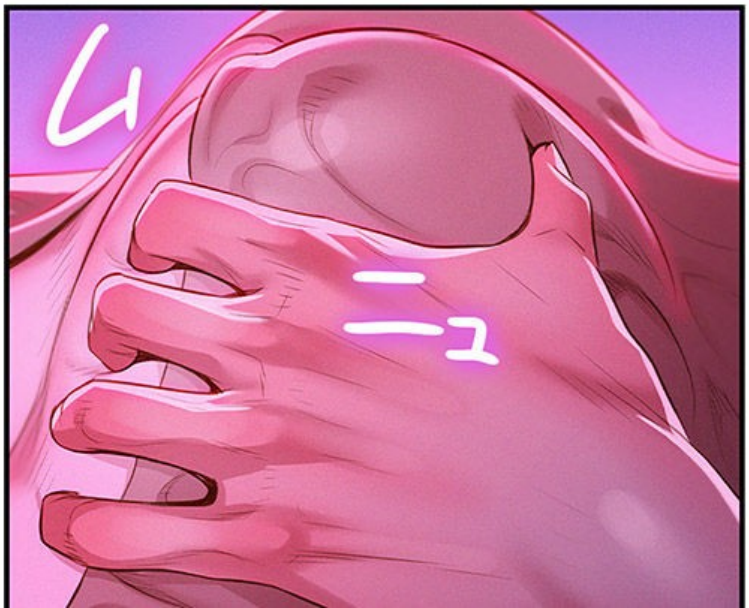

うん…すごい…
こんなの初めてだ


ううううう…


もう
我慢できねー!!


……花菜ちゃん
はっ
はっ




ん
ーュ

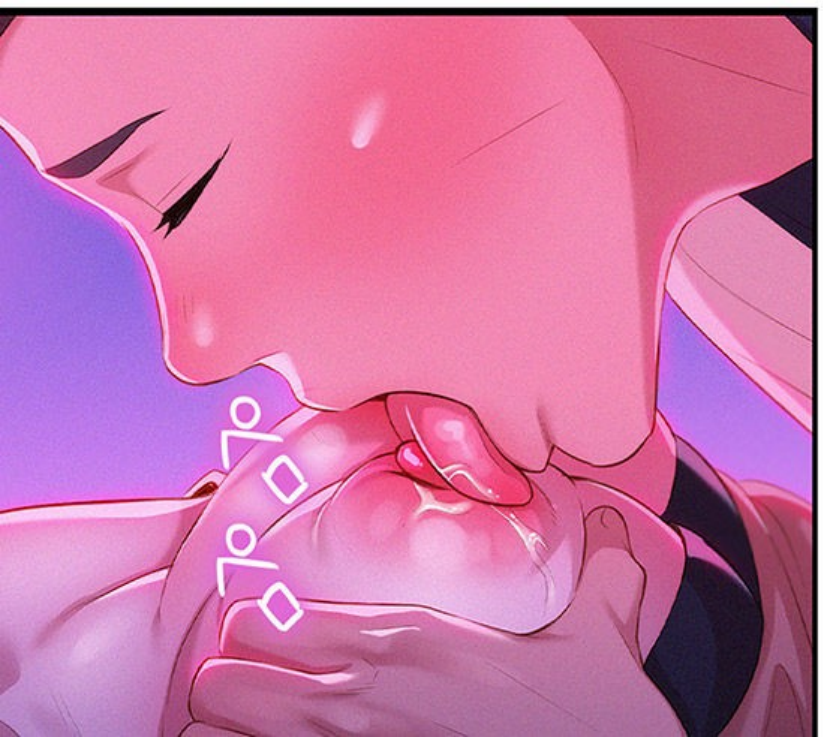

ハ


チュプッ
チュッ
モミ
モミ

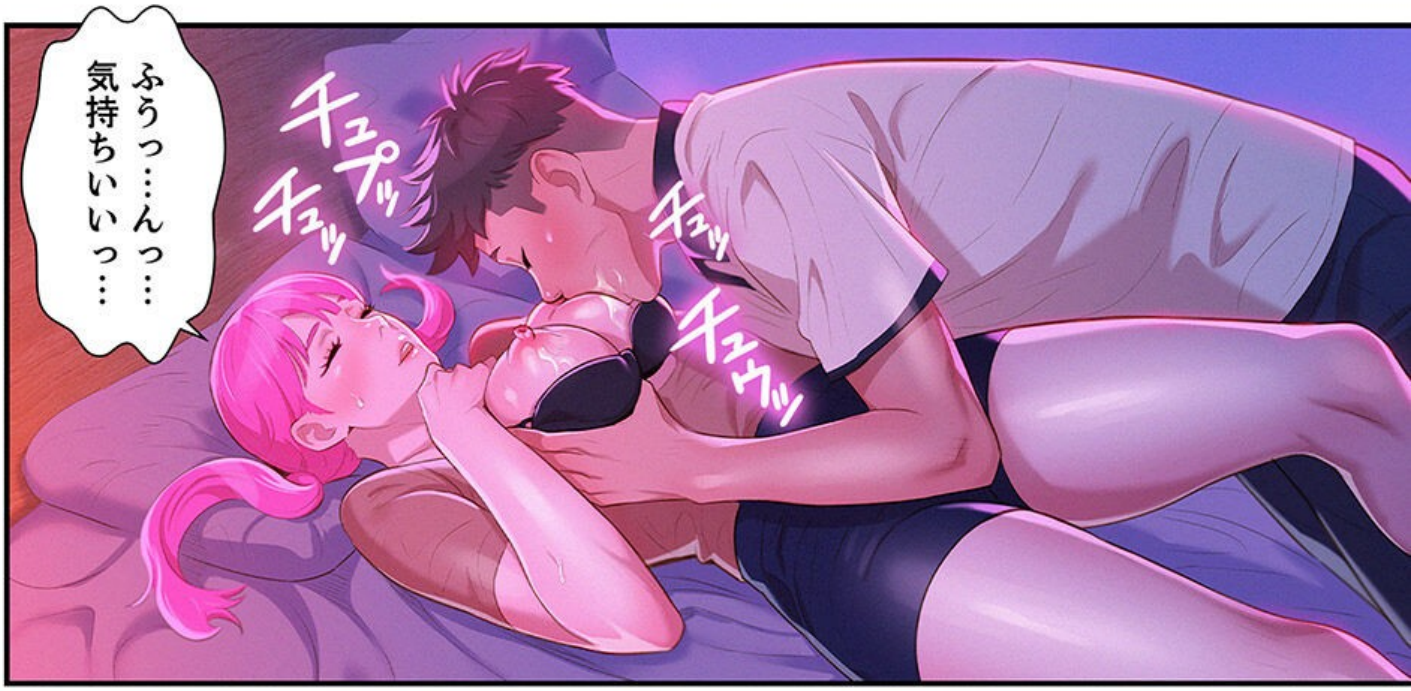

モミ

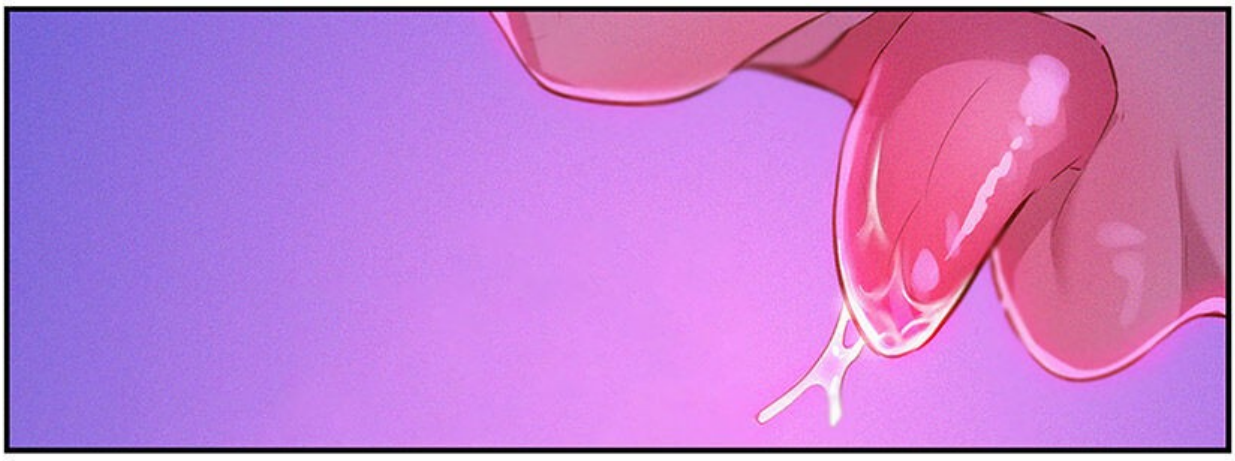

レロ


はぁっ…


ペロペロ


はぁん…
チュウッ
チュッ
チュプッ


ふうっ…んっ…
気持ちいいっ…
チュプッ
チュッ
チュッ
チュウッ



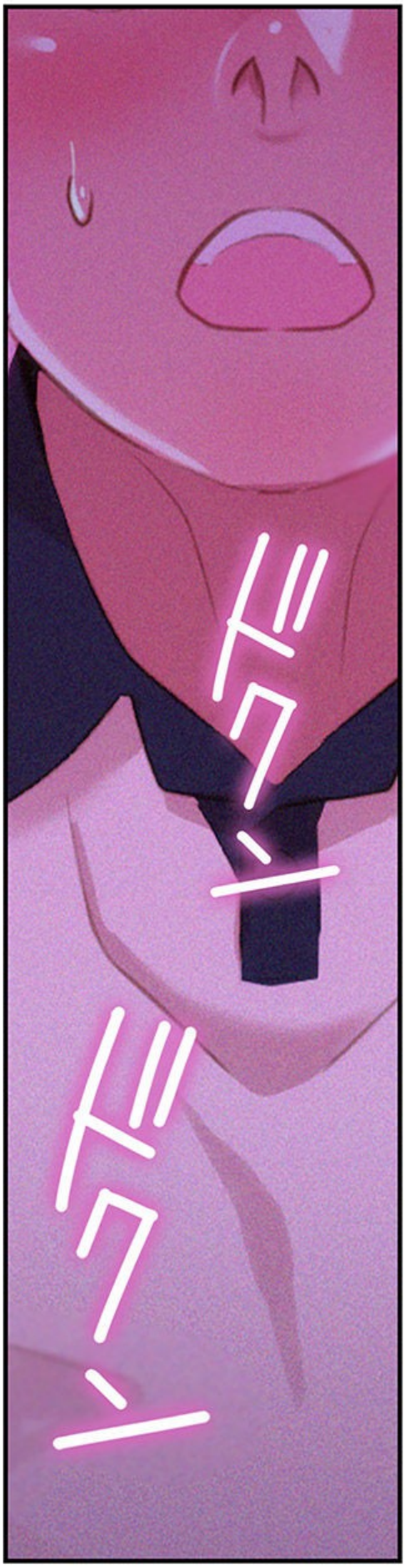

花菜ちゃん…
いい…？
くいっ

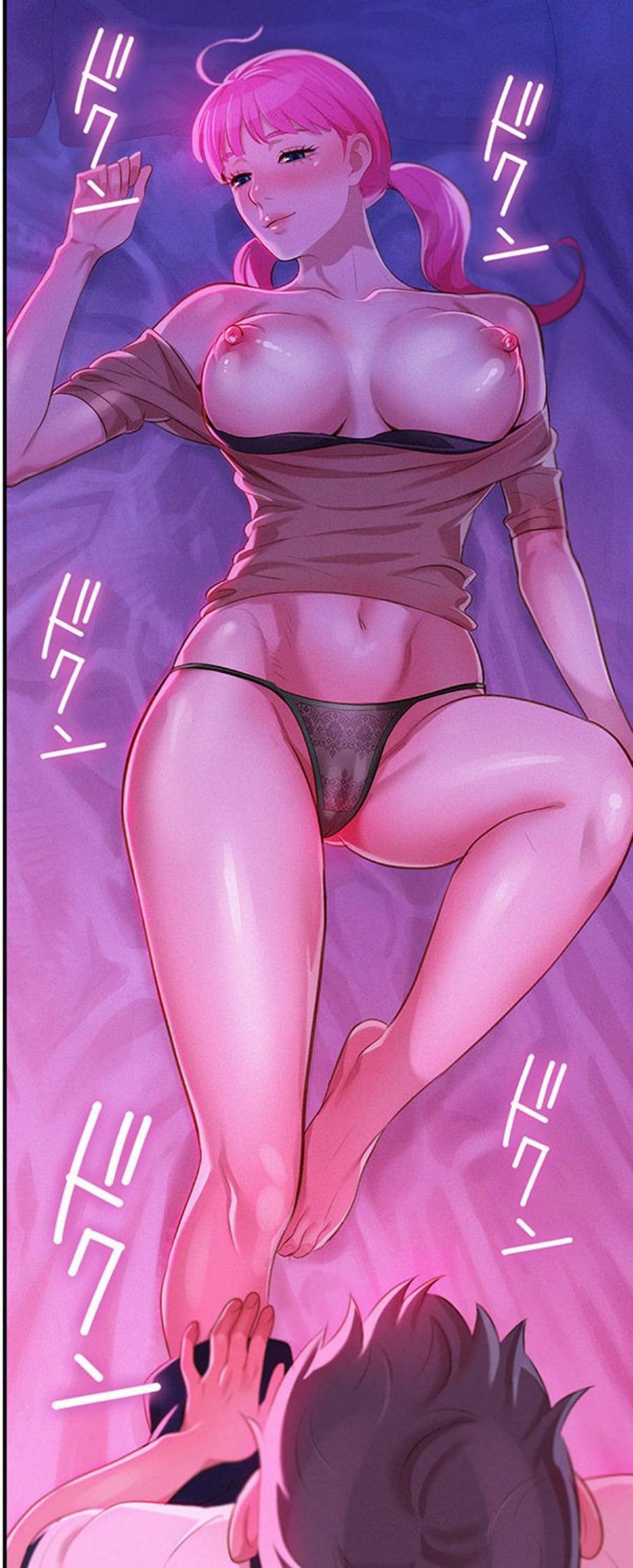

いい？だけじゃ
わかりませんよ？




スルッ


こ…
これは…


ビクン
ビクン
ビクン


ビクン
ビクン
ビクン
ビクン

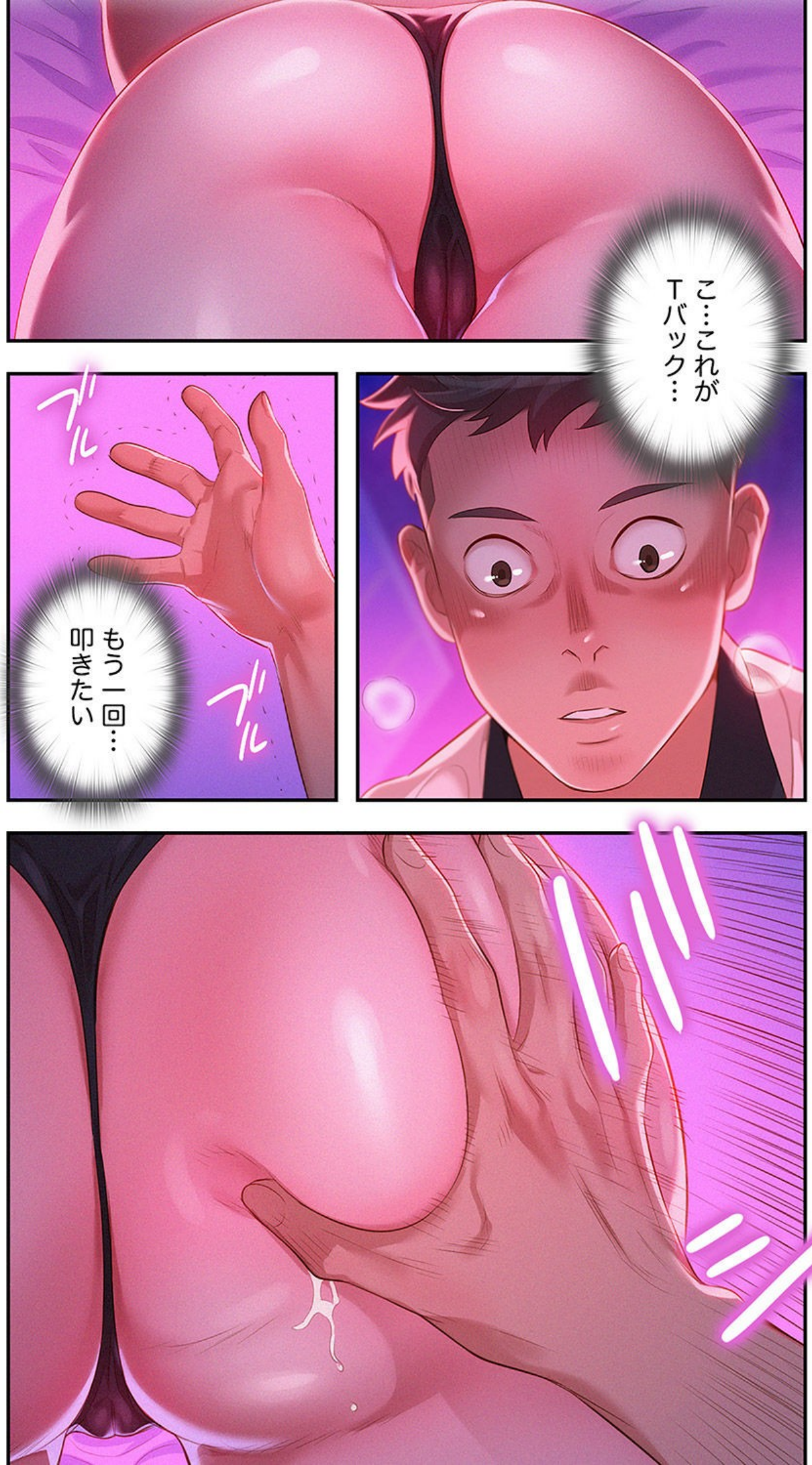

こんなパンツを
履いてるだなんて…
#007


HOTEL


エ…
エロい…
ドクン
ドクン
ドクン


もぉ…
恥ずかしいです

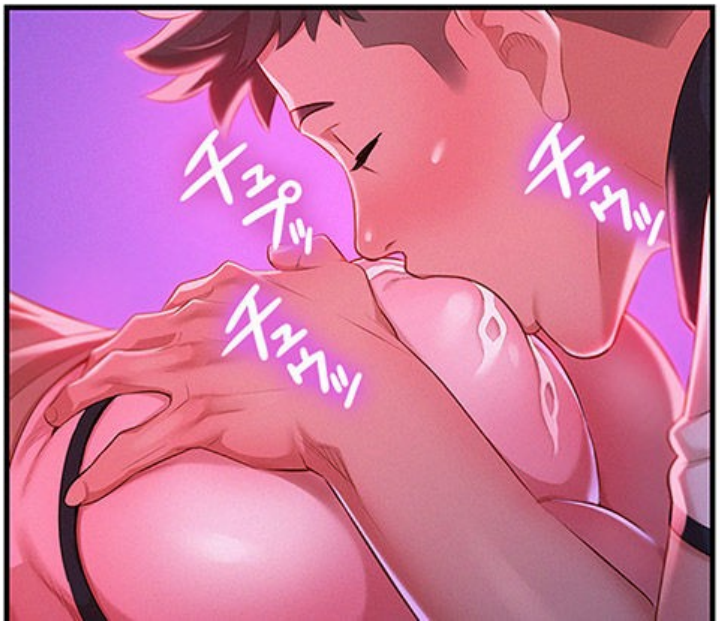

そんなにじっと
見つめて…


こ…これがTバック…
ブル
ブル
もう一回…叩きたい
パシ


ふあぁん！
あっ…京太郎さん

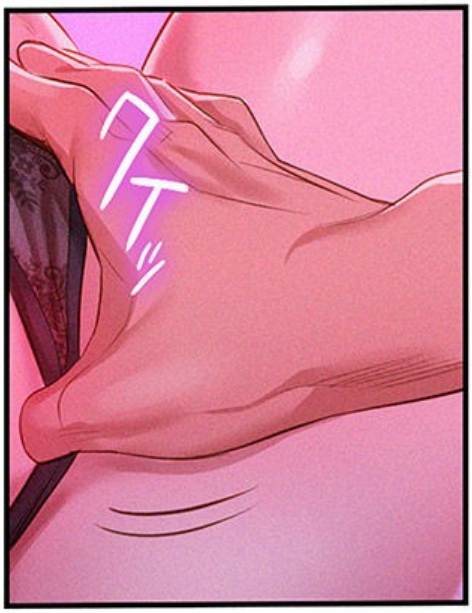

あんっ
すごい！


もう…
京太郎さんってば
そこばっか…


チュプッ
チュクッ
チュクッ


京太郎さんったら


あっ…ごめん
ヴイッ


クイッ

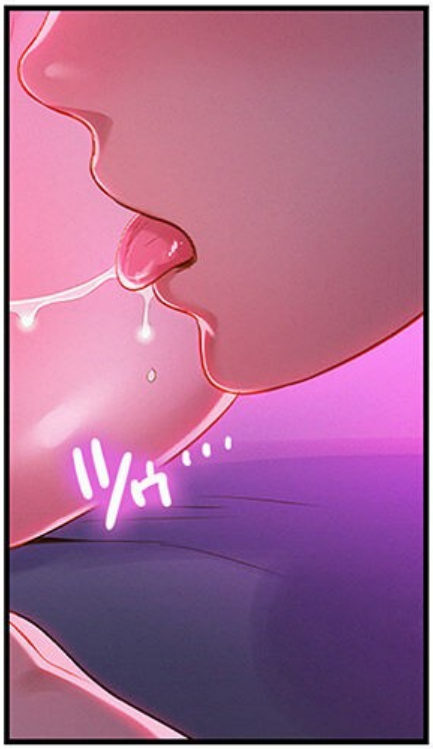

はぁ
はぁ
あ…


あ…私…まだ…


キャッ！
チュウッ


はぁあっ！
ピチャ
ピチャ


はぁ…
んんっ…
チュプッ
ヂュルル




ああ…
もう…ダメ…


じゃあ…挿入れるね
花菜ちゃん…


ドクン
ドクン
…やばい！
俺本当にこの子と
セックスするのか？


もお…
恥ずかしいから
言わないで…


うっ…


あっ…
本当に入って…


はぁっ…


んん…
本当に
彼女の中に
入ってる…


ああっ…
温かい…

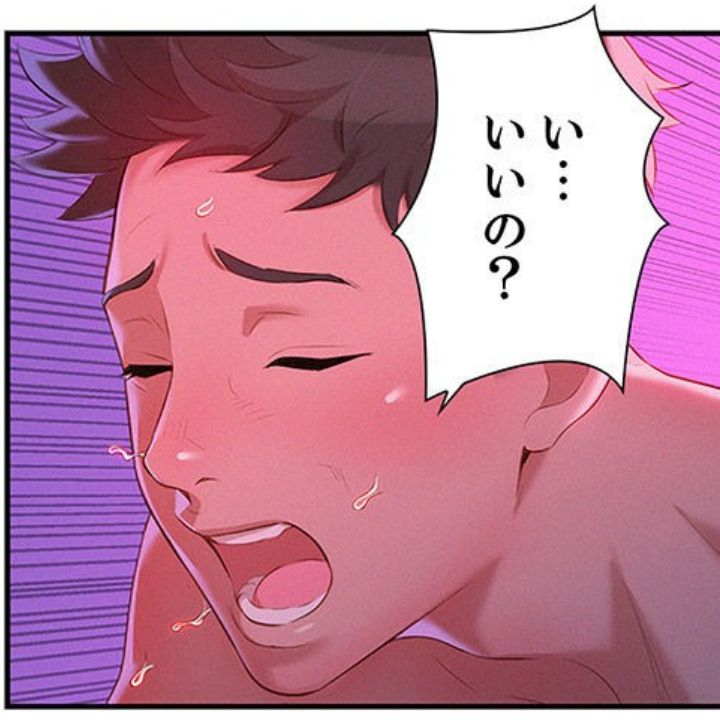

はぁ…
んんっ…
あぁん
はぁん
んん♡
あん♡


あ…そこ…
気持ちいい…
チュプッ
チュウッ
チュプッ
チュッ
ふあぁ
はぁっ
あん
あぁん
はぁっ


ズブッ
ズブッ

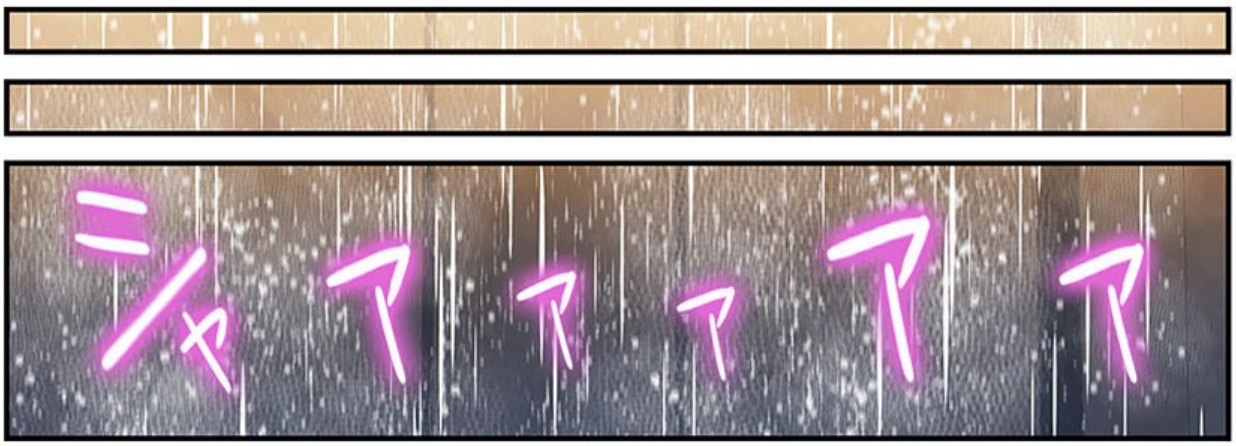

あ……出して…
ナカに！


はぁっ…
花菜ちゃん…
イキそう！


い…
いいの？


んんっ…
大丈夫です…！


くうっ!!
出すよ!
うっ…
ビクビク
はぁ
はぁ
はぁ
あぁあん!!


シャアァァアア


…由紀さんはどうなったんだろう…


シャアア
アア


一旦 本田に電話してみよう


プルルル
まだ飲んでるのかな…


もしもし


プルル
トゥ


あっ本田
今どこ？


はぁん♡
うっ俺…今
忙し…くっ…
あぁん♡


はぁん♡
はぁあん♡
な…
お前今何して…


ズブッ
はぁっ…
あ…後で
電話する…
ズブッ


おい…待て！
お前今どこにいんだ！

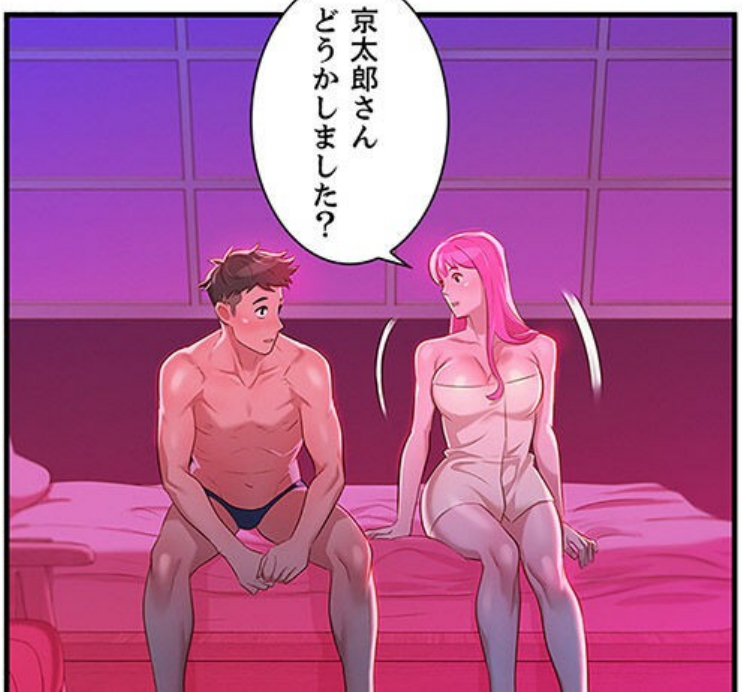

あの音…
確かにセックス
してる音だった…
ドクン
ドクン


クソッ…
どうなったんだ…


う…


HOTEL
#008


あ…


京太郎さん
どうかしました?


ううん…何も
気のせいだよ

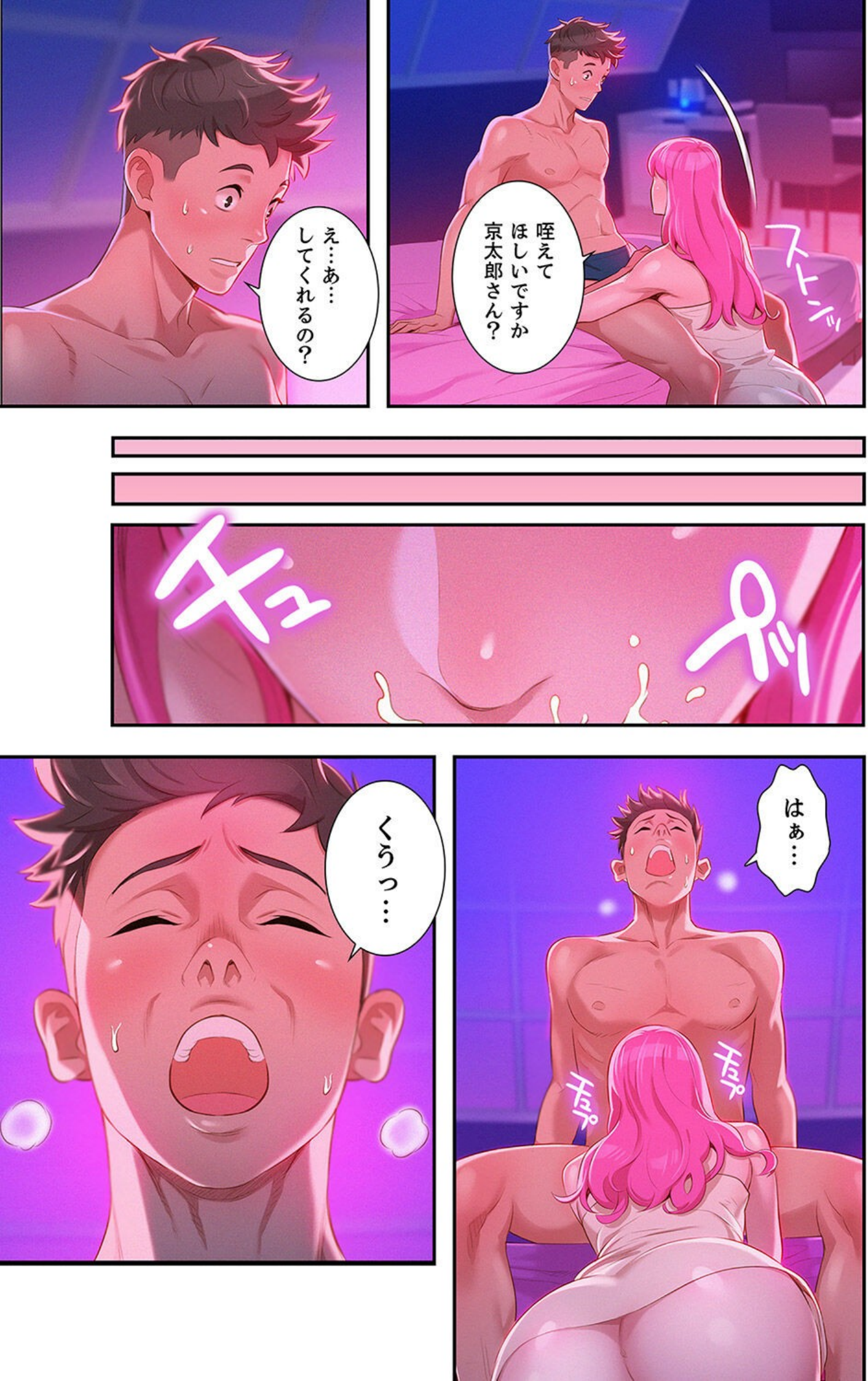

ふふっ
だったらいいです


…何を食べたら
こんなにキレイに
なるんだろ


私キレイ
ですか？
うん
すごく…

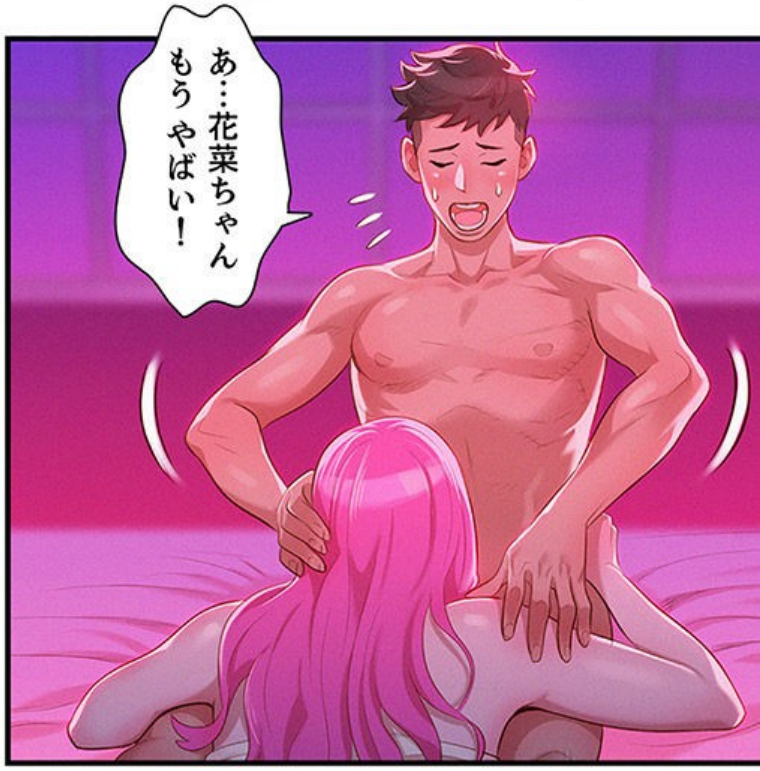



京太郎さんのこれも
すごく素敵でしたよ…
あっ…！


え…あ…
してくれるの？
咥えて
ほしいですか
京太郎さん？
ストンッ
はぁ…
チュパ
チュパ
くうっ…


チュプッ
チュプッ
チュプッ


ならこっちに…京太郎さん…


あ…花菜ちゃんもうやばい！


イキそうですか？


はぁ…
はぁ…
あ…！
はあっ！
クチュッ
はぁん…
いい…


やっと…初めて
見た時に想像した
通りになった

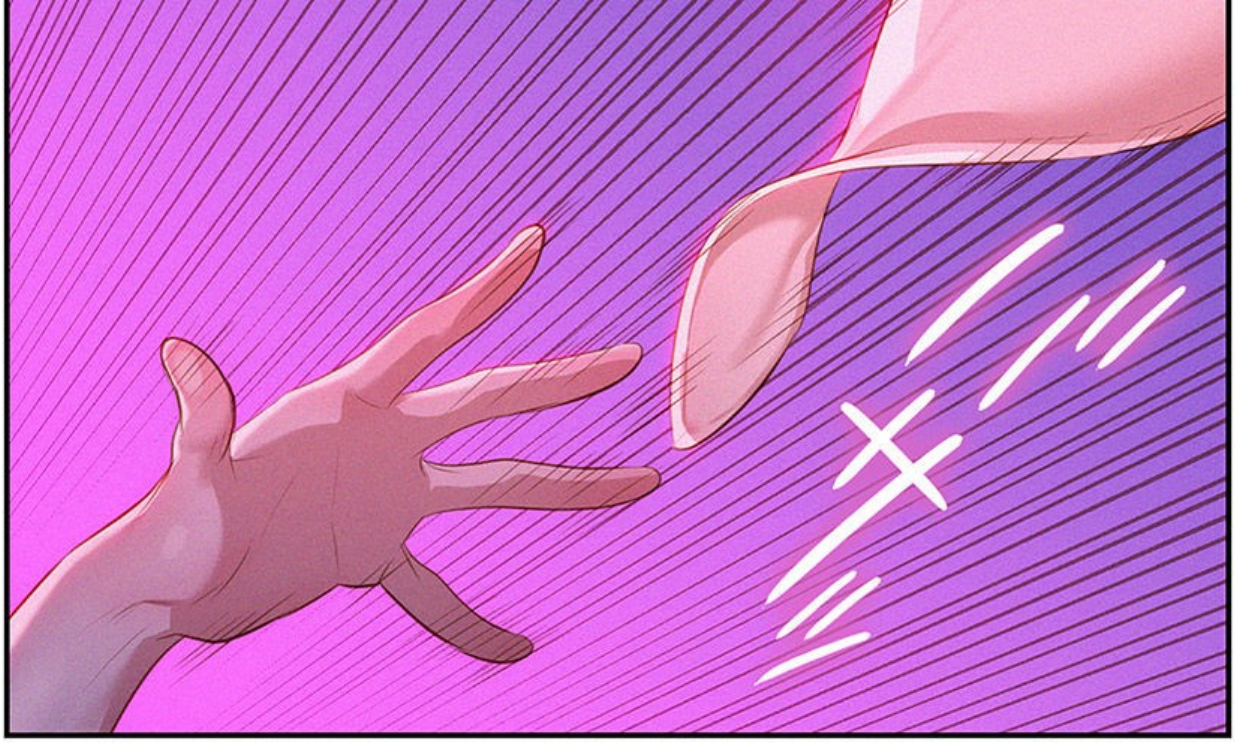

こうやって後ろから
突いてみたかった


やっぱり…お尻の
弾力すごい！


はぁん♡
あぁん♡


京太郎さん…
お尻…


え…
ああ






思いきり
叩いてください
あ…うん…
ーーーー
はぁあん！




はぁ
あぁっ


はぁっ！
気持ちいい
京太郎さん！


はぁ…はぁ…
花菜ちゃん
もう一発いくよ？

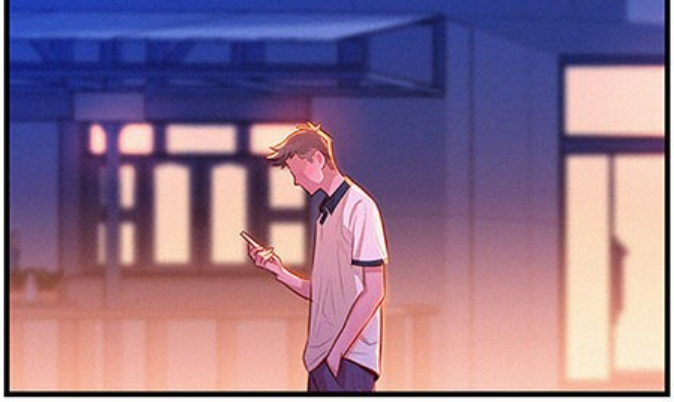

お願い
早く…！


パンッ
あぁん！
あぁあん！
パンッ

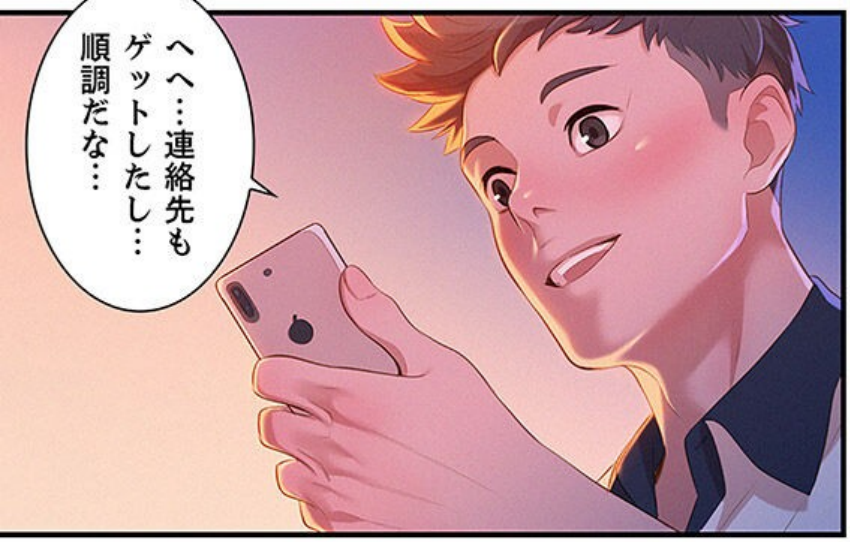

パンッ！
あぁん♡
パンッ！
あん♡


はぁ
パンッ
はぁ

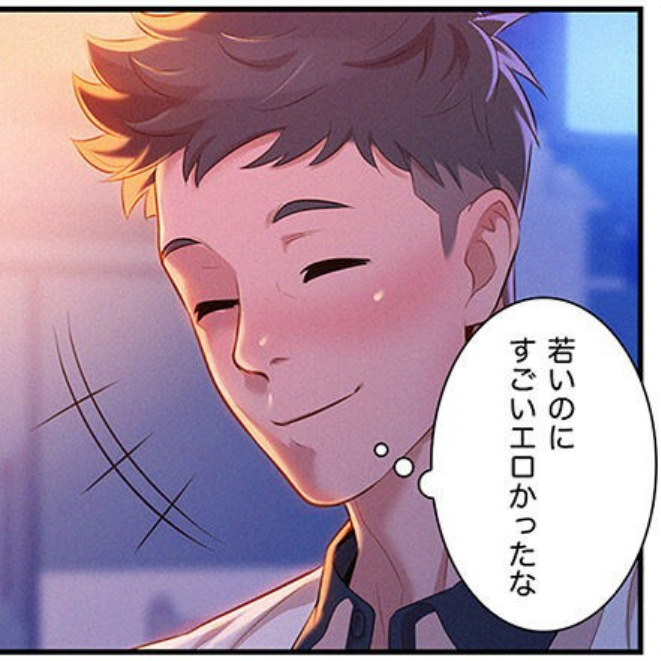

パンッ
あぁん♡
パンッ
はぁん♡



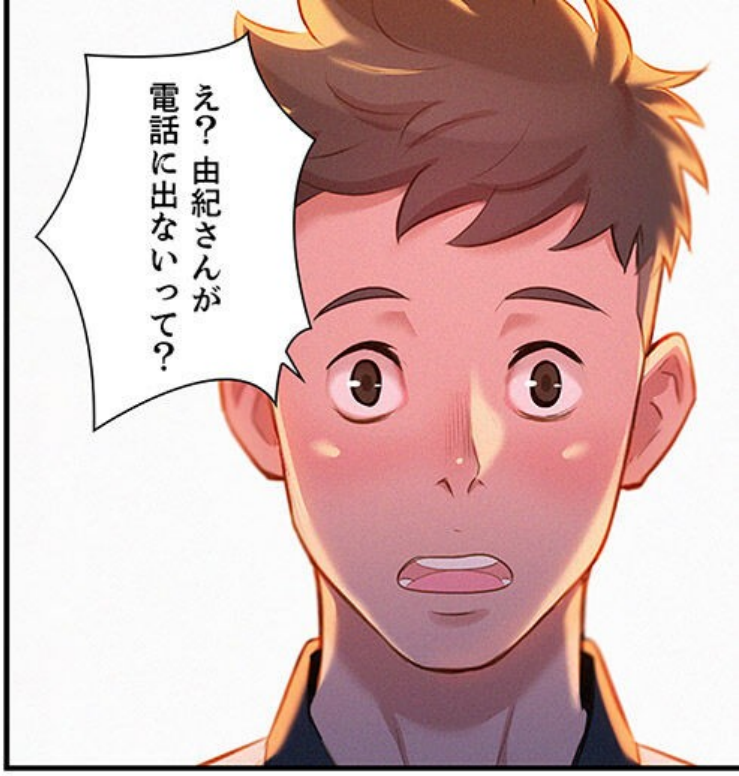



へへ…連絡先もゲットしたし…順調だな…


花菜ちゃんのお尻赤くなってたけど…大丈夫だよな?


若いのにすごいエロかったな


あ~今度いつ会えるかな?


え？由紀さんが
電話に出ないって？


あんたも
知らないの？


いやそれが…
由紀さんとは途中で
別れてて…


家まで送って
あげなきゃダメでしょ！
何かあったら
どうするつもりなの！


さっきからずっと
二人とも
電話出ないし！
……
あんまり
心配させないでよ！


俺 由紀さんの家に行ってみる！
キィッ
由紀と会ったらすぐ電話してよ！
バタン
ダダダダダ
…まだ本田と一緒にいるのか？


本田のやつ…


本当に
由紀さんと…

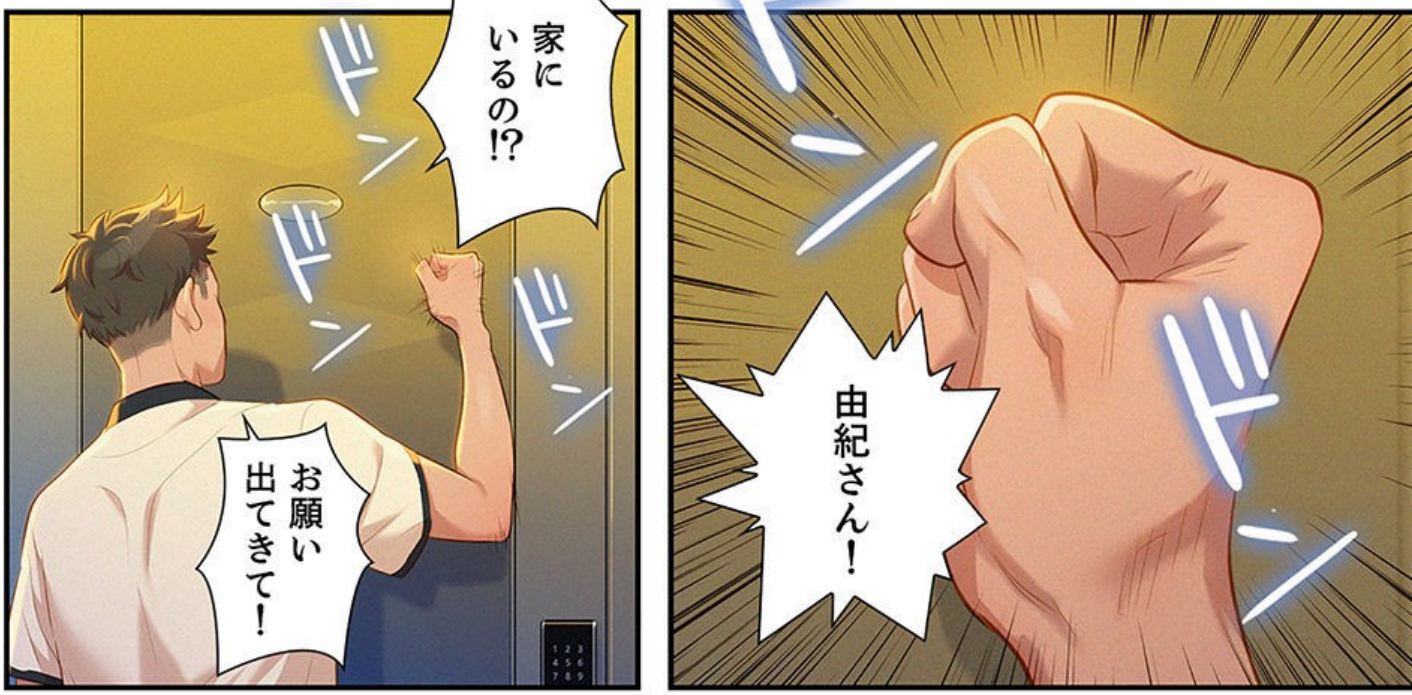

クソッ…！



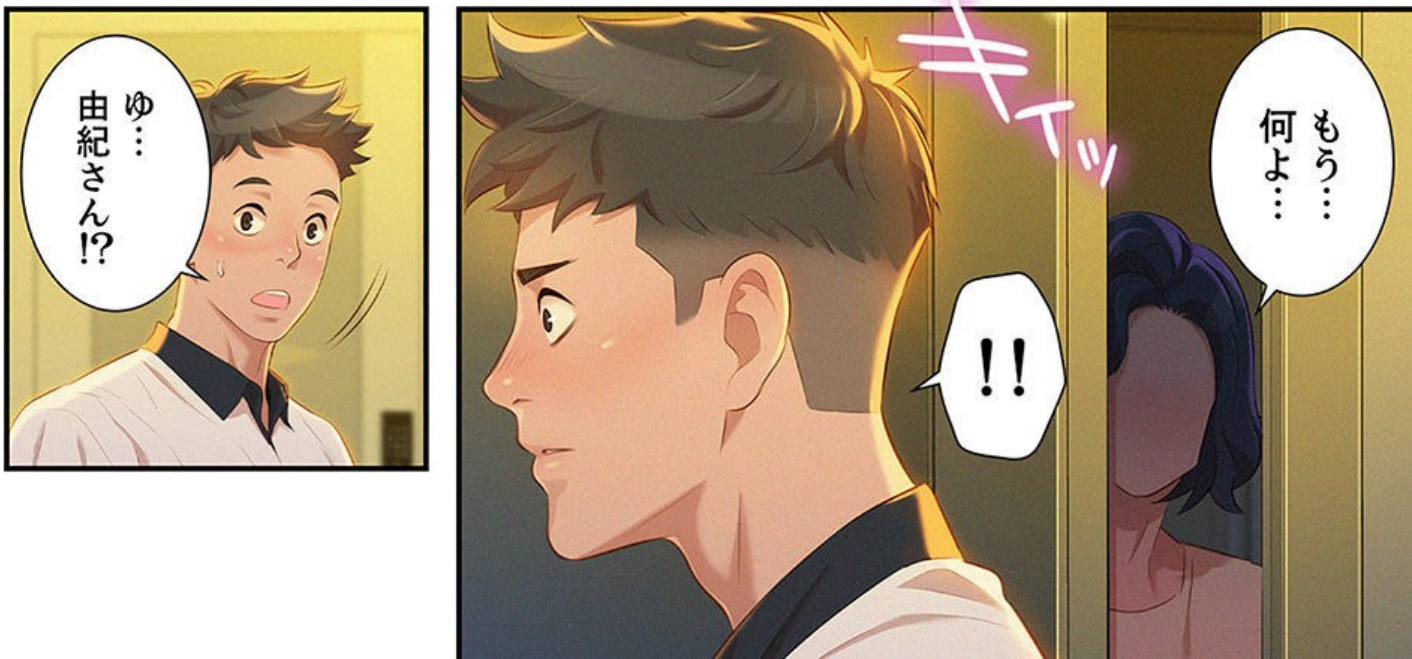

#009


プルルル
プルルル
本田も電話に出ない…


どうなってんだ…
まだ二人一緒にいるのか？


由紀さん！
ドン
家にいるの!?
ドン
ドン
お願い出てきて！


はぁ…家にも帰ってきてないのか
何でこんなに気になってんだ…


もう…何よ…
ギィッ
!!
ゆ…由紀さん!?


うるさいな…
近所迷惑よ


電話にも
出ないから…
心配で…


一人で
楽しんでたくせに
心配だなんてねぇ

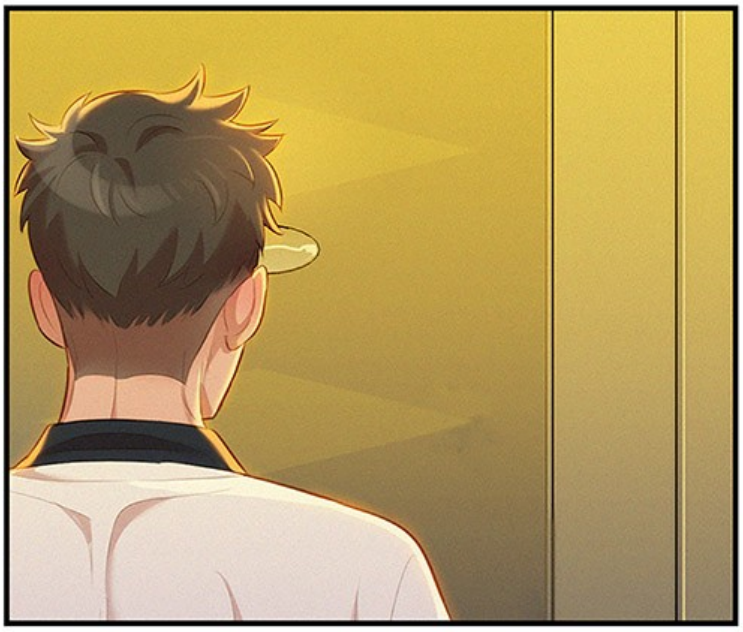


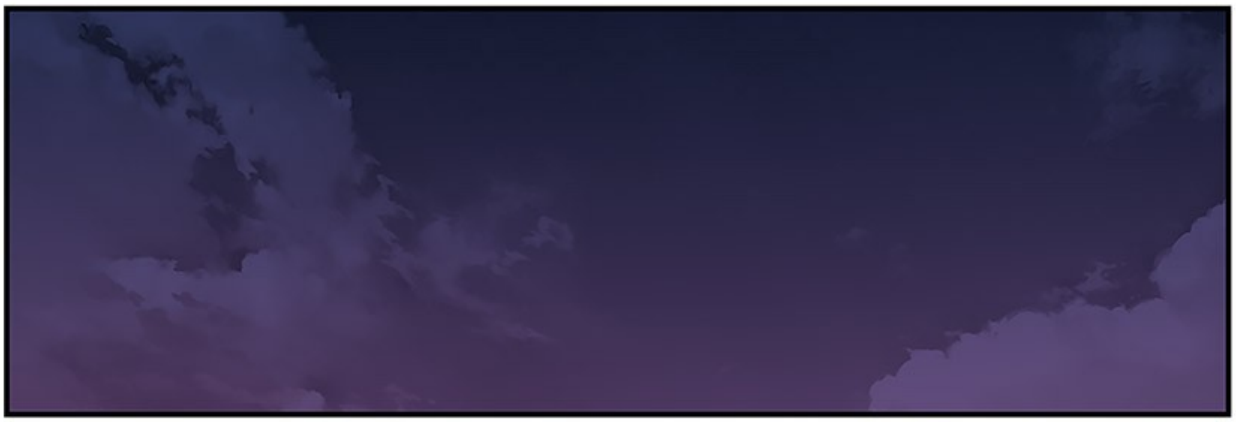


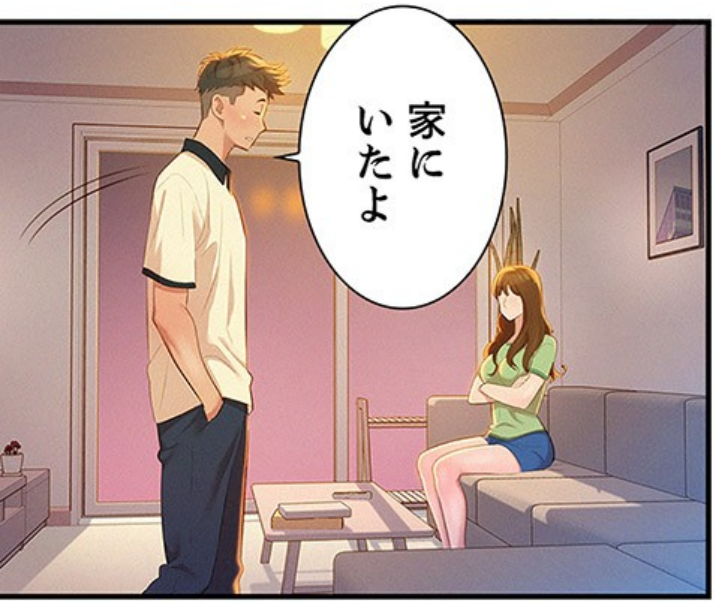


バタン


……





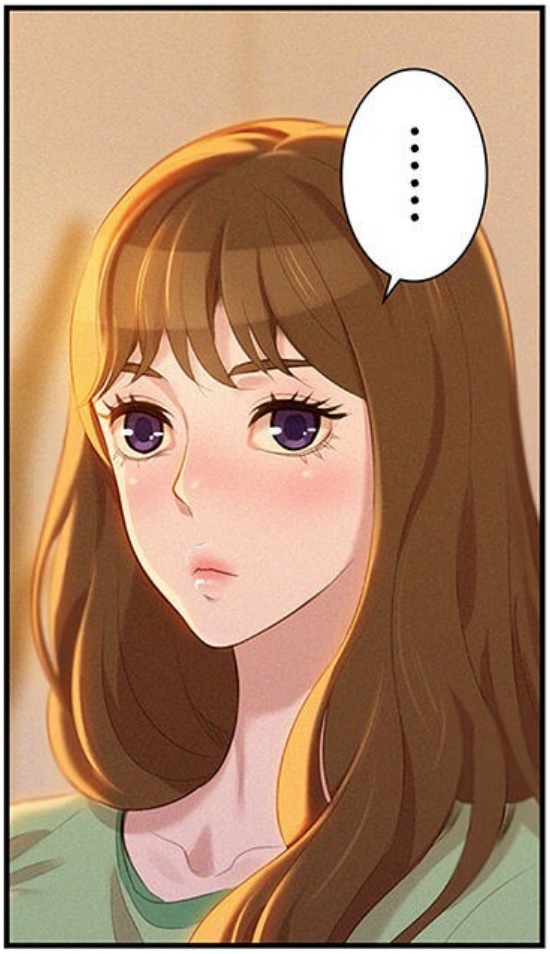

家にいたよ




何で電話に
出られなかったの？


寝てた…
らしい
子供じゃないんだし
そんなに
心配する事？


お酒飲みに行って
二人とも電話に出なかったら
心配するでしょう？


……


はぁ…ごめん
俺もう寝るね


さっきのあの姿…
いつもと違う感じ
だった…




由紀さん…
本当に本田と
セックスしたのか？


女性らしい…
エロイ…感じ？


由紀さん
本当に身体を
許したのかよ！


まさか…本田と
セックスした後
だからなのか？


…気にするな
俺だって花菜ちゃんと
セックスしたじゃん


頭がおかしく
なりそうだ…！

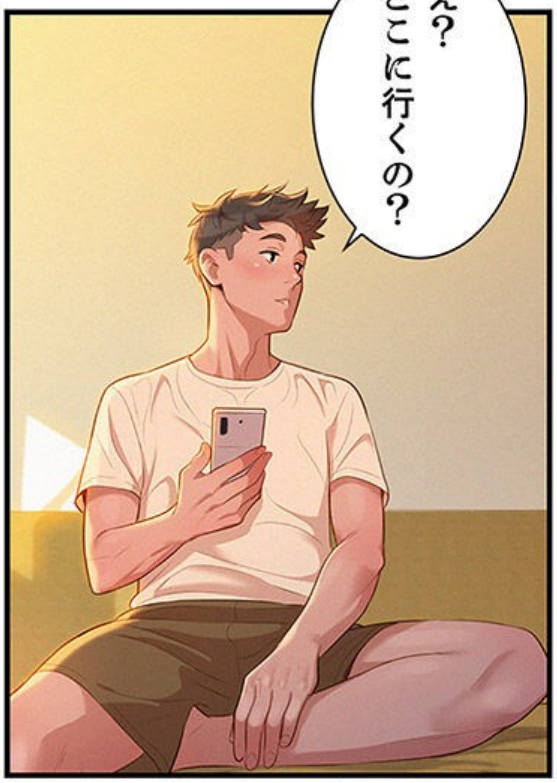

そうだ…
花菜ちゃんと
セックスしたんだ！


それでいい
由紀さんの事は
これ以上考えない
ようにしよう




行ってくるね


由紀とショッピング
夕飯一人で食べられるよね？


え？どこに行くの？

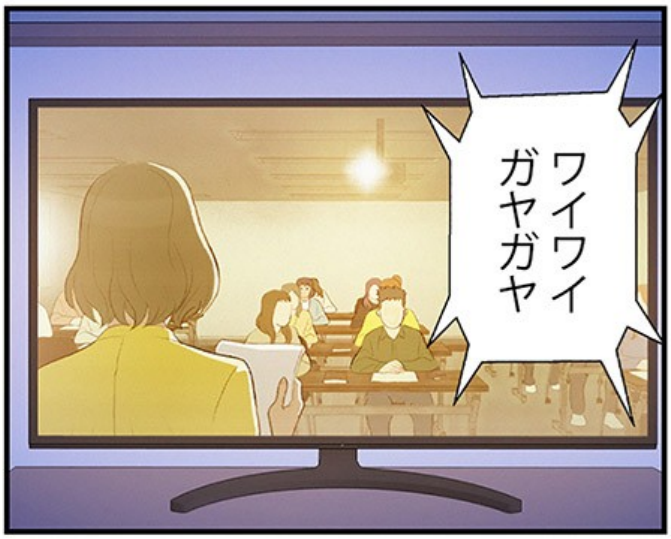

あ…由紀さんと…行ってらっしゃい…

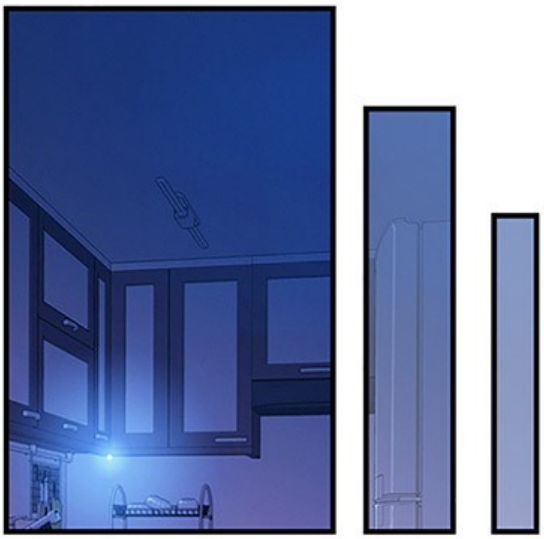

ちゃんとご飯食べるのよ



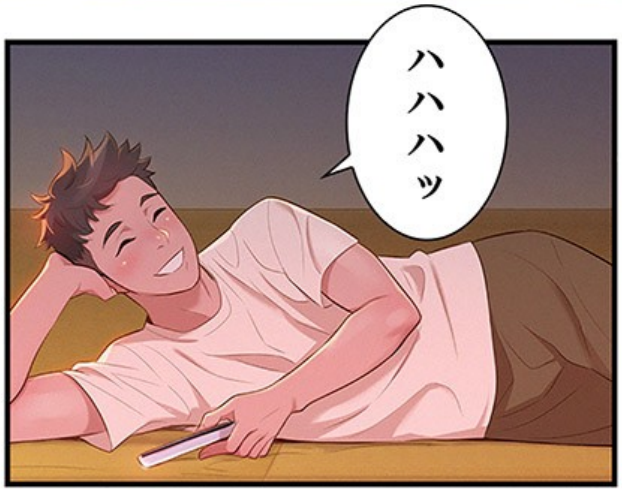

わかったよ
ゴロン


いい天気


ワイワイ
ガヤガヤ

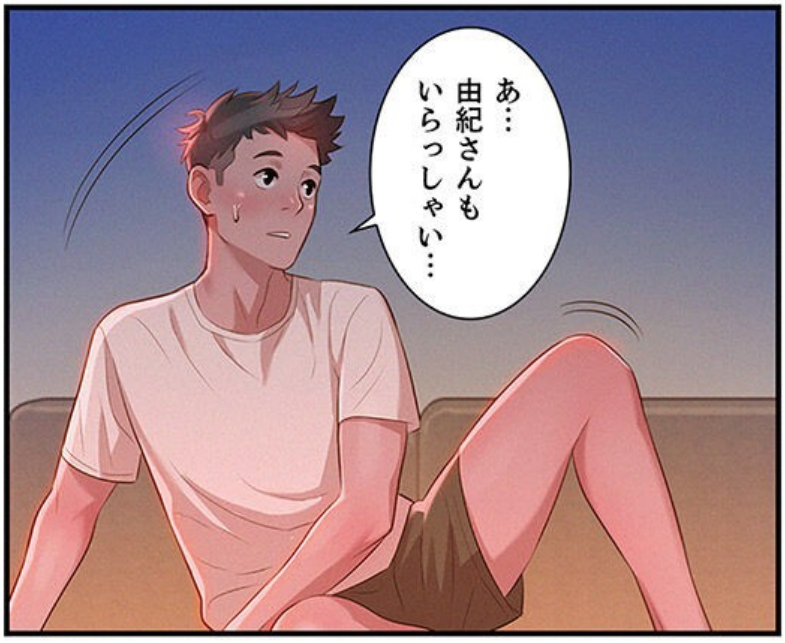


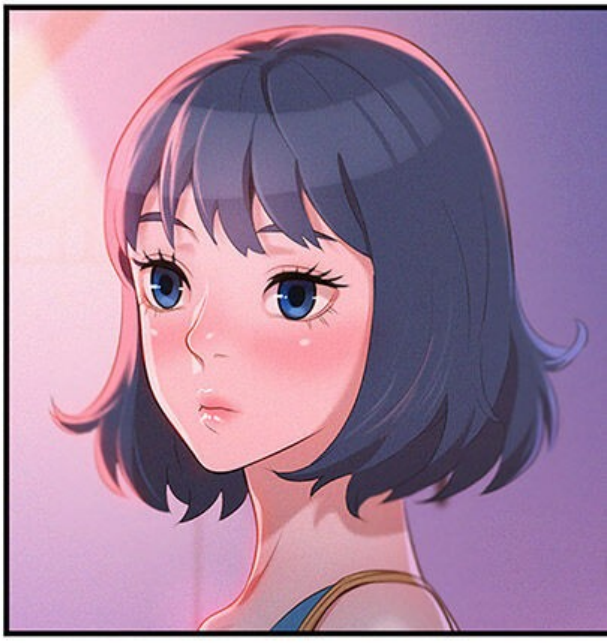

あっ
おかえり

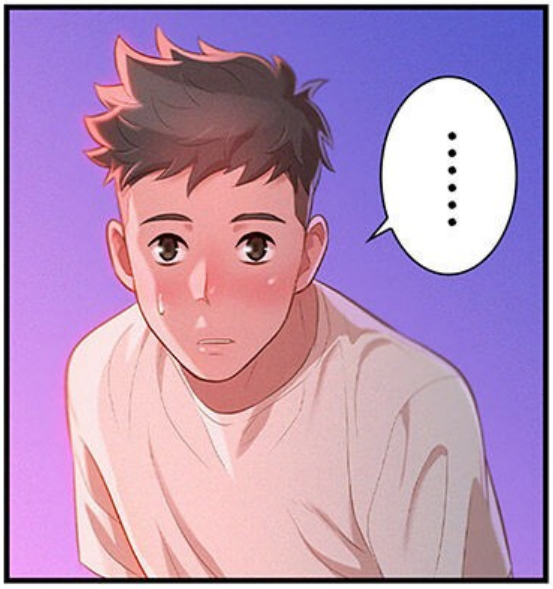

ハハハッ

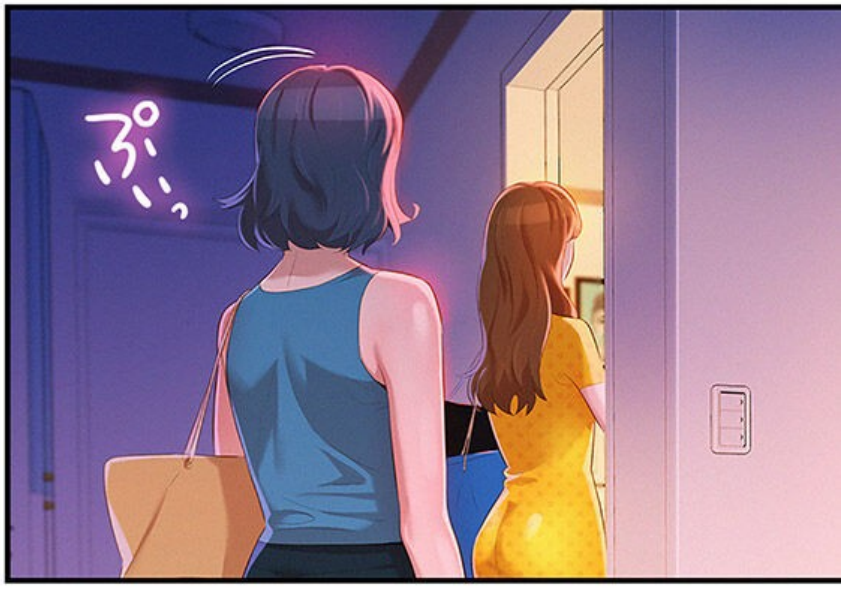

ガチャッ


あんたまた
一日中テレビばっか
見てたんでしょ
イッ

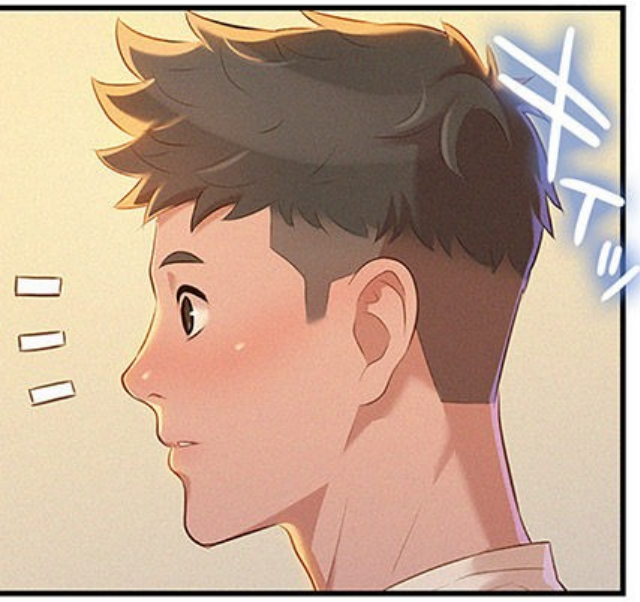

あ…
由紀さんも
いらっしゃい…

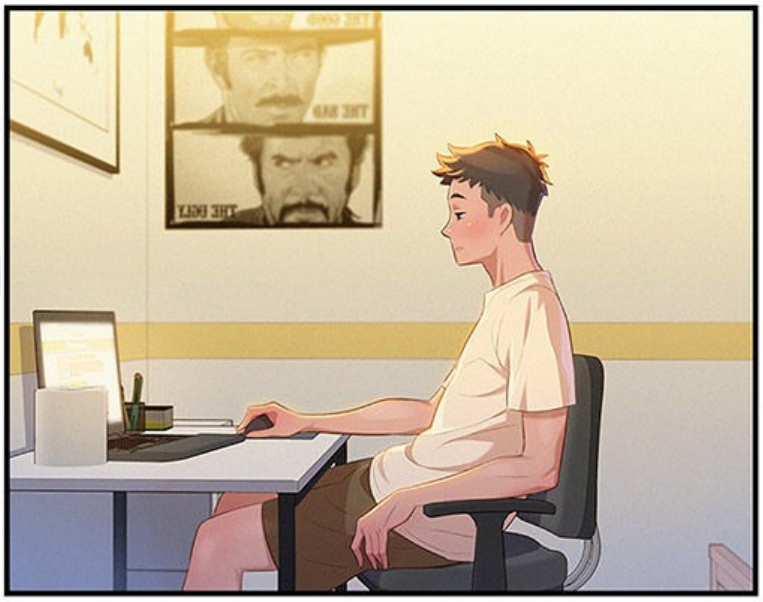



……

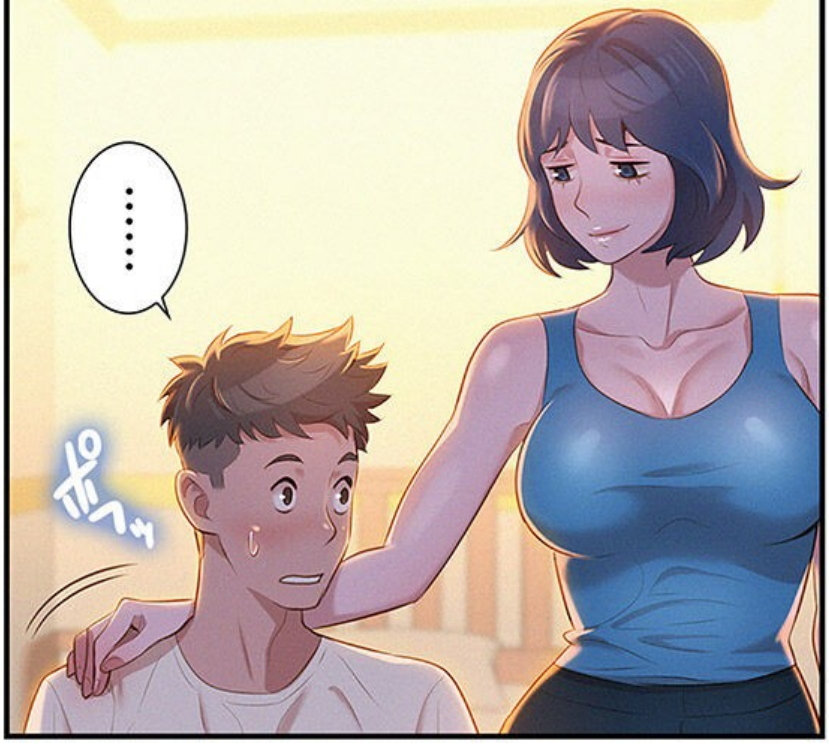

ぷいっ




ギッ

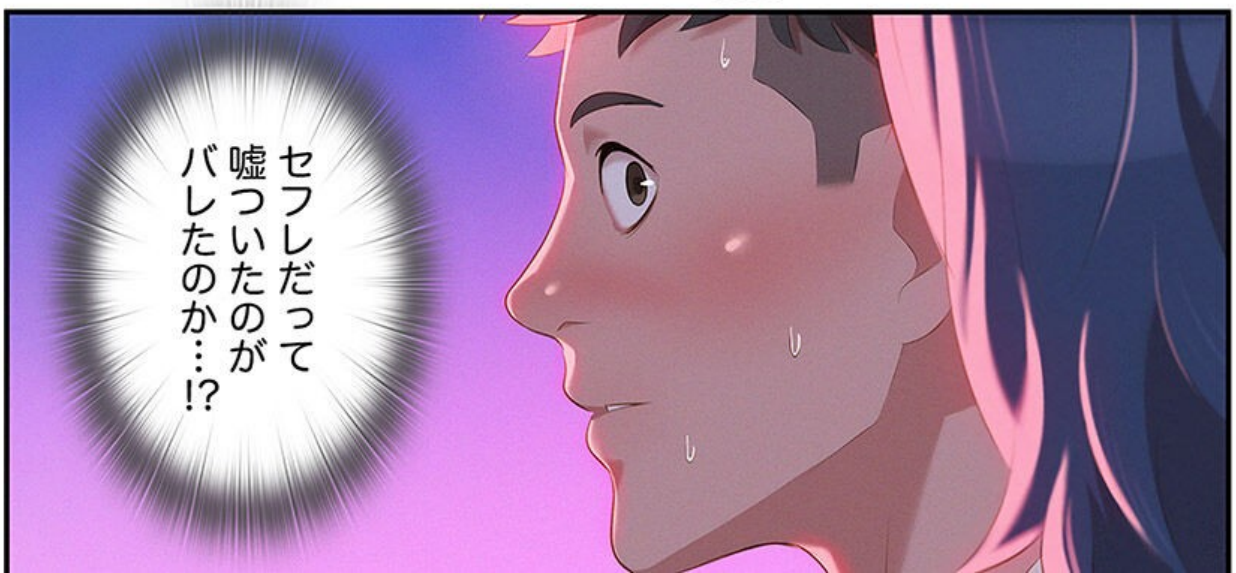



入ってもいい？

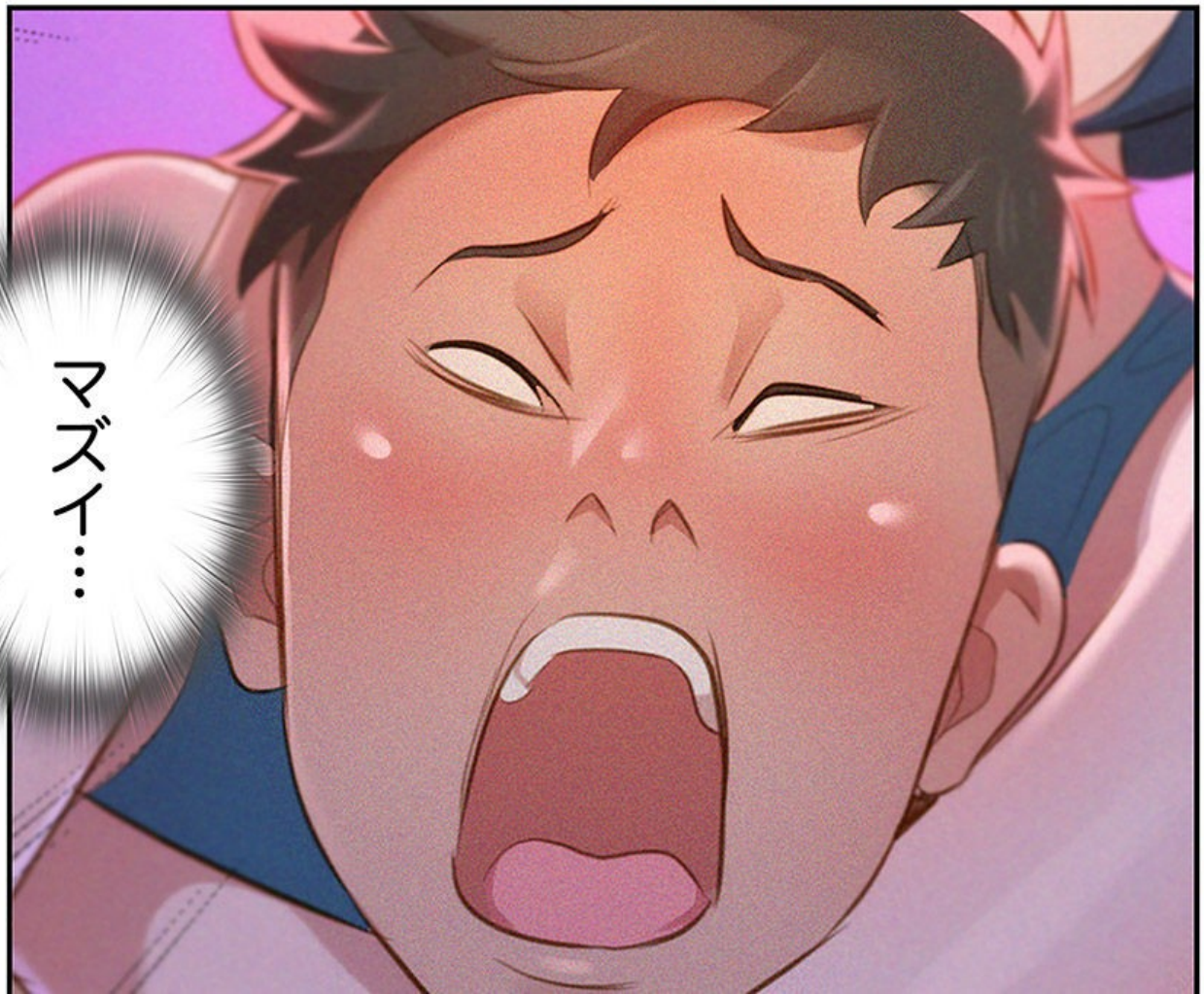

……
ポフッ


あ…うん
いいよ…


あんた…
私に隠してる事
あるでしょ？


セフレだって
嘘ついたのが
バレたのか…!?


キュウ
さっさと
言いなさい!!
ぐえっ!


マズイ…

嘘とセフレ
【電子単行本版】1

著者　kyun ja＆タルチョー

発行　Rush!

表紙デザイン　CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。

©kyun ja/Tarcho 2021